



東京都下水道事業年報

昭和 37 年 度

東京都下水道局

昭和 37 年 度

東京都下水道事業年報

東京都下水道局

東京都下水道事業年報

目 次

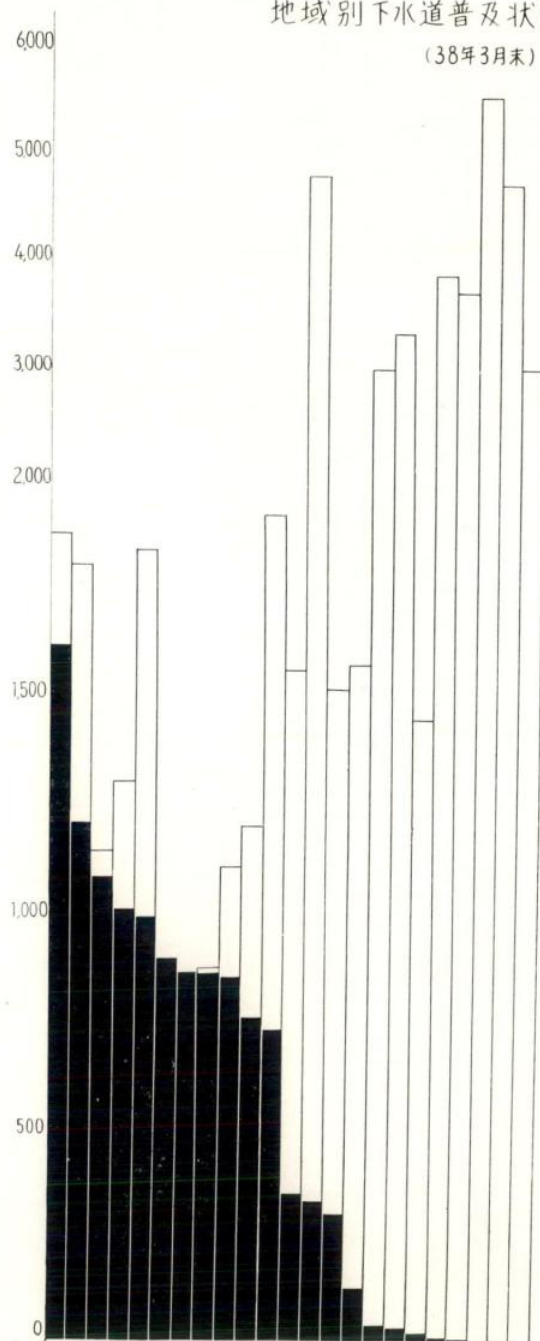
統 計 図

地 図

第1章	総	説	1
第1節	序	説	1
第2節	組	織	2
第3節	下水道事業の概要		5
第4節	昭和37年度事業概況		9
第2章	財	務	16
第1節	財	政	16
第2節	固定資産明細書		34
第3章	下 水 道 計 画		37
第1節	東京都市計画下水道		37
第2節	東京都市計画下水道事業		37
第3節	東京都市下水道並びに同下水道事業及びその執行年度割の概要		38
第4章	下 水 道 事 業 経 過		45
第1節	下水道事業認可関係		45
第2節	施行済の事業		49
第5章	営	業	52
第1節	営 業 一 般		52
第2節	下水道使用件数		52
第3節	下水道使用水量		55
第4節	下 水 道 料 金		58
第5節	料 金 徴 収		58
第6節	排 水 設 備		60

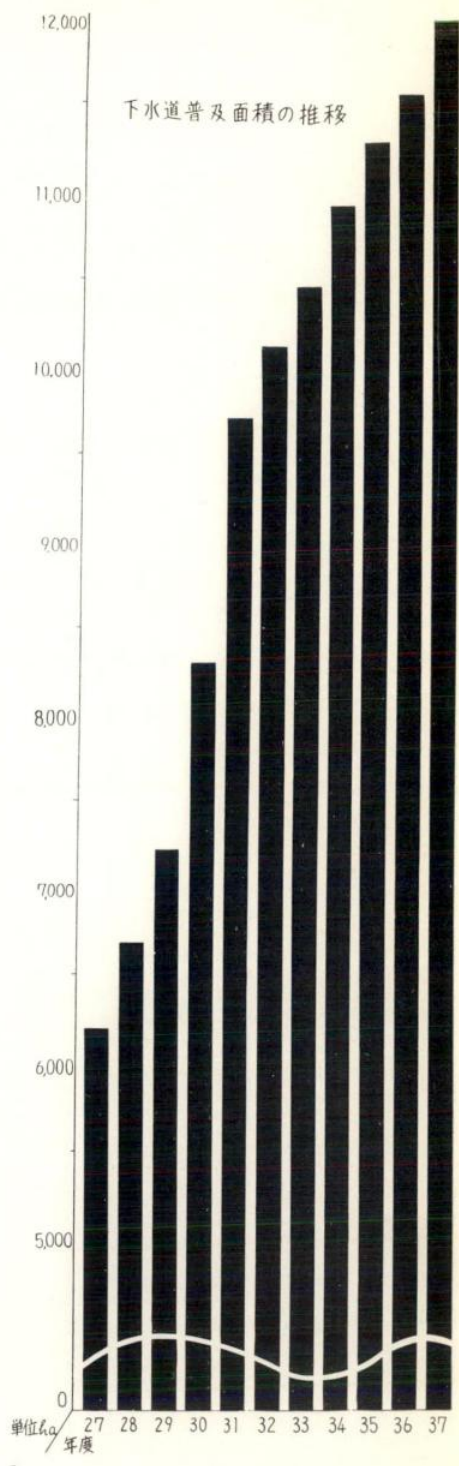
第6章	設	備	63
第1節	管	渠	63
第2節	ポ	ン	65
第3節	処	理	87
第4節	尿	尿	103
第7章	作	業	106
第1節	管	渠	106
第2節	ポ	ン	107
第3節	処	理	108
第4節	水	質	111
第5節	降	水	115
第6節	汚	泥	118
第7節	処	理	119
第8節	尿	尿	119
第8章	工	事	120
第1節	拡	張	120
第2節	改	良	136
第3節	設	備	141
第4節	そ	の	145
昭和37年度	主	要	148

地域別下水道普及状況
(38年3月末)



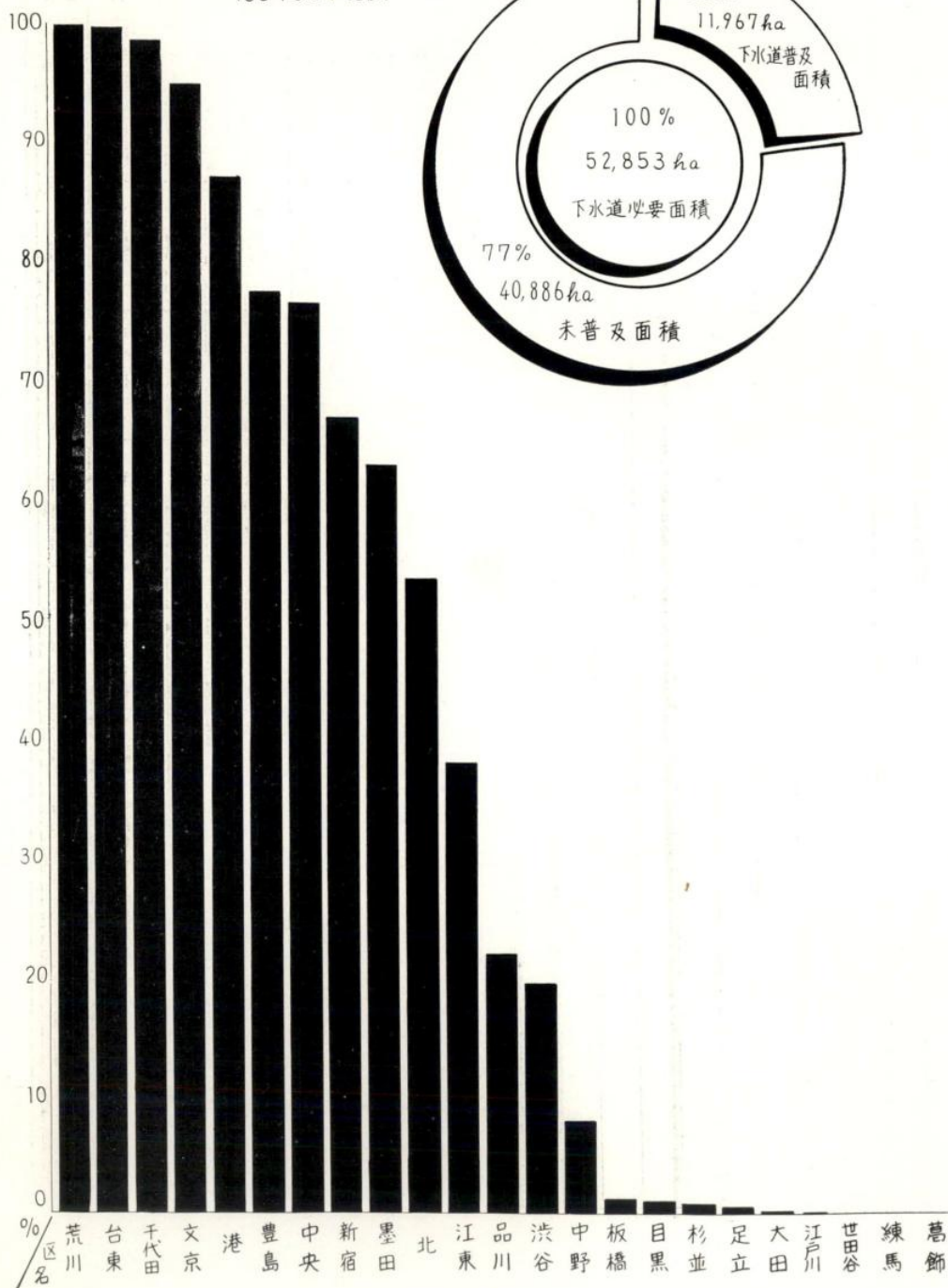
単位ha
地区名

下水道普及面積の推移



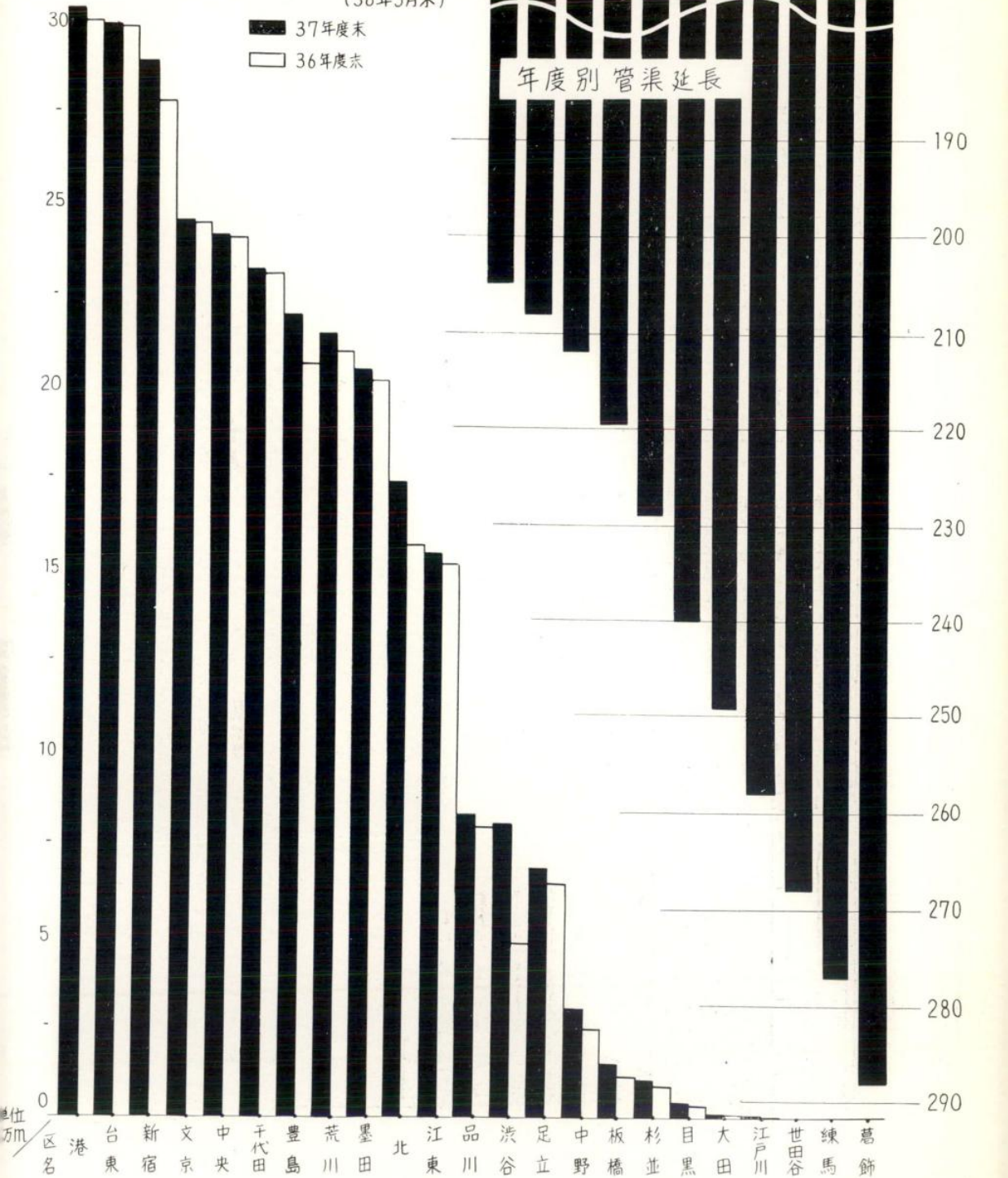
単位ha
年度

地域別下水道普及率
(38年3月末現在)

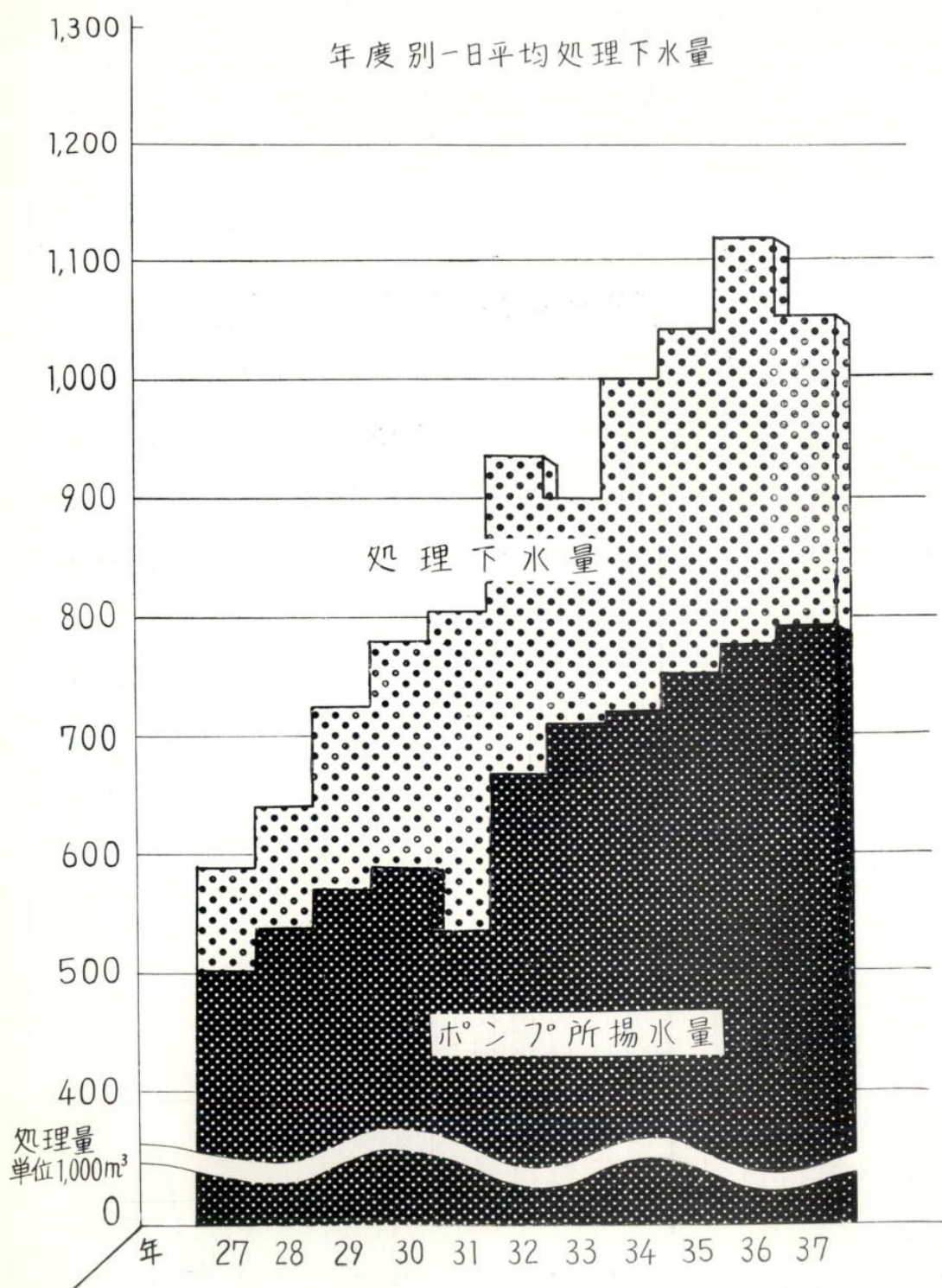


地域別管渠延長 (38年3月末)

37年度末
 36年度末



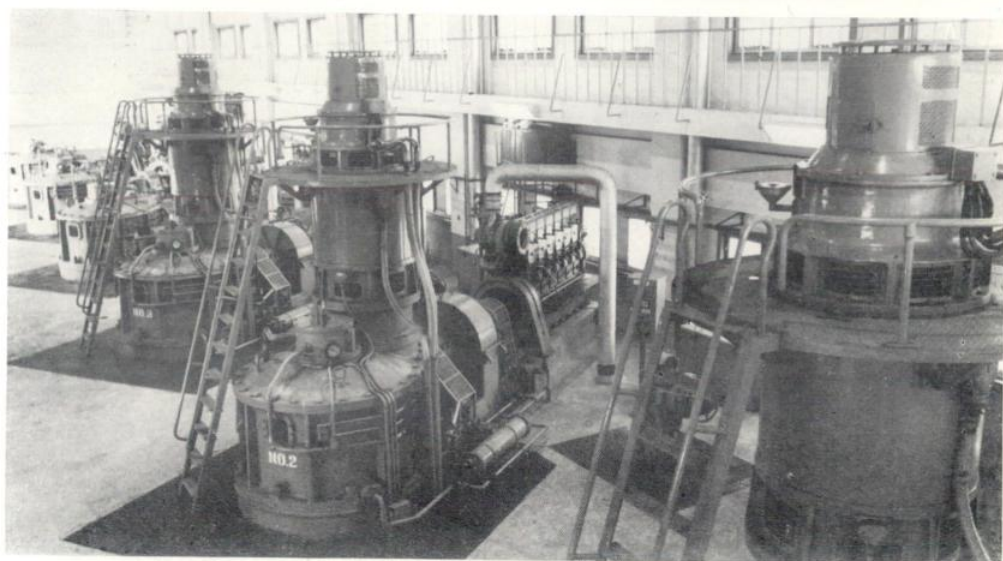
年度別一日平均処理下水量



下水道局発足祝賀会で挨拶する亭局長（37年4月）



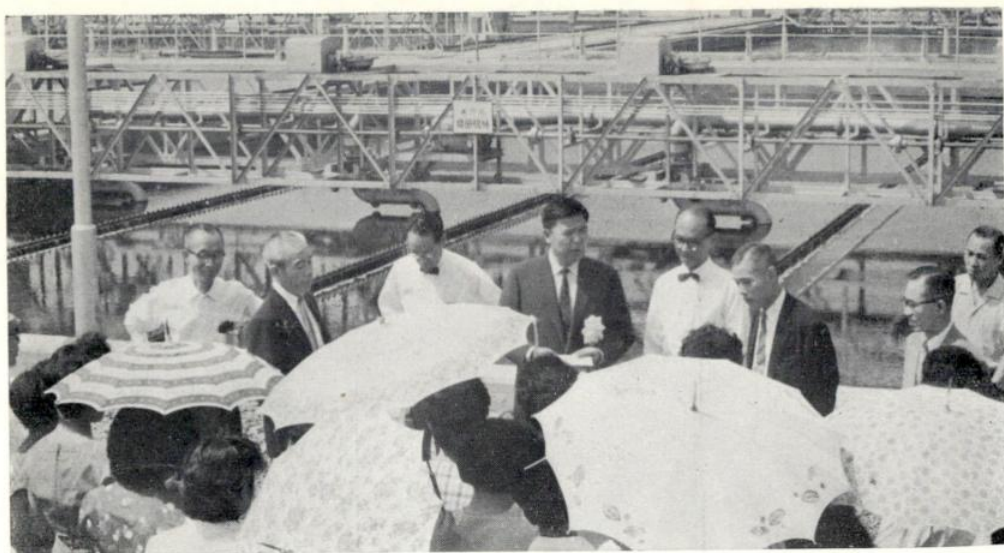
37年6月から運転を始めた汐留ポンプ所の内部



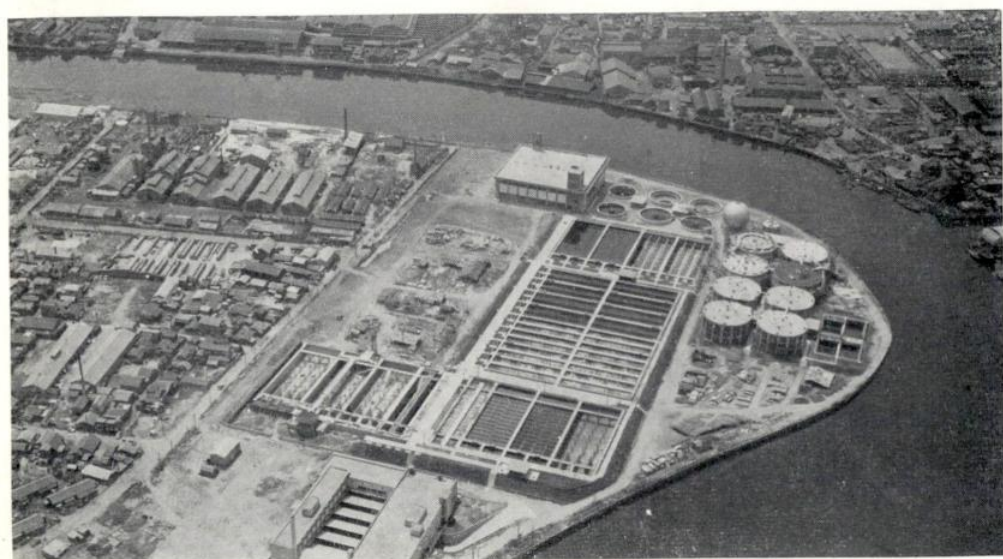
森ヶ崎処理場の起工式（37年7月）



下水道促進デーで一日局長となった。三国一朗さん
(37年9月)



一部運転開始の小台処理場
(37年7月)



宇田川(渋谷区)が下水道幹線となり、上部
が道路になった。(38年2月)



第 1 章 総 説

第 1 節 序 説

近代における都市の基本的な施設は、道路、水道、下水道などである。即ち、道路は産業の発展のために、水道は住民の生活のために、そして下水道は都市の美化と環境衛生を支えるためにある。

この、下水道をぬきにしては健康で文化的な住民の生活は考えられない。即ち、汚水、雨水を合理的に排除し、処理することにより、住民の保健衛生、都市の美化に貢献するのである。つまり、都市生活に付随する汚水、雨水の衛生的排除、低湿地の災害防除、土地の有効利用、道路の保護、河川の汚濁防止などのために、図り知れない働きをするのが下水道である。しかしながら、東京においてはこれが普及は甚だしく遅れており、区部面積のやつと22.6%、区部総排水量340万 m^3 /日（要処理量）のうち140万 m^3 /日、主として旧市域内と隣接の一部区域のみの下水を処理してる現況である。

これは、東京の特殊な成長条件と、我国の肥料事情による貯蔵式便所が普及していたことなどのほか、一般に上水道、道路、建築等の急施を要する都市施設に優先され、目立たない下水道は、おおむね後まわしにされがちだつた事情による。

現在の施設と能力のあらましは次の通りである。

管渠延長	2,876,329	メートル
処 理 場	4	(芝浦, 三河島, 砂町, 小台)(昭和38年度末落合処理場が一部運転開始の予定)
高級処理能力	1,389,000	m^3 /日
ポ ン プ 所	24	
排 水 面 積	11,967	ヘクタール (甲地区 10,007ヘクタール 乙 〃 1,960 〃)

以上のような状況のため、都内の大部分の地域では、ドブまたは小河川を通じて汚水が直接川または港湾に流されるため、隅田川のごときはBODが時には100 p.p.m.以上となり、環境衛生上も美観上も憂慮にたえない現状である。また、都民の大部分がまだ汲取り便所にたよつており、低地帯の汚水、雨水の氾らんも稀な現象ではない。しかも、近年の急激な人口の集中、ビルの林立、産業の発展はこうした悪現象にさらに拍車をかけている。

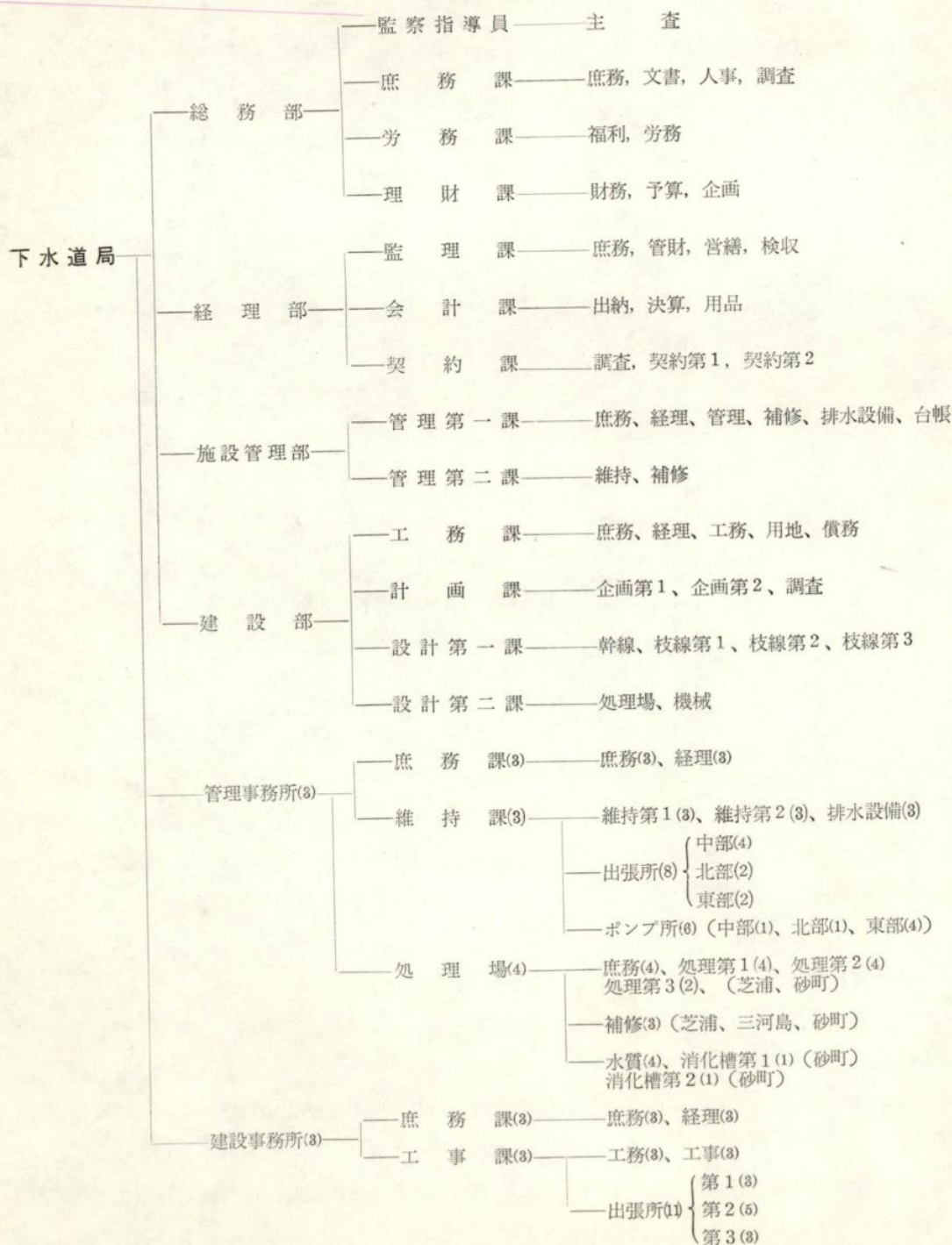
このように、都市公害が顕著になるに及んで、下水道にたいする一般の関心と要望が高まり、そして、昭和31年、都市計画税の創設、首都圏整備法の制定を見るにおよび、財源事情も好転し、拡張事業も活発になつた。

このような背景のもとに、昭和36年1月、区部全域を対象に48年度を完成目途とする2,300億円計画が庁議決定を見、更に、37年7月には準用河川の下水道幹線化、人口・使用水量の増加などに対応し、この計画は事業費3,100億円計画に改訂された。また、増大する事業量に対し、執行体制を強化するため、昭和37年4月から下水道局が発足し、その効果をあげている。

第 2 節 組 織

1. 機 構

(1) 事務組織



(2) 事業所所在地と所管区域

部 別	事 業 所 名	所 在 地	所 管 区 域
本 局	総務部 経理部 施設管理部 建設部	千代田区丸の内3-5	
中 部 管 理 事 務 所		千代田区大手町2-8	芝浦系統に属する千代田、中央、港、新宿、文京、渋谷、豊島各区の大部及び台東、品川、目黒、世田谷、北、荒川各区の一部 落合系統に属する中野、杉並各区の大部及び新宿、世田谷、渋谷、豊島各区の一部 森ヶ崎系統に属する品川、目黒、世田谷各区の大部及び渋谷、杉並各区の一部
芝 浦 処 理 場 北 部 管 理 事 務 所		港区芝高浜町2 台東区浅草小島町1-5・4号	三河島系統に属する台東、荒川各区の大部及び千代田、文京、北各区の一部 小台系統に属する北、板橋各区の大部及び豊島、練馬、足立各区の一部
三 河 島 処 理 場 小 台 処 理 場 東 部 管 理 事 務 所		荒川区荒川8-25 足立区宮城町24 江東区深川豊住町3-2	砂町系統に属する墨田、江東各区及び中央、足立、江戸川各区の一部
砂 町 処 理 場		江東区南砂町9-2, 473	
第 一 建 設 事 務 所		千代田区大手町2-8	千代田、中央、港、文京、品川、目黒、大田、世田谷、渋谷各区
第 二 建 設 事 務 所		荒川区荒川8-32-41	台東、墨田、江東、荒川、足立、江戸川各区
第 三 建 設 事 務 所		新宿区上落合1-196	新宿、中野、杉並、豊島、北、板橋、練馬各区

2. 職 制

(1) 事務分掌

総 務 部	庶 務 課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 都議会に関すること。 2. 局の機構に関すること。 3. 文書の審査に関すること。 4. 文書の收受、配付、発送、編集及び保存に関すること。 5. 公印に関すること。 6. 局の人事に関すること。 7. 広報及び公聴に関すること。 8. 他の部課に属しないこと。
	労 務 課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の福利及び共済に関すること。 2. 職員の教養に関すること。 3. 職員の勤務条件に関すること。 4. 職員の労働組合に関すること。

総務部	理財課	1. 財政計画及び財政報告に関すること。 2. 企業債に関すること。 3. 予算の見積りに関すること。 4. 予算統制に関すること。 5. 事業の進行管理に関すること。 6. 料金徴収委託事務に関すること。
	監理課	1. 固定資産台帳の整理及び保管に関すること。 2. 資産の調査に関すること。 3. 用地の管理に関すること。 4. 不動産の処分に関すること。 5. 営繕に関すること。 6. 物品、材料、請負工事等の検査に関すること。 7. 部内他の課に属しないこと。
	会計課	1. 収支伝票の審査及びその執行に関すること。 2. 現金、有価証券及び担保物の保管出納に関すること。 3. 資金の運用に関すること。 4. 決算及び会計資料に関すること。 5. 貯蔵品の準備計画に関すること。 6. 貯蔵品の調査、配給及び運用に関すること。 7. 貯蔵品倉庫に関すること。
	契約課	1. 物品及び材料の購買契約に関すること。 2. 工事、修繕その他の請負契約に関すること。 3. 舟車馬の供給契約に関すること。 4. 物件の貸借及び処分の契約に関すること。 5. 市場調査に関すること。
施設管理部	管理第一課	1. 下水道管渠の維持管理、補修、改良及び移設に関すること。 2. 排水設備に関すること。 3. 指定下水道工事店に関すること。 4. 部内他の課に属しないこと。
	管理第二課	1. 処理場及びポンプ所の維持管理、補修及び改良に関すること。
建設部	工務課	1. 下水道の拡張工事の事務に関すること。 2. 用地の取得に関すること。 3. 部内他の課に属しないこと。
	計画課	1. 下水道の拡張計画に関すること。
	設計第一課	1. 下水道管きよ（幹線および重要な枝線）の設計に関すること。
	設計第二課	1. 処理場及びポンプ所の設計に関すること。
管理事務所		1. 下水道の維持管理及び改良工事の施行に関する事務。 2. 処理場の維持管理に関する事務。
建設事務所		1. 下水道の拡張工事の施行に関する事務。

(2) 人員配置

(38年3月末現在)

所 属	職 別	事務吏員	技術吏員	主事補	技師補	巡視	事務助手	技術助手	作業員	工員	用務員	計	定 数		
													定 休	未 帰 還	外 休 職
総 務 部		41	1	14	3		4		1		2	66			
経 理 部		44	9	① 15	9		1	3	3			84	1		
施 設 管 理 部		10	26	7	22		1		2			68			
建 設 部		17	① 69	6	65		6	2				165	1		
中部管理事務所		14	46	15	101	3	20	11	① 128	84		422	1		

東部管理事務所	14	48	i 14	① 101	3	8	10	86	① 152		436	2		1
北部	17	① 59	20	85	6	21	5	① 65	92	1	371	2		
第一建設事務所	10	36	7	96		15	2	10			176			
第二	7	46	8	77		15	3	6			162			
第三	7	25	11	① 110		10	1	11			175	1		
計	181	365	117	669	12	101	37	312	328	3	2125	8		1

注 ○は結休内数
・は休職外数

第 3 節 下水道事業の概要

1. 沿 革

東京における下水道施設の起源は、明治5年の大火後、銀座煉瓦街に洋風の溝渠が設けられたのに始まる。しかし近代式下水道施設の緊急性が問題化したのは、明治10年市内にコレラが流行したことに端を発するもので、明治16～19年にわたり神田の一部に分流式下水道が敷設されるにいたつた。ただし、これらの施設は部分的なものであり、また在来下水の修築、あるいはその一部を暗渠式に改良した程度の不完全なもので、その他の区域はいまだに江戸時代以来の在来溝渠、濠池により排水をしていた。

総合的計画に基づく下水道設計の調査は明治32年市区改正委員会により着手され、同41年3月にいたり現在の本都計画の基礎となつている東京市下水道改良事業基本計画が内閣の認可をえて決定し、明治44年6月下水改良事務所を設置し、第1期工事として下谷、浅草方面より着工、大正12年にはほぼ完了した。なお、大正11年より三河島下水処理場が一部操業を開始するにいたり、昭和5・6年には砂町・芝浦処理場がそれぞれ操業を開始した

その後第2期工事等を逐次実施し、昭和7年には市域拡張にともない郊外12カ町の事業を引き継ぎ、新旧両市域にわたり継続工事を実施中のところ、第二次大戦のために事業は事実上中止するにいたり、旧市域の約8割と隣接新市域の一部を施行したまとなつた。

戦後においては直ちに戦災復旧をはかるとともに、文化的、衛生的首都の復興再建の段階から、さらに首都整備の一環として下水道の促進がとりあげられ、事業量も次第に増加してきた。その経過は次のとおりである。

まず昭和23～26年度当時は、戦後の大混乱からようやく脱脚しようと努めた時期で、昭和23年度から下水道の拡張事業を開始したが、当初の23、24年度は下水道増補改良事業に含めて実施した。また、下水道促進に対する認識も次第に深まつてきたが、財政的な極度の制約から拡張財源である起債が制限されて、予算額の約半分程度の事業実績をみたすにすぎなかつた。しかし、昭和25年7月には戦後の下水道の基本計画ともいふべき「東京都市計画下水道」が決定し、拡張事業を進めて行く基礎が確立された。

昭和25年6月には首都建設法が制定され、翌26年12月には首都建設緊急5カ年計画がたてられ、下水道

も重点施策として盛りこまれ、同じ内容が昭和28年10月には都市計画事業として決定されるにいたつた。他方、財政面をみると、昭和27年10月地方公営企業法の全面適用による下水道事業会計の設定、昭和30年4月以降は失業対策事業の導入による失業対策費の繰り入れ、昭和31年6月地方税法改正により都市計画税収入財源の繰り入れがなされた。

昭和31年4月には、首都圏整備法が首都建設法にかわつて制定され、都市施設の整備が強く推進されることになつたが、首都圏整備計画の一つとして当局では下水道拡張10カ年計画をたて、下水道築造認可をえて昭和32年度より着手した。政府においても昭和32年に建設省に下水道課を新設、翌33年下水道法が制定され、全国的に下水道築造が促進される傾向となつた。本部においても急増する事業量の執行体制を強化すべく、昭和34年12月1日下水道本部を設置した。さらに周辺区部の発展や、昭和39年の東京オリンピック開催決定とともに、本都の都市施設の整備、とりわけ下水道については今後ますます拡張事業の推進を要するが、これに対して、36年1月には昭和48年度完成を目標とする区部全域の下水道整備計画（総事業費2,300億円）を庁議で決定した。

こえて翌37年3月には、この100%普及計画を骨子とする45年度70%普及計画が、新しい「都市計画」として、都市計画地方審議会で決定をみ、3月31日には、建設省告示第1,092号「東京都市計画下水道」、「東京都市計画下水道事業及びその執行年度割の変更」として告示された。

これによると、対象区域約37,314ヘクタール（100%計画、52,853ヘクタール）計画人口751万人（100%計画950万人）、管渠延長約7,608km、ポンプ所42カ所、処理場6カ所となつている。

37年4月から下水道局が発足し、執行態勢が一だんと強化されるとともに、同年7月に前記100%整備計画に再検討を加え、これを総事業費3,100億円計画に改訂した。

また、小台処理場が一部運転を開始した。

その後、都心部の総合的再開発の一環として、千代田区大手町2丁目付近の市街地再開発が策定され、当局所管の銭瓶町ポンプ所、並びに主要管渠の移設が必要となり、昭和37年12月23日建設省告示第3,205号をもつて、前記、東京都市計画下水道並びに同事業の一部変更を行なつた。

前記100%普及計画の残る30%についても、ひきつづき認可を求めることとなつている。

2. 施設概況

1. 旧15区内を芝浦、三河島、砂町の3系統に分割する。

築造認可年月	明治41年3月	排水開始年月	大正10年12月
排水方法	合流式、一部分流式	排水区域面積	6,992ヘクタール
予定排水人口	3,000,000人	予定1人1日最大汚水量	250立 50耗
工種	起工	竣工	工費
創設（第1期下水道改良工事）	明治44年	大正12年	14,618,123円
第1回拡張（下水渠一部速成工事）	大正5年	大正9年	2,497,989円
第2回拡張（第2期下水道改良工事）	大正9年	大正12年	4,311,283円
第3回拡張（帝都復興下水道改良工事）	大正12年	昭和6年	39,603,453円

第4回拡張(継続都市計画) 速成工事)	大正14年	昭和9年	5,600,286円
第5回拡張(管渠移転工事)	大正14年	昭和5年	2,310,518円
第6回拡張(下水道応急) 整理工事)	大正15年	昭和4年	948,402円
第7回拡張(失業救済工事) 昭和2年度)	昭和2年	昭和3年	340,415円
第8回拡張(失業救済工事) 昭和3年度)	昭和3年	昭和3年	428,477円
第9回拡張(失業救済工事) 昭和4年度)	昭和4年	昭和5年	1,711,460円
第10回拡張(昭和5年度) 速成工事)	昭和5年	昭和7年	2,674,854円
第11回拡張(昭和5・6年度) 第2改良速成工事)	昭和6年	昭和8年	7,561,665円
第12回拡張(失業救済工事) 昭和6年度)	昭和6年	昭和7年	455,538円
第13回拡張(失業救済工事) 昭和7年度)	昭和7年	昭和8年	461,219円
第14回拡張(継続都市計画) 完成(第1期)工事)	昭和8年	昭和19年) *(昭和21年)	27,688,297円 *(38,500,000円)

(注) *昭和19年戦時に際し打切, () 内は全体計画を示す。以下各項目につき同じ。

2. 旧大崎町一円

築造認可年月	大正12年3月(第1期) 昭和5年9月及び同11年6月(第2期)	排水開始年月	大正14年
排水方法	合流式	排水区域面積	305ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗
工種	起工	竣工	工費
創設(大崎町下水道第1期) 大崎町第1期)	大正13年	昭和6年	746,263円
第1回拡張(大崎町下水道第2期) 大崎町第2期)	昭和5年	昭和10年	793,764円

(注) 昭和7年10月以降は市郡併合により東京市施行。以下各項目につき同じ

3. 旧高田町一円

築造認可年月	昭和6年5月	排水開始年月	昭和6年
排水方法	合流式	排水区域面積	254ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗
工種	起工	竣工	工費
創設(高田町下水道事業) 高田町下水道事業)	昭和5年	昭和19年 (昭和21年)	1,638,867円 (2,118,000円)

4. 旧西巢鴨町一円

築造認可年月	昭和7年3月	排水開始年月	昭和7年
排水方法	合流式	排水区域面積	455ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗
工種	起工	竣工	工費
創設(西巢鴨町下水道事業) 西巢鴨町下水道事業)	昭和6年	昭和6年 (昭和21年)	1,595,529円 (2,910,000円)

5. 旧巢鴨町一円

築造認可年月	昭和5年3月	排水開始年月	昭和5年
排水方法	合流式	排水区域面積	187ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗
工種	起工	竣工	工費
創設(巢鴨町下水道事業) 巢鴨町下水道事業)	昭和4年	昭和10年	1,076,609円

6. 旧王子町一円

築造認可年月	昭和4年3月	排水開始年月	昭和4年	
排水方法	合流式	排水区域面積	521ヘクタール	予定排水人口 90,000人
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗	
工種		起工	竣工	工費
創設(王子町下水道事業)		昭和3年	昭和19年 (昭和21年)	1,778,423円 (3,135,207円)

7. 旧尾久町一円

築造認可年月	昭和3年1月(第1期) 昭和7年7月(第2期)	排水開始年月	昭和3年	
排水方法	合流式	排水区域面積	228ヘクタール	予定排水人口 164,000人
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗	
工種		起工	竣工	工費
創設(尾久町下水道事業第1期)		昭和2年	昭和7年	779,144円
第1回拡張(尾久町下水道事業第2期)		昭和7年	昭和15年	1,254,738円

8. 旧南千住町, 日暮里町, 三河島町一円

築造認可年月	昭和6年5月	排水開始年月	昭和7年	
排水方法	合流式	排水区域面積	543ヘクタール	予定排水人口 227,000人
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗	
工種		起工	竣工	工費
創設(南千住町, 日暮里町, 三河島町下水道事業)		昭和6年	昭和19年 (昭和21年)	4,336,851円 (5,380,000円)

9. 旧大久保町一円

築造認可年月	昭和3年10月(第1期) 昭和7年9月(第2期)	排水開始年月	昭和4年	
排水方法	合流式	排水区域面積	200ヘクタール	予定排水人口 61,800人
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗	
工種		起工	竣工	工費
創設(大久保町下水道事業第1期)		昭和3年	昭和6年	403,762円
第1回拡張(大久保町下水道事業第2期)		昭和8年	昭和19年	1,042,560円

10. 旧滝野川町一円

築造認可年月	昭和8年12月	排水開始年月	昭和9年	
排水方法	合流式	排水区域面積	451ヘクタール	予定排水人口 116,000人
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗	
工種		起工	竣工	工費
創設(滝野川町下水道事業)		昭和8年	昭和19年 (昭和21年)	1,359,390円 (3,464,000円)

11. 足立区, 江戸川区, 墨田区の各一部

築造認可年月	昭和11年3月	排水開始年月	昭和18年	
排水方法	合流式	排水区域面積	2,193ヘクタール	予定排水人口 589,700人
予定1人1日最大汚水量	250立	予定1時間最大降水量	50耗	
工種		起工	竣工	工費
創設(郊外下水道事業の一部)		昭和11年	昭和19年 (昭和21年)	4,557,573円 (3,890,000円)

12. 旧南千住町一円

築造認可年月	大正11年2月(第1期) 昭和2年12月(第2期)	排水開始年月	大正11年	
排水方法	合流式	排水区域面積	245ヘクタール	予定排水人口 68,600人
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗	
工種		起工	竣工	工費
創設(千住町下水道事業第1期)		大正10年	大正15年	507,995円
第1回拡張(千住町下水道事業第2期)		昭和2年	昭和7年	843,225円

13. 千代田区他20区

築造認可年月	昭和34年3月	排水開始年月		
排水方法	合流式	排水区域面積	22,315ヘクタール	予定排水人口 3,950,000人
予定1人1日最大汚水量	320立	予定1時間最大降水量	50耗	
工期	自昭和32年 至昭和41年	工費	36,600,000,000円	

第4節 昭和37年度事業概況

1. 総括事項

昭和37年度は、下水道局発足の第1年度であり、新機構のもとに、「東京都下水道事業計画」の強力なる推進を重点とし、鋭意事業遂行に努めた。

経 営

拡張事業の進捗に伴い、37年7月小台処理場が一部運転を開始した。(処理水量 日量10万立方メートル)なお、下水道使用件数は前年度に比して2万4千余件の増加をみ、当年度末において54万6千余件となつた。しかしながら、給水事情の悪化に伴い、処理場における年間下水処理量は3億8千余万立方メートルで予定量に対して82.5%の実績を示したにすぎず、この結果料金収入は、予定額の1割強の減収となつた。

他方、職員給与ベースの改訂、その他経費の増嵩等による支出の増加傾向が著しく、特に処理場費では、小台処理場の一部稼働と全流入下水量の完全高級処理化に伴い、使用電力料その他の処理経費が、前年度に比し45.2%の激増を示した。

このため、管渠、ポンプ所、処理場等施設の維持管理経費が極度に圧迫されたが、事務諸経費の節減等により、ようやく収支の均衡を保つことができた。

当年度の経営上における事業実施のおもなものは、つぎのとおりである。

処理場下水処理量	384,870,245立方メートル
ポンプ所下水揚水量	288,646,790立方メートル
管渠管理延長	2,876,329メートル
管渠掃除量	
作業延長	872,792メートル
汚泥量	23,551立方メートル

建設及び改良

当年度における建設工事予算は120億円であり、前年に比し26%増と飛躍的に増大したのであるが、その事業資金は、企業債収入において若干収入不足を示したものの、一般会計繰入金、国庫補助金等は概ね順調に確保されたので、完全消化すべく努力した結果、事業の全般的進展をみることができた。

即ち建設工事では、前年度に引続き芝浦、砂町、三河島各処理場の施設を拡張し、37年7月一部運転を開始した小台処理場は継続して第二期工事を進めており、落合処理場も38年度末の一部運転開始を目途にすでに曝気槽工事を完了し、目下第二沈澱池の建設を進めている。

なお、長年懸案であつた森ヶ崎処理場の建設工事は、用地問題等もようやく解決し、37年7月工事に着手した。

これら処理場に連結する管渠工事として、幹線8,910.57メートル、枝線96,330.21メートルを敷設した。
ポンプ所工事についても、藍染ポンプ所外7カ所の建設工事をおこなつた。

つぎに改良工事では、老朽管渠と、ポンプ所、処理場等における諸設備を積極的に改良し、処理能力の改善に努めた。

経 理

(1) 損 益 収 支

総収益4,208,036,662円に対する総費用は4,202,751,195円で、当年度純利益は5,285,467円である。

(2) 資 本 的 収 支

総収入10,900,388,349円に対する総支出は11,811,865,249円で、差引不足額は911,476,900円であるが、なお地方公営企業法第26条の規定による翌年度への繰越工事515,150,911円の資金を留保したので、資金不足額は1,426,627,811円となる。

この資金不足額については、前年度からの繰越工事資金、建設改良積立金、当年度利益剰余金および損益勘定留保資金をもつて充当した。

2. 議 会 議 決 事 項

(1) 予 算 関 係

議決年月日	種 別	議案番号	件 名
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 2 5 号	昭和37年度東京都下水道事業会計追加予算
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 1 6 号	昭和37年度東京都下水道事業会計更正予算
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 7 号	昭和38年度東京都下水道事業会計予算

(2) 起 債 関 係

議決年月日	種 別	議案番号	件 名
38. 3. 12	第1回定例会	第 2 6 号	東京都下水道事業会計起債について

(3) 決 算 認 定

議決年月日	種 別	件 名
38. 3. 12	第1回定例会	昭和36年度東京都下水道事業会計の決算の認定について

(4) 条 例 関 係

議決年月日	種 別	議案番号	件 名
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 3 0 号	東京都公営企業に従事する職員で、労働組合を結成し、又はこれに加入することができない者の範囲に関する条例の一部を改正する条例
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 4 2 号	常盤橋地区再開発に伴う都有財産の処分等に関する条例

(5) 工事請負契約

議決年月日	種 別	議 案 番 号	件 名
37. 6. 16	第2回定例会	第 3 1 5 号	千駄ヶ谷幹線その3工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第 3 1 6 号	千駄ヶ谷幹線その4工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第 3 1 7 号	砂幹線その11工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第 3 1 8 号	渋谷区代々木深町付近枝線工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第 3 1 9 号	江戸川区平井1丁目、逆井2丁目付近枝線工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第 3 2 0 号	砂町処理場ボイラーその他設備その2工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第 3 2 1 号	千住ポンプ所ポンプ設備その1工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第 3 2 2 号	藍染ポンプ所沈砂池機械設備工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第 3 2 3 号	森ヶ崎西処理場建設その1工事請負契約
37. 8. 29	第3回臨時会	第 3 8 7 号	予算外義務の負担について(第388号に関連して)
37. 8. 29	第3回臨時会	第 3 8 8 号	落合処理場送風機その1工事請負契約
37. 8. 29	第3回臨時会	第 3 8 9 号	予算外義務の負担について(第390号に関連して)
37. 8. 29	第3回臨時会	第 3 9 0 号	砂町処理場汚泥脱水設備その3工事請負契約
37. 8. 29	第3回臨時会	第 3 9 1 号	予算外義務の負担について(第392号に関連して)
37. 8. 29	第3回臨時会	第 3 9 2 号	砂町処理場汚泥消化槽その3工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 8 3 号	神田川幹線その10工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 8 4 号	予算外義務の負担について(第485号に関連して)
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 8 5 号	神田川幹線その11工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 8 6 号	予算外義務の負担について(第487号に関連して)
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 8 7 号	白山幹線雨水吐その3工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 8 8 号	予算外義務の負担について(第489号に関連して)

議決年月日	種 別	議 案 番 号	件 名
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 8 9 号	白山幹線雨水吐その4工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 0 号	予算外義務の負担について（第491号に関連して）
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 1 号	谷端川幹線雨水吐その4工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 2 号	予算外義務の負担について（第493号に関連して）
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 3 号	大島ポンプ所ポンプ設備その1工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 4 号	予算外義務の負担について（大島ポンプ所電気設備その1工事）
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 5 号	予算外義務の負担について（大島ポンプ所起重機設備工事）
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 6 号	予算外義務の負担について （大島ポンプ所沈砂池機械設備その1工事）
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 7 号	予算外義務の負担について（第498号に関連して）
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 8 号	藍染ポンプ所ポンプ設備その1工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 9 号	予算外義務の負担について（第500号に関連して）
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 0 号	藍染ポンプ所電気設備その1工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 1 号	予算外義務の負担について（藍染ポンプ所起重機設備工事）
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 2 号	予算外義務の負担について（第503号に関連して）
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 3 号	落合処理場建設その4工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 4 号	予算外義務の負担について （落合処理場空気本管その他工事）
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 5 号	予算外義務の負担について （落合処理場散気設備その1工事）
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 6 号	予算外義務の負担について （落合処理場汚水ポンプ設備その1工事）
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 7 号	三河島処理場処理施設改造その1工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 8 号	予算外義務の負担について（第509号に関連して）
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 9 号	砂町処理場電気設備その2工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 1 0 号	予算外義務の負担について （小台処理場ボイラーその他設備その2工事）

議決年月日	種 別	議 案 番 号	件 名
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 7 3 号	砂幹線その15工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 7 4 号	石神井川下幹線その10工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 7 5 号	岩淵幹線その10工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 7 6 号	神田川幹線その13工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 7 7 号	妙正寺川幹線その2工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 7 8 号	屋久幹線その7工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 7 9 号	渋谷区代々木富ヶ谷町、代々木深町付近枝線工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 8 0 号	尾久ポンプ所建設その2工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 8 1 号	予算外義務の負担について（第182号に関連して）
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 8 2 号	日本堤ポンプ所建設その5工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 8 3 号	落合処理場電気設備その1工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 8 4 号	森ヶ崎西処理場建設その2工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 8 5 号	谷田川幹線放流渠その5工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 8 6 号	予算外義務の負担について（第187号に関連して）
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 8 7 号	三河島処理場処理施設改造その2工事請負契約

（6）購 入 契 約

議決年月日	種 別	議 案 番 号	件 名
37. 8. 29	第3回臨時会	第 3 9 3 号	尾久ポンプ所用地の買収について
37. 8. 29	第3回臨時会	第 3 9 4 号	森ヶ崎処理場用地の買収について

（7）売 却 契 約

議決年月日	種 別	議 案 番 号	件 名
37. 8. 29	第3回臨時会	第 3 9 5 号	日本国有鉄道新幹線の拡幅に伴う土地売却について

3. 行政官庁許認可事項

該当事項なし

4. 職員に関する事項

(1) 昭和38年3月31日現在の職員は2,127名で、その内訳はつぎのとおりである。

種 別	科 目	事務吏員	技術吏員	雇 員	備 員	休養者	休職者	計
		名	名	名	名	名	名	名
経 営 部 門		111	167	378	689	6	1	1,352
建 設 改 良 部 門		70	196	417	89	2	1	775
計		181	363	795	778	8	2	2,127

(2) 職員構成表

(イ) 勤続年数別職員構成表

年数別	職種別	事務職員	技術職員	そ の 他	臨時職員	計
		名	名	名	名	名
1 年 未 満		5	101	3	1	110
1 年 以 上 ～ 3 年 未 満		87	638	3	18	746
3 〃 5 〃		57	340	4	42	443
5 〃 7 〃		28	114	2	8	152
7 〃 10 〃		37	91		9	137
10 〃 15 〃		95	166	2	17	280
15 〃 20 〃		37	69		5	111
20 〃 25 〃		17	68			85
25 〃 30 〃		16	36	1		53
30 〃 40 〃		18	78			96
40 年 以 上		3	11			14
計		400	1,712	15	100	2,227
総 勤 続 年 数		4,380	13,337	91	632	18,440
人 当 り 平 均		11	8	6	6	8

(ロ) 年令別職員構成表

年令別	職種別	事務職員	技術職員	そ の 他	臨時職員	計
		名	名	名	名	名
20 才 以 下		2	173		3	178
21 才 以 上 25 才 以 下		52	416		14	482
26 〃 30 〃		100	291	2	11	404
31 〃 35 〃		108	258	3	11	380
36 〃 40 〃		49	164	5	8	226
41 〃 45 〃		23	105	1	5	134
46 〃 50 〃		22	71	1	5	99
51 〃 55 〃		20	88	1	5	114
56 〃 60 〃		14	81	1	9	105
61 才 以 上		10	65	1	29	105
計		400	1,712	15	100	2,227
総 年 令		13,989	57,172	608	4,425	76,194
1 人 当 り 平 均		35	33	41	44	34

(3) 管理者の任命について

下水道局の発足に伴い、昭和37年4月1日初代局長に 亨 仁 が任命された。

(4) 職員の給料について

国家公務員の給与改訂に伴い「東京都下水道局職員の給与に関する規程」の一部を改正して、昭和37年10月1日から給料月額の上上げを行なった。

5. 料金その他供給条件の設定変更に関する事項

該当事項なし

第 2 章 財 務

第 1 節 財 政

1. 昭和37年度東京都下水道事業予算決算対照表

(1) 収益の収入及び支出

収 入

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差引予算残額	執行率 $\left(\frac{B}{A}\right)$
	円	円	円	%
第1款 下水道事業収益	4,528,130,000	4,208,036,662	320,093,338	92.9
第1項 営業収益	3,313,200,000	2,987,718,906	325,481,094	90.2
下水道料金	2,068,400,000	1,859,189,181	209,210,819	89.9
一般会計繰入金	632,700,000	627,430,500	5,269,500	99.2
受託事業収益	216,300,000	202,524,435	13,775,565	93.6
その他営業収益	395,800,000	298,574,790	97,225,210	75.4
第2項 営業外収益	1,214,930,000	1,220,317,756	△ 5,387,756	100.4
受取利息	30,168,000	24,494,727	5,673,273	81.2
土地物件収益	15,867,328	29,677,028	△ 13,809,700	187.0
一般会計繰入金	1,138,079,000	1,147,263,738	△ 9,184,738	100.8
雑 収	30,815,672	18,882,263	11,933,409	61.3
計	4,528,130,000	4,208,036,662	320,093,338	92.9

支 出

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差引予算残額	執行率 $\left(\frac{B}{A}\right)$
	円	円	円	%
第1款 下水道管理費	4,528,130,000	4,202,751,195	325,378,805	92.8
第1項 営業費用	3,366,900,000	3,043,030,402	323,869,598	90.4
管 渠 費	740,750,000	635,080,940	105,669,060	85.7
ポンプ場費	253,900,000	239,469,990	14,430,010	94.3
処理場費	714,500,000	689,254,278	25,245,722	96.5
受託事業費	216,300,000	202,524,435	13,775,565	93.6
業務費	372,000,000	363,346,936	8,653,064	97.7
総係費	241,950,000	168,450,274	73,499,726	69.6
減価償却費	740,000,000	674,357,145	65,642,855	91.1
資産減耗費	80,000,000	63,620,650	16,379,350	79.5
その他営業費用	7,500,000	6,925,754	574,246	92.3
第2項 営業外費用	1,160,230,000	1,159,720,793	509,207	100.0
支払利息及び企業債取扱諸費	1,147,263,738	1,147,263,738	0	100.0
繰延勘定償却	4,875,000	4,875,000	0	100.0
雑 支	8,091,262	7,582,055	509,207	93.7
自己資本造成費	0	0	0	
第3項 予 備 費	1,000,000	0	1,000,000	
計	4,528,130,000	4,202,751,195	325,378,805	92.8

(2) 資本的收入及び支出

収 入

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差引予算残額	執行率 $\left(\frac{B}{A}\right)$
	円	円	円	%
第1款 企業業債債債	8,200,000,000	6,995,125,000	1,204,875,000	85.3
第1項 企業業債債債	8,200,000,000	6,995,125,000	1,204,875,000	85.3
企業業債債債	8,200,000,000	6,995,125,000	1,204,875,000	85.3
第2款 一般会計繰入金	3,197,987,000	3,190,397,670	7,589,330	99.8
第1項 一般会計繰入金	3,197,987,000	3,190,397,670	7,589,330	99.8
企業債元金還付金	248,927,000	248,927,000	0	100.0
下水道拡張事業繰入金	2,100,000,000	2,100,000,000	0	100.0
失業対策下水道施設費繰入金	43,060,000	35,470,670	7,589,330	82.4
特別失業対策下水道施設費繰入金	200,000,000	200,000,000	0	100.0
下水道整備拡充事業費繰入金	606,000,000	606,000,000	0	100.0
第3款 国庫補助金	600,000,000	585,000,000	15,000,000	97.5
第1項 国庫補助金	600,000,000	585,000,000	15,000,000	97.5
国庫補助金	600,000,000	585,000,000	15,000,000	97.5
第4款 固定資産売却収入	22,729,500	11,652,846	11,076,654	51.3
第1項 固定資産売却収入	22,729,500	11,652,846	11,076,654	51.3
固定資産売却収入	22,729,500	11,652,846	11,076,654	51.3
第5款 貸付金返還金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
第1項 貸付金返還金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
貸付金返還金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
第6款 その他資本収入	164,443,500	112,212,833	52,230,667	68.2
第1項 その他資本収入	164,443,500	112,212,833	52,230,667	68.2
その他資本収入	164,443,500	112,212,833	52,230,667	68.2
計	12,191,160,000	10,900,388,349	1,290,771,651	89.4

支 出

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差引予算残額	執行率 $\left(\frac{B}{A}\right)$
	円	円	円	%
第1款 建設改良費	12,880,371,000	11,356,938,249	1,523,432,751	88.2
第1項 下水道施設費	820,371,000	689,320,632	131,050,368	84.0
管渠施設費	407,191,713	332,955,762	74,235,951	81.8
ン渠施設費	89,562,100	89,220,975	341,125	99.6
ボ処理場施設費	195,029,762	193,074,225	1,955,537	99.0
諸施設費	128,587,425	74,069,670	54,517,755	57.6
第2項 下水道拡張費	12,060,000,000	10,667,617,617	1,392,382,383	88.5
施設費	10,790,000,000	9,598,702,276	1,191,297,724	89.0
失業対策下水道施設費	100,000,000	81,487,275	18,512,725	81.5
特別失業対策下水道整備拡充費	310,000,000	290,430,429	19,569,571	93.7
下水道整備拡充費	860,000,000	696,997,637	163,002,363	81.0
第2款 企業業債債還金	448,927,000	448,927,000	0	100.0
第1項 企業業債債還金	448,927,000	448,927,000	0	100.0
企業業債債還金	448,927,000	448,927,000	0	100.0
第3款 貸付代金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
第1項 貸付代金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
職員共済組合貸付金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
計	13,335,298,000	11,811,865,249	1,523,432,751	88.6

1. 資本的支出予算額のうち、建設改良工事の繰越は次のとおりである。

下水道拡張費 515,150,911円

2. 資本的収入合計10,900,388,349円と資本的支出合計11,811,865,249円との収入不足額 911,476,900 円に、翌年度への繰越工事に対する資金留保額515,150,911円を加えた資金不足額1,426,627,811円については、次のとおり補てんした。

内 訳	(1) 前年度からの繰越工事資金	77,988,000円
	(2) 建設改良積立金処分額	40,000,000
	(3) 当年度利益剰余金充当	114,000,000
	(4) 整備拡充事業前年度資金残額	585,395
	(5) 損益勘定留保資金	1,194,054,416

2. 昭和37年度東京都下水道事業損益計算書

1. 営業収益

(1) 下水道料金	1,859,189,181円	
(2) 一般会計繰入金	627,430,500	
(3) 受託事業収益	202,524,435	
(4) その他営業収益	298,574,790	2,987,718,906円

2. 営業費用

(1) 管渠費	635,080,940	
(2) ポンプ場費	239,469,990	
(3) 処理場費	689,254,278	
(4) 受託事業費	202,524,435	
(5) 業務費	363,346,936	
(6) 総係費	168,450,274	
(7) 減価償却費	674,357,145	
(8) 資産減耗費	63,620,650	
(9) その他営業費用	6,925,754	3,043,030,402

営業総利益

△ 55,311,496円

3. 営業外収益

(1) 受取利息	24,494,727	
(2) 土地物件収益	29,677,028	
(3) 一般会計繰入金	1,147,263,738	
(4) 雑収	18,882,263	1,220,317,756

当年度総利益

1,165,006,260

4. 営業外費用

(1) 支払利息及企業債取扱諸費	1,147,263,738	
(2) 繰延勘定償却	4,875,000	
(3) 雑支出	7,582,055	1,159,720,793

当年度純利益

5,285,467

損 益 計 算 書

借 方

貸 方

営

業

費

用

30
億
4
千
303
万
402
円

(72.31%)

営

業

外

費

用

11
億
5
千
972
万
793
円

(27.56%)

管 渠 費	635,080,940円
ポンプ場費	239,469,990
処理場費	689,254,278
受託事業費	202,524,435
業務費	363,346,936
総 係 費	168,450,274
減価償却費	674,357,145
資産減耗費	63,620,650
その他営業費用	6,925,754

下水道料金	1,859,189,181円
一般会計繰入金	627,430,500
受託事業収益	202,524,435
その他営業収益	298,574,790

受 取 利 息	24,494,727円
土地物件収益	29,677,028
一般会計繰入金	1,147,263,738
雑 収	18,882,263

支払利息及企業 債 取 扱 諸 費	1,147,263,738円
繰延勘定償却	4,875,000
雑 支 出	7,582,055

当年度純利益	(0.13%) 528万5千467円
--------	-----------------------

営

業

収

益

29
億
8
千
771
万
8
千
906
円

(71.00%)

営

業

外

収

益

12
億
2
千
31
万
7
千
756
円

(29.00%)

3. 昭和37年度東京都下水道事業剰余金計算書

利益剰余金の部

I 減債積立金

1 前年度末残高	1,400,000円	
2 前年度繰入額	<u>2,500,000</u>	
3 当年度末残高		3,900,000円

II 建設改良積立金

1 前年度末残高	0	
2 前年度繰入額	45,000,000	
3 当年度処分額	<u>40,000,000</u>	
4 当年度末残高		<u>5,000,000</u>

積立金合計

8,900,000円

III 未処分利益剰余金

1 前年度未処分利益剰余金		48,496,636
2 前年度利益剰余金処分額		
(1) 減債積立金	2,500,000	
(2) 建設改良積立金	<u>45,000,000</u>	<u>47,500,000</u>
繰越利益剰余金		996,636
3 繰越利益剰余金増加高		
(1) 固定資産売却益	<u>199,306,271</u>	<u>199,306,271</u>
4 繰越利益剰余金減少高		
(1) 整備拡充除却損	<u>85,373,453</u>	<u>85,373,453</u>
繰越利益剰余金年度末残高		114,929,454
5 当年度純利益		<u>5,285,467</u>
当年度未処分利益剰余金		<u>120,214,921</u>

資本剰余金の部

I 国庫補助金

1 前年度末残高	638,320,000円	
2 当年度発生額	<u>585,000,000</u>	
3 当年度末残高		1,223,320,000円

II 受贈財産評価額

1 前年度末残高	2,334,080,436	
2 当年度発生額	272,449,329	
3 当年度処分額	<u>12,227,185</u>	
4 当年度末残高		2,594,302,580

III 事業施設建設受入寄付金

1 前年度末残高	87,498,005	
2 当年度発生額	<u>109,234,438</u>	
3 当年度末残高		196,732,443

IV 保険差益

1 前年度末残高	<u>237,653</u>	
2 当年度末残高		<u>237,653</u>
3 資本剰余金合計		<u>4,014,592,676円</u>
翌年度繰越資本剰余金		<u>4,014,592,676</u>

4. 昭和37年度東京都下水道事業剰余金処分計算書

I 当年度末処分利益剰余金	120,214,921円
---------------	--------------

II 利益剰余金処分額

1 減債積立金	<u>6,000,000円</u>	
2 建設改良積立金 (議決済処分額)	<u>114,000,000</u>	<u>120,000,000円</u>

III 翌年度繰越利益剰余金

214,921

5. 昭和37年度東京都下水道事業貸借対照表

(昭和38年3月31日)

資 産 の 部

I 固 定 資 産

1 有 形 固 定 資 産

(1) 土 地 3,939,612,448円

(2) 立 木 7,131,053

(3) 建 物 2,728,889,236円

減価償却引当金 155,198,412 2,573,690,824

(4) 構 築 物 32,198,625,489

減価償却引当金 3,206,956,296 28,991,669,193

(5) 機 械 及 装 置 5,444,608,665

減価償却引当金 462,905,920 4,981,702,745

(6) 車 両 運 搬 具 114,013,999

減価償却引当金 45,005,902 69,008,097

(7) 器 具 備 品 102,309,850

減価償却引当金 40,407,042 61,902,808

(8) 建 設 仮 勘 定 13,472,384,690

有形固定資産合計 54,097,101,858円

2 無 形 固 定 資 産

(1) 電 気 ガ ス 供 給 施 設 利 用 権 67,685,024

(2) 借 地 権 1,250,156

無形固定資産合計 68,935,180

3 投 資 資 産

(1) 長 期 共 済 組 合 貸 付 金 4,000,000

(2) 投資有価証券 8,856,400

投資資産合計 12,856,400

固 定 資 産 合 計 54,178,893,438

II 流動資産

1 現金及預金

(1) 現金	13,800,000円	
(2) 預金	<u>1,024,035,493</u>	1,037,835,493円

2 未収金

(1) 営業未収金	424,262,630	
(2) 営業外未収金	249,491,240	
(3) その他未収金	<u>1,194,461,300</u>	1,868,215,170

3 貯蔵品

(1) 材料	94,995,424	
(2) 消耗工器具備品	480,230	
(3) 消耗品	<u>5,475,268</u>	100,950,922

4 仮払金

(1) 概算金		<u>32,886,100</u>
---------	--	-------------------

流動資産合計

3,039,887,685円

資産合計

57,218,781,123

負債の部

III 固定負債

1 引当金

(1) 退職給与引当金	<u>56,895,244</u>	
-------------	-------------------	--

固定負債合計

56,895,244

IV 流動負債

1 未払金

(1) 営業未払金	257,283,304	
(2) 工事未払金	<u>1,823,894,959</u>	
(3) その他未払金	<u>46,796,653</u>	2,127,974,916

2 未払費用

(1) 未払費用		25,482,903
----------	--	------------

3 前受金

(1) 営業前受金	1,086,833	
(2) その他前受金	<u>84,029</u>	1,170,862

4 預 り 金

(1) 預り保証金	15,146,200円	
(2) 預り諸税	10,819,823	
(3) その他預り金	<u>841,608</u>	<u>26,807,631円</u>

流動負債合計

2,181,436,312円

負債合計

2,238,331,556

資 本 の 部

V 資 本 金

1 自己資本金

(1) 自己資本金	29,266,247,570
-----------	----------------

2 借入資本金

(1) 企業債	<u>21,570,494,400</u>
---------	-----------------------

資本金合計

50,836,741,970

VI 剰 余 金

1 資本剰余金

(1) 国庫補助金	1,223,320,000
(2) 受贈財産評価額	2,594,302,580
(3) 事業施設建設 受入寄付金	196,732,443
(4) 保険差益	<u>237,653</u>

資本剰余金合計

4,014,592,676

2 利益剰余金

(1) 減債積立金	3,900,000
(2) 建設改良積立金	5,000,000
(3) 当年度未処分利益剰余金	

繰越利益剰余金
年度末残高 114,929,454円当年度純利益 5,285,467 120,214,921

利益剰余金合計

129,114,921

剰 余 金 合 計

4,143,707,597

資 本 合 計

54,980,449,567

負債資本合計

57,218,781,123

貸 借 対 照 表

借 方

貸 方

固 定 資 産	(0.099%)		資 本 金
	固 定 負 債	5 千 689 万 5 千 244 円	
	未 払 金	2, 127, 974, 916円	
	未 払 費 用	25, 482, 903	
	前 受 金	1, 170, 862	
	預 り 金	26, 807, 631	
	有形固定資産	54, 097, 101, 858円	
	無形固定資産	68, 935, 180	
	投 資 資 産	12, 856, 400	
	自己資本金	29, 266, 247, 570円	
541 億 7 千 889 万 3 千 438 円	借入資本金	21, 570, 494, 400	508 億 3 千 674 万 1 千 970 円
	現金及預金	1, 037, 835, 493円	
	未 収 金	1, 868, 215, 170	
	貯 蔵 品	100, 950, 922	
	仮 払 金	32, 886, 100	
	資本剰余金	4, 014, 592, 676円	
	利益剰余金	129, 114, 921	
	流動資産	30億 3 千 988 万 7 千 685 円	
		(5.313%)	
(94.687%)		(88.846%)	
		剰 余 金	
		41億 4 千 370 万 7 千 597 円	
		(7.242%)	

流動負債
21億 8 千 143 万 6 千 312 円
(3.813%)

6. 貸借対照表、損益計算書の比較と分析

(1) 比較貸借対照表

区 分 \ 年 度	3 7	3 6	差 引
有 形 固 定 資 産	54,097,101,858 ^円	43,375,909,886 ^円	10,721,191,972 ^円
無 形 固 定 資 産	68,935,180	22,515,610	46,419,570
投 資 資 産	12,856,400	9,650,000	3,206,400
固 定 資 産 計	54,178,893,438	43,408,075,496	10,770,817,942
現 金 及 預 金	1,037,835,493	1,546,791,751	△ 508,956,252
未 収 金	1,868,215,170	1,861,786,934	6,428,236
貯 蔵 品	100,950,922	143,247,244	△ 42,296,322
仮 払 金	32,886,100	4,617,220	28,268,880
流 動 資 産 計	3,039,887,685	3,556,443,149	△ 516,555,464
資 産 合 計	57,218,781,123	46,964,518,645	10,254,262,478
引 当 金	56,895,244	49,381,605	7,513,639
固 定 負 債 計	56,895,244	49,381,605	7,513,639
未 払 金	2,127,974,916	2,671,830,489	△ 543,855,573
未 払 費 用	25,482,903	60,306,129	△ 34,823,226
前 受 金	1,170,862	2,534,816	△ 1,363,954
預 り 金	26,807,631	15,161,576	11,646,055
流 動 負 債 計	2,181,436,312	2,749,833,010	△ 568,396,698
負 債 計	2,238,331,556	2,799,214,615	△ 560,883,059
自 己 資 本 金	29,266,247,570	26,035,849,900	3,230,397,670
借 入 資 本 金	21,570,494,400	15,019,421,400	6,551,073,000
資 本 金 計	50,836,741,970	41,055,271,300	9,781,470,670
資 本 剰 余 金	4,014,592,676	3,060,136,094	954,456,582
利 益 剰 余 金	129,114,921	49,896,636	79,218,285
剰 余 金 計	4,143,707,597	3,110,032,730	1,033,674,867
資 本 合 計	54,980,449,567	44,165,304,030	10,815,145,537
負 債 資 本 合 計	57,218,781,123	46,964,518,645	10,254,262,478

(2) 損益収支結合表

	円	円	円
収 益		4,208,036,662	
流動資産の減少			
貯 蔵 品	42,296,322		貯蔵品の庫出
固定負債の増加			
引 当 金	7,513,639		職員納付金
流動負債の増加			
預 り 金	11,646,055		源泉徴収所得税等の収入
資本の増加			
自己資本金	3,230,397,670		一般会計繰入金等の組入れ
借入資本金	6,551,073,000		企業債借入の増
剰余金の増加			
資本剰余金	954,456,582		国庫よりの補助金受贈財産寄付
利益剰余金	73,932,818		土地売却差益
収入合計			15,079,352,748
費 用		4,202,751,195	
固定資産の増加			
有形固定資産	10,721,191,972		下水諸施設の新設改良及び諸設備の購入
無形固定資産	46,419,570		受電設備等の新設
投資資産	3,206,400		電信電話債券購入
流動資産の増加			
未 収 金	6,428,236		一般会計繰入金等の未収分
仮 払 金	28,268,800		前渡金概算金の支払い
流動負債の減少			
未 払 金	543,855,573		建設改良工事費等の支払い
未 払 費 用	34,823,226		人件費の支払い
前 受 金	1,363,954	11,385,557,811	15,588,309,006
支出合計			15,588,309,006
収支差引			508,956,258
現金預金36年度末在高			1,546,791,751
現金預金37年度減少高			508,956,258
現金預金37年度末在高			1,037,835,493

資 金 移 動 図 表

28

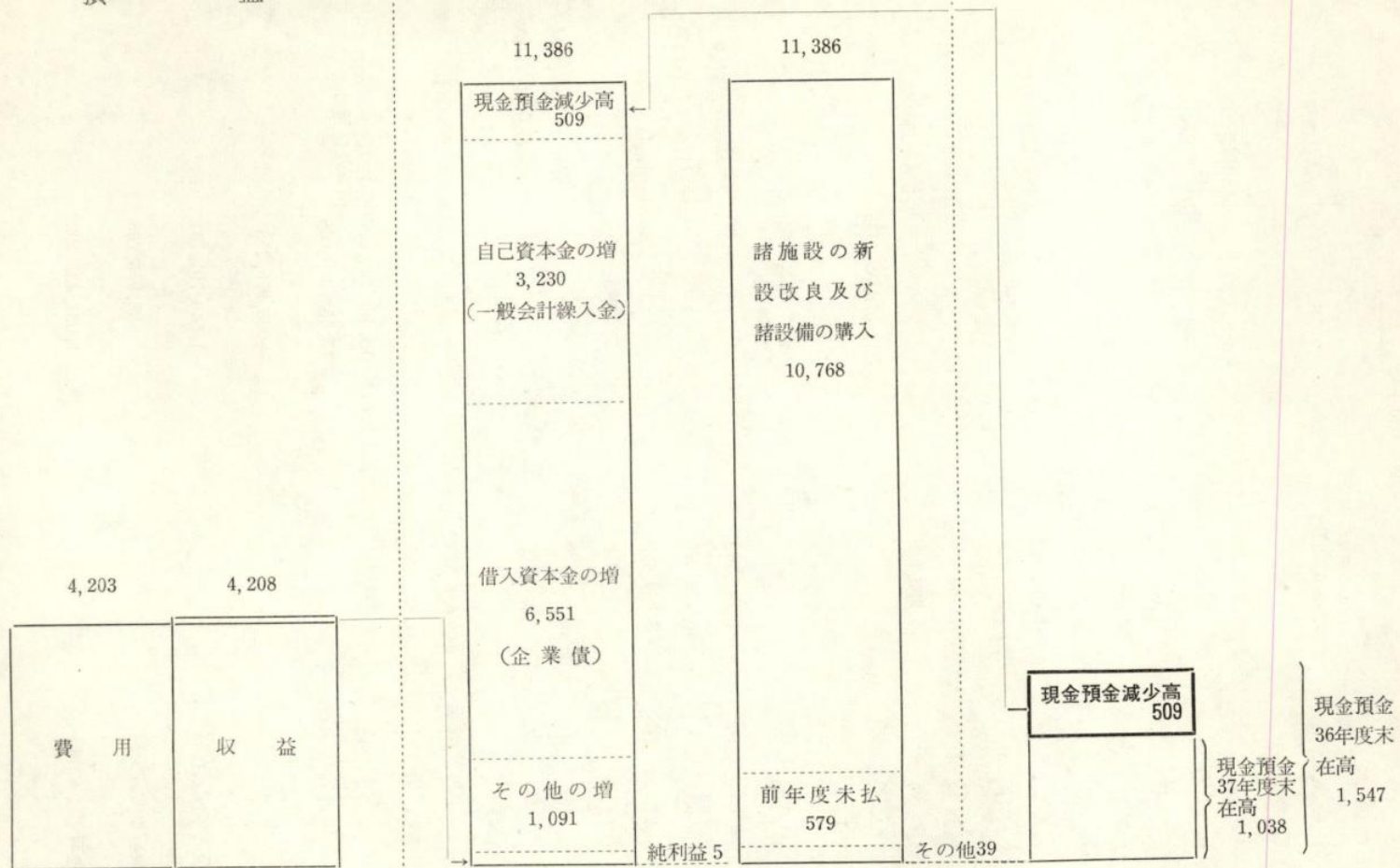
損 益

源 泉

運 用

現金預金

(単位 百万円)



(3) 損益計算書、貸借対照表百分比

損 益 計 算 書

区 分			区 分		
金 額	比 率		金 額	比 率	
営 業 費 用	3,043,030,402	72.3	営 業 収 益	2,987,718,906	71.0
営 業 外 費 用	1,159,720,793	27.6	営 業 外 収 益	1,220,317,756	29.0
計	4,202,751,195	99.9			
当 期 純 利 益	5,285,467	0.1			
借 方 合 計	4,208,036,662	100.00	貸 方 合 計	4,208,036,662	100.0
備 減 価 償 却 費	674,357,145	16.0	備 下 水 道 料 金	1,859,189,181	44.2
支 払 利 息	1,147,263,738	27.3	受 託 事 業 収 益	202,524,435	4.8
考 受 託 事 業 費	202,524,435	4.8	考 補 給 金 及 び 繰 入 金	1,774,694,238	42.2

貸 借 対 照 表

区 分			区 分		
金 額	比 率		金 額	比 率	
有 形 固 定 資 産	54,097,101,858	94.544	未 払 金	2,127,974,916	3.719
無 形 固 定 資 産	68,935,180	0.120	未 払 費 用	25,482,903	0.045
投 資 資 産	12,856,400	0.023	前 受 金	1,170,862	0.002
現 金 及 預 金	1,037,835,493	1.814	預 り 金	26,807,631	0.047
未 収 金	1,868,215,170	3.265	引 当 金	56,895,244	0.099
貯 蔵 品	100,950,922	0.176	自 己 資 本 金	29,266,247,570	51.148
仮 払 金	32,886,100	0.058	借 入 資 本 金	21,570,494,400	37.698
			資 本 剰 余 金	4,014,592,676	7.016
			利 益 剰 余 金	129,114,921	0.226
資 産 合 計	57,218,781,123	100.000	負 債 資 本 合 計	57,218,781,123	100.000

(4) 昭和33~37年度比較貸借対照表

区 分	年 度	3 3 年 度 末	3 4 年 度 末	3 5 年 度 末	3 6 年 度 末	3 7 年 度 末
		千円	千円	千円	千円	千円
資 産						
固 定 資 産		21,473,785	25,686,798	32,732,911	43,408,075	54,178,893
流 動 資 産		1,604,780	2,531,855	3,802,952	3,556,443	3,039,888
現 金 及 預 金		794,160	1,461,585	2,032,909	1,546,792	1,037,836
未 収 金		740,289	1,001,164	1,657,025	1,861,787	1,868,215
貯 蔵 品		55,441	67,648	108,721	143,247	100,951
その他流動資産		14,890	1,458	4,297	4,617	32,886
資 産 合 計		23,078,565	28,218,653	36,535,864	46,964,519	57,218,781
負 債						
固 定 負 債		24,132	30,454	38,740	49,382	56,895
流 動 負 債		812,197	1,398,693	2,520,279	2,749,833	2,181,436
未 払 金		807,696	1,394,640	2,452,350	2,671,830	2,127,975
その他流動負債		4,501	4,053	67,929	78,003	53,461
負 債 合 計		836,329	1,429,147	2,559,019	2,799,215	2,238,331
資 本						
資 本 金		17,438,972	19,676,962	32,321,715	41,055,271	50,836,742
自 己 資 本 金		14,099,560	14,226,466	22,765,139	26,035,850	29,266,248
借 入 資 本 金		3,339,412	5,450,496	9,556,575	15,019,421	21,570,494
剰 余 金		4,803,264	7,112,544	1,655,129	3,110,033	4,143,708
資 本 剰 余 金		4,800,537	7,095,880	1,629,184	3,060,136	4,014,593
利 益 剰 余 金		2,727	16,664	25,944	49,897	129,115
欠 損 金		0	0	0	0	0
資 本 合 計		22,242,236	26,789,506	33,976,844	44,165,304	54,980,450
資本、負債合計		23,078,565	28,218,653	36,535,864	46,964,519	57,218,781

(5) 損益計算書、貸借対照表の分析比率

イ 資産、資本の構成比率

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位 千円)
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{54,178,893}{57,218,781} \times 100 = 94.7\%$
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}}$	$\frac{21,627,390}{57,218,781} \times 100 = 37.8$
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	$\frac{33,409,955}{57,218,781} \times 100 = 58.4$
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}}$	$\frac{54,178,893}{33,409,955} \times 100 = 162.2$
長期資本対固定資産比率	$\frac{\text{自己資本} + \text{固定負債}}{\text{固定資産}}$	$\frac{55,037,345}{54,178,893} \times 100 = 101.6$
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	$\frac{3,039,888}{2,181,436} \times 100 = 139.4$
酸性試験比率	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}}$	$\frac{1,037,835 + 1,868,215}{2,181,436} \times 100 = 133.2$
現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}}$	$\frac{1,037,835}{2,181,436} \times 100 = 47.6$

ロ 資産、資本の回転率

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位 千円)
総資本回転率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{総資本平均在高}}$	$\frac{2,987,719}{52,091,650} = 0.06$
自己資本回転率	$\frac{\text{総費用}}{\text{自己資本平均在高}}$	$\frac{4,202,751}{31,277,919} = 0.13$
固定資産対営業収益回転率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{固定資産平均在高}}$	$\frac{2,987,719}{48,793,484} = 0.06$

減 価 償 却 率	$\frac{\text{当期償却費}}{\text{減価償却資産}}$	$\frac{674,357}{37,421,266}=0.02$
流動資産回転率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{流動資産平均在高}}$	$\frac{2,987,719}{3,298,165}=0.91$
現金預金回転率	$\frac{\text{当期支出額}}{\text{現金預金平均在高}}$	$\frac{15,947,065}{1,292,314}=12.34$
貯蔵品回転率	$\frac{\text{払出高}}{\text{貯蔵品平均在高}}$	$\frac{1,217,703}{122,099}=9.97$
未収金回転率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業未収金平均在高}}$	$\frac{2,987,719}{303,396}=9.85$

ハ 損益に関する各種比率

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位 千円)
総 資 本 利 益 率	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{総資本平均在高}}$	$\frac{5,285}{52,091,650}=0.00$
営業収益対営業費用比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}}$	$\frac{2,987,719}{3,043,030} \times 100 = 98.2 (\%)$
総収益対総費用比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}}$	$\frac{4,208,037}{4,202,751} \times 100 = 100.1 (\%)$
利 子 負 担 率	$\frac{\text{支払利息}}{\text{総負債平均在高}}$	$\frac{1,147,264}{20,813,730} \times 100 = 5.5 (\%)$
企業債償還額対減価償却額比率	$\frac{\text{企業債償還額}}{\text{当期償却費}}$	$\frac{448,927}{674,357} \times 100 = 66.6 (\%)$
職員1人当営業収益	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	$\frac{2,987,719}{1,431} = 2,087.85 (\text{円})$
職員1人当有形固定資産	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{全職員数}}$	$\frac{54,097,102}{2,227} = 24,291.47 (\text{円})$

(注) 本表における用語の説明

1. 負 債 固定負債+流動負債
2. 固定負債 固定負債+借入資本金
3. 自己資本 自己資本金+利益剰余金+資本剰余金
4. 平均在高 (期首在高+期末在高) ÷ 2

7. 企業債および一時借入金

(1) 企業債

種 別	発行年月日	発行額	償還高	未償還残高	借入先	発行価格	利 率	償還終期
		内 昭和37年度分 訳 昭和37年度末	内 昭和37年度分 訳 昭和37年度末					
下水道拡張	昭和24年4月25日	円 7,000,000,000	円 443,765,974	円 21,557,327,026	資金運用部 簡易保険局 公 募	99.00円 円 5,250,000,000 99.50円 300,000,000 99.75円 4,450,000,000 100.00円 12,294,000,000	6分3厘 6分5厘 7分3厘 7分5厘 8分0厘	昭和62年2月
	昭和38年3月23日	22,294,000,000	736,672,974					
管渠移設復旧	昭和21年5月20日 昭和26年3月15日	0 17,140,000	1,548,026 11,868,026	5,271,974	資金運用部	100.00円	3分2厘 6分3厘	昭和51年2月
水害下水道復旧	昭和23年4月30日 昭和25年3月25日	0 32,700,000	3,490,000 25,140,000	7,560,000	資金運用部	100.00円	6分3厘	昭和42年3月
都市計画事業 改良下水道完成	昭和14年5月31日	0 868,100	81,500 838,100	0	簡易保険局	100.00円	4分2厘	昭和37年5月
郊外下水道 改良費	昭和17年5月20日	0 736,400	41,500 401,000	335,400	簡易保険局	100.00円	4分2厘	昭和45年11月
計		7,000,000,000 22,345,444,500	448,927,000 774,950,100	21,570,494,400				

(注) 当年度発行額のうち、未収資金運用部債4億5,000万円を含んでいる。

(2) 支払利息

種 別	企 業 債 利 息	企 業 債 取 扱 費	計	備 考
年 度				
37 年 度	1,092,453,530 円	54,810,208 円	1,147,263,738 円	

(3) 一時借入金

な し

第 2 節 固 定 資

有 形 固 定 資

資 産 の 種 類	年 度 当 初 現 在 高		当 年 度 増 加 高	
土 地	1,112,680.926 ^{m²}	2,840,912,934 ^円	41,054.80 ^{m²}	1,108,752,860 ^円
事務所用地	2,329.28	50,288,360	0	0
施設用地	1,104,995.326	2,782,740,178	37,866.60	1,044,024,174
その他用地	5,356.32	7,884,396	3,188.20	64,728,686
立 木	—	5,149,136	—	1,981,917
建 物	68,020.36	2,993,260,292	4,884.972	168,802,519
事務所用建物	9,401.679	218,509,938	253.611	5,545,591
施設用建物	44,304.919	2,655,901,211	987.231	78,706,803
公舎合宿用建物	6,249.15	58,787,833	1,533.36	53,169,495
倉庫車庫用建物	5,064.792	36,969,263	1,902.24	26,655,163
工場用建物	1,095.14	12,599,645	0	0
その他建物	1,904.68	10,492,402	208.53	4,725,467
構 築 物	—	28,852,209,727	—	3,806,506,641
排水設備	—	22,351,370,503	—	2,812,211,553
処理設備	—	6,034,340,758	—	971,053,048
諸 設 備	—	466,498,466	—	23,242,040
機 械 及 装 置	—	5,262,933,015	—	714,073,026
電気設備	—	1,805,316,524	—	302,709,244
ポンプ設備	—	1,179,301,613	—	100,713,582
処理機械設備	—	1,984,050,178	—	279,955,700
その他機械装置	—	294,264,700	—	30,694,500
車 両 運 搬 具	—	91,275,099	—	26,476,400
器 具 備 品	—	97,043,100	—	11,539,650
建設仮勘定	—	6,498,680,704	—	8,964,812,989
計	—	46,641,464,007	—	14,802,946,002

産 明 細 書

産 明 細 書

昭和37年度

当 年 度 減 少 高		年 度 末 現 在 高		減価償却引当金	減価償却未済高
3,949.946 ^{m²}	10,053,346 ^円	1,149,785.78 ^{m²}	3,939,612,448 ^円	— ^円	3,939,612,448 ^円
0	0	2,329.28	50,288,360	—	50,288,360
3,519.336	9,738,129	1,139,342.59	3,817,026,223	—	3,817,026,223
430.61	315,217	8,113.91	72,297,865	—	72,297,865
—	0	—	7,131,053	—	7,131,053
1,402.222	433,173,575	71,503.11	2,728,889,236	155,198,412	2,573,690,824
368.77	2,156,387	9,286.52	221,899,142	13,728,899	208,170,243
547.30	430,380,638	44,744.85	2,304,227,376	117,125,381	2,187,101,995
41.25	85,000	7,741.26	111,872,328	11,057,065	100,815,263
321.152	342,700	6,645.88	63,281,726	6,744,201	56,537,525
0	0	1,095.14	12,599,645	3,220,130	9,379,515
123.75	208,850	1,989.46	15,009,019	3,322,736	11,686,283
—	460,090,879	—	32,198,625,489	3,206,956,296	28,991,669,193
—	100,621,769	—	25,062,960,287	2,834,935,598	22,228,024,689
—	357,673,341	—	6,647,720,465	304,731,163	6,342,989,302
—	1,795,769	—	487,944,737	67,289,535	420,655,202
—	532,397,376	—	5,444,608,665	462,905,920	4,981,702,745
—	153,861,654	—	1,954,164,114	112,260,035	1,841,904,079
—	320,178,482	—	959,836,713	126,883,872	832,952,841
—	36,748,179	—	2,227,257,699	190,993,611	2,036,264,088
—	21,609,061	—	303,350,139	32,768,402	270,581,737
—	3,737,500	—	114,013,999	45,005,902	69,008,097
—	6,272,900	—	102,309,850	40,407,042	61,902,808
—	1,991,109,003	—	13,472,384,690	—	13,472,384,690
	3,436,834,579		58,007,575,430	3,910,473,572	54,097,101,858

無形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加高	当年度減少高	年度末現在高
電気ガス供給施設利用権	17,765,015 ^円	51,463,448 ^円	1,543,439 ^円	67,685,024 ^円
借地権	4,750,595	0	3,500,439	1,250,156
計	22,515,610	51,463,448	5,043,878	68,935,180

投資資産明細書

資産の種類		年度当初現在高	当年度増加高	当年度減少高	年度末現在高
長期共済組合貸付金	共済組合貸付金	4,000,000 ^円	0 ^円	0 ^円	4,000,000 ^円
投資有価証券	電信電話債券	5,650,000	3,206,400	0	8,856,400
計		9,650,000	3,206,400	0	12,856,400

減価償却費

(有形固定資産)

償却資産の種類	償却対象額	減価償却費
建物	1,653,228,879 ^円	33,548,481 ^円
構築物	23,619,547,804	477,635,924
機械及び装置	2,936,963,249	139,264,048
車両運搬具	78,289,109	14,592,688
器具備品	75,264,839	6,522,408
計	28,413,293,880	671,563,549

(無形固定資産)

無形固定資産の種類	償却対象額	減価償却費
電気ガス供給施設利用権	23,385,444 ^円	1,543,439 ^円
借地権	6,250,784	1,250,157
計	29,636,228	2,793,596

第 3 章 下 水 道 計 画

第 1 節 東京都市計画下水道

この計画は本都の戦後の復興計画に対応して、従来施行中の旧東京市下水道のほか郊外下水道及び旧12町村下水道を統合し区部のうち新荒川以西（練馬区の大部、板橋区の一部を除く）約36,155ヘクタールの地域に対する下水道計画を策定し、昭和25年7月都市計画下水道が決定されていたものである。

しかし、最近における本都の著しい発展に伴い、人口の激増、使用水量の増大、都市計画用途地域の変更、極度の地盤沈下、或は集中豪雨の発生等により、施設の追加変更が必要となつてきたので変更計画を策定し、昭和37年3月31日、建設省告示第1,092号をもつて決定された。

その変更理由の主なものは次の通りである。

- (1) 排水区域は新荒川以西の地域（練馬区の大部、板橋区の一部を除く）で総面積37,314ヘクタールの区域であり、今回は埋立等の理由により砂町処理場付近及び板橋区舟渡3丁目並びに練馬区仲町1丁目、板橋区上板橋町7丁目付近の一部を新たに追加した。又、芝浦系統のうち神田川（上流は江戸川）左岸の地域は三河島系統に流域変更する。なお、隣接する武蔵野市及び三鷹市のうち地形上本区域に流入する約1,185ヘクタールの地域の下水は森ヶ崎処理場にて処理する。
- (2) 計画人口は東京都長期計画に基づく適正収容人口（常住人口）950万人（昭和45年には980万人）とし、1人1日当りの汚水量はこれを行政区毎に定め、雨水量は計画全地域において1時間最大降雨量を50耗としてこれを定める。
- (3) 東京都市計画審議会河川下水道調査特別委員会が決定した、「準用河川を下水道幹線とする」答申により、呑川外10河川の全部又は一部を下水道幹線として利用する。
- (4) 諸産業の発展に伴う工業用地下水の過剰汲み上げによる地盤沈下は著しく、今後の趨勢等を勘案し、これに対応する各施設の増設をはかることとする。なお、本計画では管渠7,608,900メートル、ポンプ所42カ所、処理場6カ所となつており、計画内容は後記（3の第1）のとおりである。

第 2 節 東京都市計画下水道事業

この計画は昭和25年7月決定の都市計画下水道のうち急施を要する施設を緊急に施行する予定で、昭和28年都市計画事業として決定されたものである。

これは都心部及びその周辺、約19,326ヘクタールの地域について管渠約400,000メートル、ポンプ所7カ所、下水処理場6カ所を事業費90億円をもつて5カ年間に執行する計画であつたが、事業が資金難、用地難その他により予定通り進捗せず、更に準用河川と下水幹線の重複を調整する必要が生じた等の理由により再三にわたり年度割を延長してきたのであるが、最近における本都の発展に対処するため前記都市

計画下水道の計画変更の際事業内容を大幅に拡大，昭和45年までに都市計画下水道全域37,314ヘクタールについて下水道を完成するよう事業計画を変更し，昭和37年3月31日建設省告示1,092号をもつて決定した。

この事業計画では管渠5,473,145メートル，ポンプ所39カ所，処理場6カ所（処理能力410万立方メートル）の施設を総事業費約2,177億円（一部執行済）をもつて施行するもので施設の大要は後記（3の第2）のとおりである。

第 3 節 東京都市計画下水道並びに同下水道事業
及びその執行年度割の概要

第 1 東京都市計画下水道を次のように変更する。

(1) 排水区域及び面積

排水区域名	面積 (ヘクタール)	区 域
芝 浦	約 6,328	港区の全部及び千代田，中央，新宿，渋谷，各区の大部，並びに文京，品川，目黒，世田谷，豊島，各区の一部
三 河 島	〃 3,936	台東，荒川，両区の全部，及び文京，豊島，両区の大部，並びに千代田，新宿，北，各区の一部
砂 町	〃 3,977	墨田区の全部，及び江東区の大部，並びに中央，足立，江戸川，各区の一部
小 台	〃 4,552	北，板橋，両区の大部，及び新宿，豊島，練馬，足立，各区の一部
落 合	〃 6,151	中野，杉並，両区の大部，及び新宿，世田谷，渋谷，豊島，練馬，各区の一部
森 ケ 崎	〃 12,370	大田区の全部，及び世田谷，品川，目黒，各区の大部並びに渋谷，杉並，両区の一部
計	〃 37,314	千代田，中央，港，新宿，文京，台東，墨田，品川，目黒，大田，世田谷，渋谷，中野，杉並，豊島，北，荒川，各区の全部，及び江東，板橋，両区の大部並びに練馬，足立，江戸川，各区の一部

(2) 下 水 管 渠

排水区域名	名 称	管径又は断面 (センチメートル)	延 長 (メートル)	摘 要
芝 浦	千駄ヶ谷幹線ほか25幹線	断面 内径45～ 断面 巾750×高360	82,952	
	枝 線		1,270,172	
	計		1,353,124	
三 河 島	尾久幹線ほか14幹線	断面 内径80～ 断面 巾400×高250並列	62,990	
	枝 線		928,016	
	計		991,006	
砂 町	小松川幹線ほか5幹線	管径 内径45～ 断面 巾600×高480	24,346	
	枝 線		831,382	
	計		855,728	
小 台	浮間幹線ほか6幹線	断面 内径35～ 断面 巾1,400×高600	30,607	
	枝 線		876,682	
	計		907,289	
落 合	中新井幹線ほか7幹線	断面 内径60～ 断面 巾800×高350	47,656	
	枝 線		1,266,435	
	計		1,314,091	
森 ヶ 崎	烏山幹線ほか16幹線	断面 内径45～ 断面 巾2,000×高490	110,991	
	枝 線		2,076,671	
	計		2,187,662	
合 計			7,608,900	

(3) 吐 口

排水区域名	位 置	管 径 又 は 断 面 (センチメートル)	摘 要
芝 浦	港区新門前町地内	断 面 1,500×500	渋谷川幹線雨水吐口
	他 250 カ 所	省 略	
三 河 島	文京区関口水道町地内	断 面 120×108	雑司ヶ谷幹線雨水吐口
	他 48 カ 所	省 略	
砂 町	墨田区吾嬬町1丁目地内	断 面 400×400	業平橋ポンプ所吐口
	他 13 カ 所	省 略	
小 台	板橋区長後1丁目地内	断 面 480×288	志村幹線雨水吐口
	他 89 カ 所	省 略	
落 合	中野区江古田1丁目地内	断 面 480×288	中新井幹線雨水吐口
	他 224 カ 所	省 略	
森 ケ 崎	目黒区下目黒2丁目地内	断 面 2,800×500	目黒川幹線雨水吐口
	他 93 カ 所	省 略	

(4) ポ ン プ 所

・ 主 要 設 備 省 略

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
芝 浦	銭 瓶 町	千代田区大手町2丁目地内	0.60	箱 崎 町	中央区日本橋箱崎町4丁目地内	0.01
	浜 町	中央区日本橋浜町2丁目 浜町公園内	0.06	桜 橋	中央区西八丁堀4丁目及び 新富町1丁目地内	0.20
	中 州	中央区日本橋中州地内	0.02	汐 留	中央区銀座東8丁目、 築地5丁目地内	0.20
三 河 島	湯 島	文京区湯島切通町地内	0.17	汐 入	荒川区南千住町10丁目地内	0.09
	和 泉 町	千代田区神田和泉町地内	0.05	南 千 住	荒川区南千住町8丁目地内	0.16
	日 本 堤	台東区浅草日本堤2丁目 地内	0.32	藍 染	荒川区荒川8丁目 三河島処理場構内	—
	山 谷	台東区浅草橋場3丁目地内	0.06	町 屋	荒川区三河島町9丁目地内	0.39
	橋 場	荒川区南千住町3丁目地内	0.06	尾 久	荒川区尾久町9丁目地内	0.56

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
砂 町	業 平 橋	墨田区吾嬭橋3丁目地内	0.44	越 中 島	江東区深川越中島町地内	0.08
	三 ノ 橋	墨田区堅川4丁目地内	0.47	東 雲	江東区深川8号埋立地々内	0.30
	佃 島	中央区新佃島東町1丁目地内	0.50	木 場	江東区深川豊住町3丁目地内	0.89
	月 島	中央区新佃島東町1丁目地内	0.05	千 住 西	足立区千住桜木町地内	0.40
	千 住	足立区千住曙町地内	0.60	小 松 川	江戸川区平井1丁目地内	0.47
	隅 田	墨田区隅田町1丁目地内	0.62	大 島	江東区大島町6丁目地内	0.89
	吾 嬭	墨田区吾嬭町東5丁目地内	0.62	砂 町	江東区南砂町5丁目地内	0.88
小 台	志 村	板橋区小豆沢4丁目地内	0.81	王 子	北区豊島2丁目地内	0.47
	志 茂	北区志茂1丁目地内	0.70	宮 城	足立区宮城町 小台処理場構内	—
	鹿 浜	足立区南堀之内町地内	0.70			
森 ケ 崎	鮫 州	品川区大井鮫州町地内	0.54	高 畑	大田区西六郷3丁目地内	0.06
	浜 川	品川区大井北浜川町地内	0.16	六 郷	大田区南六郷1丁目及び 2丁目地内	0.71
	平 和 島	大田区平和島地内	0.55	羽 田	大田区羽田旭町地内	0.88
	矢 口	大田区古市町地内	0.50			

(5) 処 理 場

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	摘 要
芝 浦	芝 浦	港区芝高浜町及び芝海岸通5丁目地内	18.18	主要施設等省略
三 河 島	三 河 島	荒川区荒川8丁目地内	18.49	〃
砂 町	砂 町	江東区南砂町9丁目地内	49.14	〃
小 台	小 台	足立区宮城町地内	9.47	〃
落 合	落 合	新宿区上落合1丁目地内	7.06	〃
森 ケ 崎	森 ケ 崎	大田区森ヶ崎町及び京浜三区埋立地内	36.36	〃

第2 昭和28年10月12日建設省告示，第1,358号東京都市計画下水道事業を次のように変更する。

(1) 排水区域及び面積

東京都市計画下水道に同じ

(2) 下水管渠

排水区域名	名称	管径又は断面 (センチメートル)	延長 (メートル)	摘要
芝 浦	千駄ヶ谷幹線ほか13幹線	断面 内径45～ 断面 巾750×高360	31,501	
	枝線		578,878	
	計		610,379	
三 河 島	尾久幹線ほか13幹線	断面 内径25～ 断面 440×264	28,535	
	枝線		48,542	
	計		77,077	
砂 町	小松川幹線ほか5幹線	断面 内径45～ 断面 巾600×高480	19,211	
	枝線		505,009	
	計		524,220	
小 台	浮間幹線ほか6幹線	断面 内径35～ 断面 巾1,400×高600	29,878	
	枝線		762,658	
	計		792,536	
落 合	中新井幹線ほか7幹線	断面 内径40～ 断面 巾800×高350	47,656	
	枝線		1,247,986	
	計		1,295,642	
森 ヶ 崎	烏山幹線ほか16幹線	断面 内径45～ 断面 巾1,400×高450	103,161	
	枝線		2,070,130	
	計		2,173,291	
合計			5,473,145	

(3) 吐 口

排水区域名	位 置	管 径 又 は 断 面 (センチメートル)	摘 要
芝 浦	中央区日本橋浜町2丁目地内	管 径 165	浜町ポンプ所吐口
	他 42 カ 所	省 略	
三 河 島	文京区春日町1丁目地内	断 面 330×330	白山幹線雨水吐口
	他 7 カ 所	省 略	
砂 町	中野区新佃島東町1丁目地内	断 面 270×162	佃島ポンプ所吐口
	他 9 カ 所	省 略	
小 台	板橋区長後1丁目地内	断 面 480×288	志村幹線雨水吐口
	他 73 カ 所	省 略	
落 合	中野区江古田1丁目地内	断 面 480×288	中新井幹線雨水吐口
	他 217 カ 所	省 略	
森 ケ 崎	大田区新井宿7丁目地内	断 面 480×336	馬込西幹線雨水吐口
	他 89 カ 所	省 略	

(4) ポ ン プ 所

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
芝 浦	銭 瓶 町	千代田区大手町2丁目地内	0.60	桜 橋	中央区西八丁堀4丁目及び 新富町1丁目地内	0.20
	浜 町	中央区日本橋浜町2丁目 浜町公園内	0.06	汐 留	中央区銀座東8丁目及び 築地5丁目地内	0.20
	中 州	中央区日本橋中州地内	0.02			
	箱 崎 町	中央区日本橋箱崎町 4丁目地内	0.01			
三 河 島	湯 島	文京区湯島切通町地内	0.17	汐 入	荒川区南千住町10丁目地内	0.09
	日 本 堤	台東区浅草日本堤 2丁目地内	0.32	藍 染	荒川区荒川8丁目 三河島処理場構内	—
	山 谷	台東区浅草橋場3丁目地内	0.06	町 屋	荒川区三河島町9丁目地内	0.39
	橋 場	荒川区南千住町3丁目地内	0.06	尾 久	荒川区尾久町9丁目地内	0.56

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
砂 町	業 平 橋	墨田区吾嬭橋3丁目地内	0.44	千 住 西	足立区千住桜木町地内	0.40
	三ノ橋	墨田区堅川4丁目地内	0.47	千 住	足立区千住曙町地内	0.60
	佃 島	中央区新佃島東町1丁目地内	0.50	隅 田	墨田区隅田町1丁目地内	0.62
	月 島	中央区新佃島東町1丁目地内	0.05	吾 嬭	墨田区吾嬭町東5丁目地内	0.62
	越 中 島	江東区深川越中島町地内	0.08	小 松 川	江戸川区平井1丁目地内	0.47
	東 雲	江東区深川8号埋立地地内	0.30	大 島	江東区大島6丁目地内	0.89
	木 場	江東区深川豊住町3丁目地内	0.89	砂 町	江東区南砂町5丁目地内	0.88
小 台	志 村	板橋区小豆沢4丁目地内	0.81	鹿 浜	足立区南堀之内町地内	0.70
	志 茂	北区志茂1丁目地内	0.70	宮 城	足立区宮城町 小台処理場構内	—
	王 子	北区豊島2丁目地内	0.47			
森 ヶ 崎	鮫 州	品川区大井鮫州町地内	0.54	高 畑	大田区西六郷3丁目地内	0.06
	浜 川	品川区大井北浜川町地内	0.16	六 郷	大田区南六郷1丁目及び 2丁目地内	0.71
	平 和 島	大田区平和島地内	0.55	羽 田	大田区羽田旭町地内	0.88
	矢 口	大田区古市町地内	0.50			

(5) 処 理 場

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	摘 要
芝 浦	芝 浦	港区芝高浜町及び芝海岸通5丁目地内	18.18	主要施設等省略
三 河 島	三 河 島	荒川区荒川8丁目地内	18.49	〃
砂 町	砂 町	江東区南砂町9丁目地内	49.14	〃
小 台	小 台	足立区宮城町地内	9.47	〃
落 合	落 合	新宿区上落合1丁目地内	7.06	〃
森 ヶ 崎	森 ヶ 崎	大田区森ヶ崎町及び京浜三区埋立地地内	36.36	〃

第 3. 昭和36年 3 月29日 建設省告示第 815 号都市計画下水道事業の執行年度割を次のように変更する。

自	昭和28年度	約 1 割 4 分
至	昭和36年度	
	昭和37年度	約 5 分
	昭和38年度	約 1 割 2 分
	昭和39年度	約 1 割 2 分
	昭和40年度	約 1 割 2 分
	昭和41年度	約 1 割 2 分
	昭和42年度	約 1 割 1 分
	昭和43年度	約 9 分
	昭和44年度	約 7 分
	昭和45年度	約 6 分

第 4. 都市計画排水路施設中蒲田排水路及び隅田排水路を廃止する。

事業費改訂経過

年次	年度	第 1 回(昭和33年 3 月 変 更(建設省 第 983 号))		第 2 回(昭和35年 3 月 変 更(建設省 第 805 号))		第 3 回(昭和36年 3 月 変 更(建設省 第 815 号))		第 4 回(昭和37年 3 月 変 更(建設省 第 1,092 号))	
		事業費	歩合	事業費	歩合	事業費	歩合	事業費	歩合
1	28	千円 490,760	% 5.5	千円 490,760	% 2.5	千円 490,760	% 1.7	千円 490,760	% 0.2
2	29	434,046	4.8	434,046	2.2	434,046	1.5	434,046	0.2
3	30	744,073	8.3	744,073	3.7	744,073	2.5	744,073	0.3
4	31	1,047,411	11.6	1,047,411	5.3	1,047,411	3.6	1,047,411	0.5
5	32	2,226,000	24.7	2,032,984	10.2	2,032,984	6.9	2,032,984	0.9
6	33	3,000,000	33.3	2,909,780	14.6	2,909,780	9.9	2,909,780	1.3
7	34	1,057,710	11.8	4,476,950	22.5	4,171,154	14.2	4,171,154	1.9
8	35			7,774,050	39.0	8,010,000	27.3	7,181,363	3.3
9	36					9,500,000	32.4	10,578,011	4.9
10	37							12,000,000	5.5
11	38							25,000,000	11.5
12	39							27,000,000	12.4
13	40							26,000,000	12.0
14	41							26,000,000	12.0
15	42							24,000,000	11.0
16	43							20,000,000	9.2
17	44							16,000,000	7.3
18	45							12,126,708	5.6
	計	9,000,000	100.0	19,910,054	100.0	29,340,208	100.0	217,716,290	100.0

(注) なお、本計画は、東京都区部面積約70%に相当するが、残りの地域に対しても、昭和48年度までに完成すべく計画が進められ、引続き都市計画決定を得るべく準備が進められている。

第4章 下水道事業経過

第1節 下水道事業認可関係

明治37年2月東京市区改正委員会は中島鋭治博士を臨時委員に推し、東京市下水道設計調査を委嘱した。博士は鋭意調査に努めた結果40年3月その成果を得、右報告書を委員会に提出した。同委員会はこれらを設計、財源及び衛生の3部門に分ち審査した上、41年3月内閣の認可を得、ここに初めて本市改良下水道事業の確立を見るに至つたのである。かくして翌42年市会は工事費半額国庫補助詮議方意見書を内務大臣に提出し44年5月に至り内務、大蔵大臣より第1期事業(工費6,130,000円・自44年 至48年5カ年継続)の認可を得、直ちに下水改良事務所を設置して事務を開始することとなつた。然しその後、降雨量、交通量その他諸般の状況の変遷から原設計一部変更の要を生じたので、新たに下水道工事顧問会を置き総工費を6,300,000円、継続年限を大正7年度まで延長する計画を樹て、大正2年11月内務、大蔵両大臣の認可を得、第1期下水道改良工事に着手するに至つた。その後約50年間、いくたの工事が行なわれたが、戦後は昭和25年に都区部の大部にわたる東京都市計画下水道を立て、これを基本として事業を執行してしたが、昭和37年3月、荒川以東と練馬大部を除く区部約70%について都市計画決定を得(昭和37年12月、都心部再開発計画により一部変更)、これにより鋭意工事中である。

第1期下水道改良工事以来の事業の認可関係その他を表示すればつぎのとおりである。

事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並 執行年割認可		認可 事業費	施行 年度	地域	備考
	年月日	番号	年月日	番号	年月日	番号				
第1期下水道 改良工事	—	—	(市区改正) 認可 明41. 3. 26	内閣批 第32号	(市区改正) 認可 明44. 3. 29 大2. 11. 同9. 3. 31 同13. 3. 29	丙 第318号 内務省告示 第162号	15,000,000	自明44 至大12	第2区の 大部	
下水渠一部 造成工事	—	—	同	同	(市区改正) 認可 大3. 5.	—	2,520,000	自大5 至同9	大1区の 一部	
第2期下水道 改良工事	—	—	同	同	大9. 12. 8	—	20,000,000	自大9 至同12	第1区の 一部	
帝都復興下 水道改良工事	—	—	大13. 12. 29	内務省告示 第795号	大13. 4. 1 同13. 10. 27 同13. 12. 29 昭4. 3. 29 同5. 3. 29 同6. 3. 31	内務省告示 第172号 第677号 第796号 第63号 第71号	40,211,321	自大12 至昭6	震災焼失 下町一帯	
継続都市計画 速成工事	昭5. 9. 13	内務省東衛 第1,402号	同	同	大14. 8. 11 昭3. 9. 20 同5. 8. 13 同9. 4. 20	内務省告示 第140号 第153号 第159号 第217号	5,740,695	自大14 至昭9	神田、日 本橋、京 橋、本所 深川各区 を除く市 内各方面	千川改修 のみ築造 認可を受 く
管渠移転工事	—	—	—	—	—	—	2,454,911	自大14 至昭9	第2区の 大部	

事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並 執行年割認可		認可	施行	地域	備考
	年月日	番 号	年月日	番 号	年月日	番 号	事業費	年度		
下水道応急 整理工事	—	—	—	—	—	—	1,600,000	自昭15 至昭4	区画整理 に伴う既 設下水管 の整理	
失業救済工事 昭和2年度	—	—	大13.12.26	内務省告示 第795号	—	—	355,108	昭2	山の手 方面	
失業救済工事 昭和3年度	昭4.3.27	内務省東衛 第134号	同	同	—	—	461,624	昭3		
失業救済工事 昭和4年度	4.11.15	内務省東衛 第1,087号	同	同	昭5.1.30	内務省告示 第20号	1,932,460	昭4		
昭和5年度 速成工事	5.11.25	内務省東衛 第593号	同	同	大14.8.11 昭5.8.13	内務省告示 第140号 第159号	3,000,000	自昭5 至同7		市内31箇 所
第2改良 速成工事	6.3.21 8.3.31	内務省東衛 第2号 第1,191号	同	同	大4.8.11 昭5.12.29 同8.4.11	内務省告示 第140号 第257号 第76号	8,250,000	自昭5 至同8	市内70箇 所	
失業救済工事 昭和6年度 (冬期)	7.3.23	内務省東衛 第83号	同	同	大14.8.11 昭7.4.11	内務省告示 第140号 第76号	500,000	自昭6 至同7	市内14箇 所	
失業救済工事 昭和7年度 (夏期)	7.12.23	内務省東衛 第1,112号	同	同	大14.8.11 昭8.3.27	内務省告示 第140号 第81号	476,184	自昭7 至同8	市内12箇 所	
継続都市計画 完成(第1期) 工	9.3.31 11.3.31	内務省東衛 第1,191号 内務省東衛 第1,536号	同	同	昭8.8.12 同10.4.16 同17.4.23	内務省告示 第251号 第265号 第227号	38,500,000	自昭7 至同19	市内未完 成部分	当初 36,500, 000 の処 2,000, 000 追加認可 を得
大崎町下水道 事業(第1期)	大13.3.26	内務省東衛 第27号	—	—	—	—	794,723	自大13 至昭6	旧大崎町 の中央部	
大崎町下水道 事業(第2期)	昭5.9.9 11.6.23	内務省東衛 第959号 内務省東衛 第92号	昭8.12.24 9.4.20 10.4.19	内務省告示 第327号 第218号 第280号	昭3.12.24 同9.4.20 同10.4.10	内務省告示 第327号 第218号 第208号	798,000	自昭5 至同10	同 上 残部区域	
高田町 下水道事業	6.5.23	内務省東衛 第1,562号	5.12.29	内務省告示 第250号	昭5.12.29 同11.4.24 同14.4.21	内務省告示 第250号 第276号 第235号 第284号	2,118,000	自昭5 至同21	旧高田町 区域	
西巢鴨町 下水道事業	8.3.31	内務省東衛 第1,136号	8.2.23	内務省告示 第37号	昭7.2.23 同17.4.23	内務省告示 第37号 第229号	2,910,000	自昭6 至同21	旧西巢鴨 町全域	
巢鴨町 下水道事業	5.3.18	内務省東衛 第451号	5.1.30 9.4.20 10.4.16	内務省告示 第18号 第218号 第281号	昭5.1.30 同9.4.20 同10.4.16	内務省告示 第18号 第218号 第281号	1,273,282	自昭4 至同10	旧巢鴨町 全域	
王子町 下水道事業	4.3.25	内務省東衛 第123号	3.12.24 5.12.23	内務省告示 第326号 第244号	昭3.12.24 同5.12.23 同18.5.10	内務省告示 第326号 第244号 第284号	3,135,207	自昭3 至同21	旧王子町 大部	
尾久町下水道 事業(第1期)	3.1.31	内務省東衛 第777号	—	—	—	—	1,077,145	自昭2 至同7	旧尾久町 中央部	

事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並 執行年割認可		認可	施行	地域	備考
	年月日	番 号	年月日	番 号	年月日	番 号	事業費	年度		
尾久町下水道 事業(第2期)	昭 7. 7. 5	内務省6東 衛 第55号	昭 7. 4. 11	内務省告示 第 77 号	昭 7. 4. 11 同 12. 4. 9 同 14. 4. 24 同 14. 4. 18	内務省告示 第 77 号 第 225 号 第 234 号 第 261 号	1,510,650 円	自昭 7 至同 15	同上	残部
南千住町, 日 暮里町, 三河 島町下水道事 業	昭 6. 5. 30	内 務 省 5 東 衛 第 1,457 号	同 5. 12. 29	内務省告示 第 253 号	昭 5. 12. 29 同 11. 4. 27 同 14. 2. 24 同 18. 5. 10	内務省告示 第 253 号 第 275 号 第 235 号 第 284 号	5,380,000	自昭 6 至同 21	旧南千住 旧日暮里 旧三河島 各町の一部	東部下水 道町村組 合改良下 水道事業
大久保町下水 道事業(第1 期)	昭 3. 10. 31	内務省東衛 第 18 号	—	—	—	—	478,046	自昭 3 至同 6	旧大久保 町の一部	
大久保町下水 道事業(第2 期)	昭 7. 9. 30	内務省東衛 第 1,007 号	同 7. 10. 4	内務省告示 第 241 号	昭 9. 1. 10 同 17. 4. 23	内務省告示 第 5 号 第 230 号	1,026,000	自昭 8 至同 21	同上	残部
滝野川町下 水道事業	昭 8. 12. 19	内務省東衛 第 1,249 号	同 7. 10. 4	内務省告示 第 242 号	昭 9. 1. 10 同 11. 4. 23	内務省告示 第 5 号 第 232 号	3,494,000	自昭 8 至同 21	旧滝野川 町の一部	都市計画 事業は合 併して年 割決定
郊外下水 道事業の部 砂町系統の 一吾嬭排水 区	昭 11. 3. 31	内 務 省 10 東 衛 第 2 号	同 5. 3. 29	内務省告示 第 65 号	昭 10. 4. 16 同 15. 4. 18 同 16. 4. 23 同 18. 5. 10	内務省告示 第 271 号 第 261 号 第 231 号 第 284 号	3,000,000	自昭 11 至同 21	向島区 内寺島町, 吾嬭町の 一部	都市計画 経済費へ 3,890, 000
千住町下水 道事業(第1 期)	大 11. 2. 2	内務省9東 衛第 945 号	—	—	—	—	589,953	自大 10 至同 15	旧千住町 の中央部	
千住町下水 道事業(第2 期)	昭 2. 12. 8	内務省東衛 第 903 号	同 2. 3. 28	内務省告示 第 296 号	昭 2. 3. 28 同 7. 2. 23 同 7. 4. 4	内務省告示 第 296 号 第 39 号 第 66 号	930,000	自昭 2 至同 7	同上	荒川以東 の残部
都 市 計 画 下 水 道			同 25. 7. 10	建設省告示 第 740 号	昭 28. 10. 12	建設省告示 第 1,358 号	9,000,000	自昭 28 至同 31		千代田区 他20区 の中既定 区域の50 %と新区 域の急施 を要する 箇所を選 定
			(変更) 28. 10. 12	建設省告示 第 1,358 号	(変更) 昭 33. 3. 31	建設省告示 第 983 号		自昭 28 至同 34		
					昭 35. 3. 31	第 805 号		自昭 28 至同 35		
					昭 36. 3. 29	第 815 号		自昭 28 至同 36		
自 昭 32 年 至 昭 41 年 下 水 道	昭 34. 3. 11	建 33 東計 第 47 号	同 37. 3. 31	建設省告示 第 1,092 号	昭 37. 3. 31	第 1,092 号	217,716, 000,000	自昭 28 至同 45	新荒川以 西	練馬の大 部, 板橋 区の一部 を除く 同 上
	昭 34. 3. 23	厚 東 衛 第 570 号	同 37. 12. 22	建設省告示 第 3,205 号	同 上	同 上	36,600,000	自昭 32 至同 41	同上	昭和32年 既定区域 を 100 % 新区域を 45.5 %施 行に変更

第2節 施行済の事業

東京都市計画東京市下水道

事業別	予算額	竣工額	竣工延長	施行年度	摘 要
	円	円	m		
第1期下水道改良工	15,000,000	14,618,123	135,818	自明治44年 至大正12年	浅草区, 下谷区の大部, 本郷区, 神田区の一部並びに田町和泉町ポンプ所及び三河島下水処理場竣工
下水渠一部速成工事	2,520,000	2,497,989	14,876	自大正 5年 至同 9年	山の手及び下谷方面芝区の内雨水氾濫箇所に対し施行
第2期下水道改良工	20,000,000	4,311,283	35,115	自大正 9年 至同 12年	麴 町, 日本橋, 京橋区の一部並 銭瓶町ポンプ所の一部施行, 震災 の為打切
帝都復興下水道改良工	40,211,321	39,603,453	280,057	自大正12年 至昭和 6年	焼失区域一帯並びに芝浦, 銭瓶町 木場, 業平, 三ノ橋各ポンプ所, 砂町下水処理場
管渠移転工事	2,454,911	2,310,518	102,567	自大正14年 至昭和 5年	震災後区画整理に伴う第1期区域 内, 下水道の移転整理
下水道応急整理工事	1,600,000	948,402	30,465	自大正15年 至昭和 4年	震災後区画整理に伴う第1期区域 内, 既設計下水道の整理
失業救済工事 (昭和2年度)	355,108	340,415	2,518	自昭和 2年 至同 3年	山の手方面雨水氾濫箇所に対し施 行
〃 (昭和3年度)	461,624	428,477	4,472	昭和 3年	〃
〃 (昭和4年度)	1,932,460	1,711,460	17,563	自昭和 4年 至同 5年	全市域に互り雨水氾濫箇所に施行
昭和5年度速成工事	3,000,000	2,674,854	39,619	自昭和 5年 至同 7年	同並に急施を要すべき箇所に施行
失業救済工事 (昭和6年度)	500,000	455,538	12,285	自昭和 6年 至同 7年	〃
〃 (昭和7年度)	500,000	461,219	8,516	自昭和 7年 至同 8年	〃
昭和5.6.7年度 第2改良速成工事	8,250,000	7,561,665	120,534	自昭和 5年 至同 8年	同並びに芝浦ポンプ所の拡張
継続都市計画 速成工事	5,740,695	5,600,286	33,792	自大正14年 至昭和 9年	全市域並びに急施を要すべき箇所
継続都市計画 完成下水道改良工事	38,500,000	27,688,297	336,689	自昭和 7年 至同 19年	同市域内下水道の内ポンプ所下水 処理場の完成管渠残部の約5割
計	141,026,119	111,211,979	1,174,886		
下水課以外にて施行	9,905,064	9,905,064	247,700	昭和19年度	復興局・府・市・道路改修施行せ るものの工費推計による
全市域合計	150,931,183	121,117,043	1,422,586		

東京都市計画郊外下水道

事業別	予算額	竣工額	竣工延長	施行年度	摘 要
	円	円	m		
大崎町(第1期工事)	746,263	746,263	24,812	自大正13年 至昭和6年	市域併合以前旧大崎町地内に施行
同 (第2期工事)	273,369	273,369	20,246	自昭和5年 至同7年	〃
大久保町 (第1期工事)	408,763	408,763	10,066	自昭和3年 至同6年	市域併合以前旧大久保町地内に施行
〃 (第2期工事)	4,743	4,743	—	昭和7年	〃
高田町	527,407	527,407	10,669	自昭和5年 至同7年	市域併合以前旧高田町地内に施行
西巢鴨町	68,829	68,829	514	自昭和6年 至同7年	市域併合以前旧西巢鴨町地内に施行
巢鴨町	674,982	674,982	27,998	自昭和3年 至同7年	市域併合以前旧巢鴨町地内に施行
王子町	731,194	731,194	10,826	自昭和3年 至同7年	市域併合以前旧王子町地内に施行
尾久町(第1期工事)	779,144	779,144	27,731	自昭和2年 至同7年	市域併合以前旧尾久町地内に施行
〃 (第2期工事)	10,050	10,050	196	昭和7年	〃
東部下水道町村組合	837,842	837,842	9,034	自昭和6年 至同7年	市域併合以前旧日暮里, 三河島, 南千住町地内に施行
千住町(第1期工事)	507,995	507,995	13,149	自大正10年 至同15年	市域併合以前旧千住町地内に施行
〃 (第2期工事)	819,869	819,870	28,019	自昭和2年 至同7年	〃
臨時部下水道 千住町工事	27,000	23,355	703	昭和7年	千住町(第2期)残部市域併合後 旧千住町地内に施行
継続郊外下水道 改良工事	15,800,000	15,440,595	285,197	自昭和7年 至同19年	新市域内旧町村にて施行中のもの を引継ぎ且市域併合後一部追加施 行す
計	22,217,450	21,854,401	469,160		
下水課以外にて施行	2,228,612	2,228,612	56,301	昭和19年度	府, 市道路に伴い施行せるものの 工費は推計による
新市域合計	24,446,062	24,083,013	525,461		
総 計	175,377,245	145,200,056	1,948,047		

備考 継続都市計画完成下水道改良工事及び継続郊外下水道改良工事は、戦時に際し昭和19年度限り国庫補助中止となつたため同年度限り工事打切とした。

終 戦 後 施 行

事業名	予算額	決算額	竣工延長	施行年度	備 考
下水道復旧	円 15,795,000	円 15,795,000	m —	昭和 20—23	戦災箇所及び戦時未補修のまま機能低下または停止をみた箇所を復旧
計	15,795,000	15,795,000	—	—	23年度で完了
下水道復旧	6,615,000	5,106,000	2,262	21	区画整理地区内の下水管移設及び新管を敷設する 〃 〃 (事業名変更) 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
〃	900,000	900,000	569	22	
管渠移設	8,550,000	8,500,000	2,090	23	
〃	15,500,000	15,500,000	2,614	24	
〃	29,500,000	25,402,460	8,286	25	
〃	40,000,000	39,129,844	9,649	26	
〃	56,000,000	55,245,816	11,649	27	
〃	60,000,000	58,017,088	11,805	28	
〃	57,000,000	51,828,572	10,415	29	
〃	85,000,000	79,776,048	16,243	30	
〃	139,195,995	122,992,105	23,125	31	
〃	95,000,000	88,456,072	12,832.2	32	
計	593,260,995	550,854,005	111,559.2		
下水道増補改良	82,500,000	21,473,830		21—25	既存設備の改良増補
計	82,500,000	21,473,830			
下水道拡張	増補改良事業費に含む 20,000,000	11,645,000	209	23	下水道施設を拡張する 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
〃	同 上 30,000,000	18,923,856	1,883	24	
〃	20,000,000	10,226,413	1,146	24	
〃	206,000,000	55,134,095	4,364	25	
〃	309,000,000	159,962,267	14,296	26	
〃	479,323,469 (144,391,984)	257,601,869	17,992	27	
〃	721,721,600 (221,721,600)	490,760,207	15,267	28	
〃	830,961,393 (230,961,393)	434,046,434	22,075	29	
〃	749,898,877 (149,898,877)	413,675,924	26,373.6	30	
〃	1,633,000,000	1,047,411,361	74,588	31	
〃	2,226,000,000	2,032,984,363	82,103.5	32	
〃	3,179,200,000 (179,200,000)	2,909,780,265	74,745.7	33	
〃	4,731,000,000 (231,000,000)	4,171,154,459	77,109.87	34	
〃	8,010,000,000 (410,000,000)	7,181,363,259	83,872.76	35	
〃	10,580,200,506 (538,010,506)	9,666,336,043	77,860.00	36	
〃	12,060,000,000 (60,000,000)	10,667,617,617	105,240.78	37	
計	45,786,305,845	39,528,623,432	679,126.21		

第 5 章 営 業

第 1 節 営 業 一 般

昭和27年10月、地方公営企業法が都条例第82号により下水道事業に全面的に適用され、企業会計制度が確立するとともに、上下水道営業事務が一元化され、料金も上下水道一体で徴収されてきた。

その後37年4月に下水道局が発足してからも、都民の利便や企業の経済性発揮等の理由により、下水道料金の徴収は水道局に委託し、従前通り同時徴収が行なわれている。

第 2 節 下水道使用件数

都においては、急激な人口の増大と諸産業の集中等により公共施設の完備が急務とされている。下水道についても、都市の健全な発展と公衆衛生の向上に寄与するため、重点施策として32年から48年度までの長期計画が立てられ、23区全域 100 %普及を目標として実施されている。

したがって、下水道使用件数も年々増加し、37年度末の使用件数はつぎのとおりである。

水 道 汚 水 徴 収 件 数 (甲地区)

業 種 年 度	計		一 般 用	営 業 用	浴 場 営 業 用	共 用
	件 数	指 数				
30 年 度 末	315,833	100	286,208	18,701	569	10,355
31 〃	336,881	106	307,588	19,166	597	9,530
32 〃	355,606	112	327,076	19,218	623	8,689
33 〃	371,649	117	343,158	20,080	638	7,773
34 〃	387,499	122	359,243	20,588	643	7,025
35 〃	399,652	126	372,171	20,677	642	6,162
36 〃	415,433	131	387,927	20,879	654	5,973
37 〃	431,419	136	404,080	21,226	648	5,465

(乙地区)

年 度	計		一 般 用	営 業 用	浴 場 営 業 用	共 用
	件 数	指 数				
30 年 度 末	74,307	100	62,376	2,116	137	9,678
31 〃	73,530	98	62,428	2,055	137	8,910
32 〃	74,208	99	63,865	2,113	133	8,097
33 〃	76,963	103	67,096	2,231	129	7,507
34 〃	81,001	109	71,875	2,494	136	6,496
35 〃	87,106	117	78,498	2,687	137	5,784
36 〃	92,808	124	85,020	2,811	138	4,839
37 〃	100,674	135	930,058	3,107	159	4,350

井戸汚水使用件数

(甲地区)

(乙地区)

業種 年度	手 動		動 力		湧水	手 動		動 力		湧水
	専 用	併 用	浴 場 用	そ の 他		専 用	併 用	浴 場 用	そ の 他	
30年	1,257	5,967	341	1,630	15	128	904	85	216	0
31々	1,294	6,069	378	1,945	18	134	924	111	297	2
32々	1,325	6,156	396	2,395	19	130	928	118	387	2
33々	1,308	6,167	429	2,633	25	138	927	124	455	2
34々	1,302	6,221	448	3,136	28	218	1,008	128	501	0
35々	1,117	6,094	464	3,573	46	200	1,024	127	596	0
36々	1,004	6,052	473	3,975	74	212	1,003	120	666	0
37々	913	6,079	473	4,384	76	295	1,062	132	790	0

行政区域別徴收件数調

(38年3月末)

種 別 区 別	甲 地 区				乙 地 区	
	徴収現在数	井戸件数	便 器		徴収現在数	井戸件数
			大 便 器	小 便 器		
全 区	431,419 ^件	11,925 ^件	514,387 ^個	180,604 ^個	100,674 ^件	2,279 ^件
千代田	24,291	307	52,932	28,421	—	—
中央	34,403	288	55,553	31,403	—	—
港	54,479	1,248	71,158	24,671	883	38
新宿	55,900	2,802	60,266	18,867	4,892	132
文京	49,615	1,679	52,276	16,262	24	3
台東	57,943	1,108	74,765	23,320	—	—
墨田	27,879	131	33,827	10,454	3,327	18
江東	26,369	104	27,268	7,004	374	—
品川	724	121	758	295	10,932	431
目黒	770	28	824	272	91	—
大田	—	—	—	—	—	—
世田谷	—	—	—	—	—	—
渋谷	3,035	73	2,902	980	7,367	56
中野	—	—	—	—	6,332	68
杉並	—	—	—	—	1,451	31
豊島	37,842	3,063	34,033	8,927	6,956	516
北	18,387	656	12,145	2,924	20,467	595
荒川	39,500	310	35,447	6,749	15,270	118
板橋	203	7	174	42	512	123
練馬	—	—	—	—	—	—
足立	79	—	59	13	21,782	149
葛飾	—	—	—	—	—	—
江戸川	—	—	—	—	14	1

水道局支所別徴收件数調

(38年3月末)

種 別 支所別	甲 地 区				乙 地 区	
	徴収現在数	井戸件数	大 便 器	小 便 器	徴収現在数	井戸件数
全 支 所	431,419 ^件	11,925 ^件	514,387 ^個	180,604 ^個	100,674 ^件	2,279 ^件
中 央	126,886	2,642	196,677	90,275	883	38
中 央	42,641	858	54,788	19,419	512	21
鎌倉河岸	58,694	595	108,485	59,824	—	—
大 木 戸	25,551	1,189	33,404	11,032	371	17
東部第一	54,248	235	61,095	17,458	3,715	19
東部第一	975	4	775	187	3,590	18
千 歳 町	53,273	231	60,320	17,271	111	—
江 戸 川	—	—	—	—	14	1
東部第二	39,579	310	35,506	6,762	37,052	267
東部第二	39,500	310	35,447	6,749	15,270	118
足 立	79	—	59	13	21,782	149
葛 飾	—	—	—	—	—	—
西 部	18,148	1,360	18,329	6,625	12,648	231
西 部	18,148	1,360	18,329	6,625	4,865	132
中 野	—	—	—	—	6,332	68
杉 並	—	—	—	—	1,451	31
南部第一	724	121	758	295	10,932	431
南部第一	—	—	—	—	103	—
荏 原	724	121	758	295	10,829	431
雪 ヶ 谷	—	—	—	—	—	—
蒲 田	—	—	—	—	—	—
南部第二	3,805	101	3,726	1,252	7,458	56
南部第二	—	—	—	—	—	—
目 黒	770	28	824	272	91	—
渋 谷	3,035	73	2,902	980	7,367	56
北部第一	169,439	6,493	185,977	54,971	7,007	519
北部第一	37,842	3,063	34,033	8,927	6,956	516
神 楽 河 岸	73,654	2,322	77,179	22,724	51	3
三 筋 町	57,943	1,108	74,765	23,320	—	—
北部第二	18,590	663	12,319	2,966	20,979	718
北部第二	203	7	174	42	512	123
王 子	18,387	656	12,145	2,924	20,467	595

第 3 節 下水道使用水量

生活水準の向上による電気洗濯機、水洗便所の普及、産業、人口の集中、高層ビルの激増及び冷房装置の普及等に加え、下水道の普及による使用件数の増加も多く、下水道の使用水量は年々増大している。

しかし、昭和37年度については、水不足による水道局の制限給水によつて、水道汚水は全用途にわたり使用量は減少することとなつた。

37年度水道汚水の用途別使用量は、つぎのとおりである。

用 途 別 使 用 水 量 表 (水道汚水)

甲地区

年 度	一 般 用	営 業 用	浴 場 営 業 用	共 用	年 間 水 量
33	140,092,547 ^{m³}	26,464,605 ^{m³}	7,594,321 ^{m³}	845,800 ^{m³}	174,997,273 ^{m³}
34	154,798,592	29,543,939	7,667,943	756,380	192,766,854
35	170,817,596	32,222,823	7,619,596	660,556	211,320,571
36	186,191,291	36,485,630	7,656,850	660,875	230,994,646
37	181,192,727	34,147,182	6,962,062	600,400	222,902,371

乙地区

年 度	一 般 用	営 業 用	浴 場 営 業 用	共 用	年 間 水 量
33	18,120,801 ^{m³}	1,038,166 ^{m³}	906,537 ^{m³}	777,935 ^{m³}	20,843,439 ^{m³}
34	20,041,647	1,332,677	775,882	711,177	22,861,383
35	22,886,929	1,684,498	908,692	594,073	26,074,192
36	25,653,785	2,087,171	930,177	541,058	29,212,191
37	27,770,179	2,424,064	933,814	489,277	31,617,334

37 年度 用途別 使用水量表 (水道汚水)

(甲地区)

55

用途 月別	一 般 用			営 業 用			浴 場 営 業 用			共 用			計		
	使用水量	件 数	1件当り 使用量	使用水量	件 数	1件当り 使用量	使用水量	件 数	1件当り 使用量	使用水量	件 数	1件当り 使用量	使用水量	件 数	1件当り 使用量
総 計	181,192,727	4,765,922	38.0	34,147,182	249,286	136.9	6,962,062	7,699	904.3	600,400	61,814	9.7	222,902,371	5,084,721	43.8
4	14,264,296	391,690	36.4	2,689,930	19,834	135.6	606,292	622	974.7	36,665	4,020	9.1	17,597,183	416,166	42.2
5	14,571,335	391,858	37.1	2,756,029	21,554	127.8	553,872	646	857.3	60,611	6,284	9.6	17,941,847	420,342	42.6
6	13,844,064	392,797	35.2	2,161,126	19,879	108.7	529,309	627	844.1	43,274	4,170	10.3	16,577,773	417,473	39.7
7	14,371,235	391,702	36.6	2,736,282	21,464	127.4	565,037	660	856.1	63,833	6,467	9.8	17,736,387	420,293	42.2
8	15,916,866	394,159	40.3	3,004,961	19,783	151.8	530,621	577	919.6	47,566	4,002	11.8	19,500,014	418,521	46.5
9	18,182,443	395,061	46.0	3,585,147	21,553	166.3	705,425	677	1,041.9	80,237	6,327	12.6	22,553,252	423,618	53.2
10	17,362,326	396,779	43.7	3,310,846	19,763	167.5	639,529	620	1,031.4	44,637	4,073	10.9	21,357,338	421,235	50.7
11	16,472,759	396,481	41.5	3,230,471	21,523	150.0	606,144	661	917.0	60,074	6,185	9.7	20,369,448	424,850	47.9
12	14,916,567	403,541	36.9	2,879,453	20,087	143.3	562,221	642	875.7	37,206	4,097	9.0	18,395,447	428,367	42.9
1	15,330,115	397,793	38.5	3,038,364	21,602	140.6	637,045	679	938.2	48,894	5,949	8.2	19,054,418	426,023	44.7
2	13,227,985	412,465	32.0	2,430,356	20,433	118.9	511,714	619	826.6	34,694	4,348	7.9	16,204,749	437,865	37.0
3	12,732,736	401,596	31.7	2,324,217	21,811	106.5	514,853	669	769.5	42,709	5,892	7.2	15,614,515	429,968	36.3

37 年度 用途別使用水量表 (水道汚水)

(乙地区)

用途 月別	一 般 用			営 業 用			浴 場 営 業 用			共 用			計		
	使用水量 m^3	件 数 件	1件当り 使用量 m^3	使用水量 m^3	件 数 件	1件当り 使用量 m^3	使用水量 m^3	件 数 件	1件当り 使用量 m^3	使用水量 m^3	件 数 件	1件当り 使用量 m^3	使用水量 m^3	件 数 件	1件当り 使用量 m^3
総 計	27,770,179	1,121,274	24.7	2,424,064	36,852	65.7	933,814	1,710	546.0	489,277	52,293	9.3	31,617,334	1,212,129	26.1
4	1,891,822	85,064	22.2	153,419	2,531	60.6	72,115	131	550.4	28,713	3,614	7.9	2,146,069	91,340	23.4
5	2,342,729	92,016	25.4	193,950	3,254	59.6	74,846	118	634.2	49,500	5,466	9.0	2,661,025	100,854	26.3
6	2,001,083	89,592	22.3	165,823	2,563	64.6	73,520	147	500.1	32,802	3,672	8.9	2,273,228	95,974	23.6
7	2,354,345	93,256	25.2	239,179	3,320	72.0	71,849	121	593.7	48,295	5,347	9.0	2,713,668	102,044	26.5
8	2,377,612	94,230	25.2	195,603	2,822	69.3	86,330	167	516.9	42,814	3,673	11.6	2,702,359	100,892	26.7
9	2,951,703	94,921	31.0	257,162	3,381	76.0	95,387	136	701.3	56,930	5,364	10.6	3,361,182	103,802	32.3
10	2,623,937	96,019	27.3	258,956	3,004	86.2	97,816	166	589.2	35,557	3,541	10.0	3,016,266	102,730	29.3
11	2,570,916	95,586	26.8	226,001	3,410	66.2	70,043	123	569.4	53,375	5,256	10.1	2,920,335	104,375	27.9
12	2,115,564	95,967	22.0	190,126	2,870	66.2	74,077	163	454.9	33,775	3,405	9.9	2,413,542	102,405	23.5
1	2,424,776	96,853	25.0	201,936	3,410	59.2	81,697	130	628.4	43,377	5,063	8.5	2,751,786	105,456	26.0
2	2,056,841	90,732	22.6	166,099	2,821	58.8	69,802	169	413.0	25,002	2,959	8.4	2,317,744	96,681	23.9
3	2,058,851	97,038	21.2	175,810	3,466	50.7	66,332	139	477.2	39,137	4,933	7.9	2,340,130	105,576	22.1

第 4 節 下 水 道 料 金

下水道事業経営の基本的収入である下水道料金は、使用料創設期の昭和18年 6 月以降の経済情勢の変遷と共に、11回にわたり改正されて現行料金にいたっているものである。現行料金の改正は、昭和36年 6 月第2回東京都議会定例会に提案され、7 月に一部修正のうえ可決、8 月分より実施された。

この際、「臨時東京都水道料金及び下水道料金制度調査会」が設置され料金体系を確立するため学識経験者を加え審議されている。

現行の下水道料金はつぎのとおりである。

下 水 道 料 金 ・ 表

A 甲地区（し尿を下水道に流せる地区）

水 道 汚 水		水道料金の	$\frac{3}{10}$
井 戸	浴場営業用	排出量 1 立方メートルにつき	4 円50銭
	汚 水	そ の 他	5 円
水 洗	大 便 器	1 個 1 月につ	20 円
	便 器	小 便 器	20 円

B 乙地区（甲地区以外の下水道地区）

水 道 汚 水		水道料金の	$\frac{2}{10}$
井 戸	浴場営業用	排出量 1 立方メートルにつき	3 円
	汚 水	そ の 他	3 円30銭

水 道 料 金 表

用 途	基 本 料 金	超 過 料 金
一 般 用（家庭・官公署・会社・工場等）	1 ヵ月 8 m ³ まで 120 円	10 m ³ をこえるもの
	1 ヵ月 10 m ³ まで 140 円	1 m ³ につき 20 円
営 業 用（料理飲食店・娯楽場等）	1 ヵ月 10 m ³ まで 140 円	2 円 32 円
浴 場 営 業 用	1 ヵ月 10 m ³ まで 140 円	1 円 15 円
共 同（一 戸 に つ き）	1 ヵ月 8 m ³ まで 80 円	8 m ³ をこえるもの 1 m ³ につき 15 円

第 5 節 料 金 徴 収

下水道局発足にしたがつて、下水道料金の徴収業務は当局で行なうべきであるが、水道局に委託され、上・下水道料金の同時徴収が行なわれている。

これは水道局が都内に現有する大きな業務組織を活用して都民の利便と徴収業務の経済性の発揮という観点からの思慮によるもので、水道局営業部の連絡調整のもとに、支所・営業所がこれにあたり、徴収方法は、水道局と全く同様である。

また、下水道局での料金収入整理及び水道局との連絡調整等の業務事務は総務部理財課が分掌している。

なお、昭和37年度の下水道料金収入状況及び、近年 5 カ年の収入状況はつぎのとおりである。

水道局支所別下水道料金調定収入調

(昭和37年度)

種別 支所	調 定			収 入	未 収 入
	前年度未収繰越	昭和37年度分	計		
全 支 所	25,925,932 ^円	1,859,189,181 ^円	1,885,115,113 ^円	1,823,881,551 ^円	61,233,562 ^円
中 央	15,252,528	806,094,978	821,347,506	790,998,788	30,348,718
東 部 第 一	2,879,873	196,656,525	199,536,398	193,238,542	6,297,856
東 部 第 二	4,065,219	127,904,990	131,970,209	126,978,627	4,991,582
西 部	241,836	85,175,873	85,417,709	84,205,059	1,212,650
南 部 第 一	152,817	30,336,101	30,488,918	28,951,862	1,537,056
南 部 第 二	72,177	21,975,650	22,047,827	21,638,030	409,797
北 部 第 一	3,179,557	538,563,846	541,743,403	526,268,101	15,475,302
北 部 第 二	81,925	52,481,218	52,563,143	51,602,542	960,601
前年同期	12,536,118	1,787,933,363	1,800,469,481	1,774,543,549	25,925,932
比較増減	13,389,814	71,255,818	84,645,632	49,338,002	35,307,630

最近5ヵ年の下水道料金調定収入

年 度 別	調 定 額	収 入 額	収 入 率
	円	円	%
昭和 33 年 度	1,194,723,979	1,185,489,720	99.2
〃 34 〃	1,313,672,843	1,306,918,080	99.4
〃 35 〃	1,436,839,685	1,424,268,159	99.1
〃 36 〃	1,787,933,363	1,762,159,531	98.5
〃 37 〃	1,859,189,181	1,798,642,398	96.7

第 6 節 排 水 設 備

近代的な文化都市を建設するための要素はいろいろあるが、何といつても完全な下水道を施設し、衛生的で快適な環境をつくることが第一である。それに、生活環境が清潔になれば、必然蚊・ハエ・寄生虫等の発生を防ぎ、その他の悪疫の流行も予防できる。

本都においては、大正13年はじめて排水設備の設置をみて以来、下水道施設の拡張と相まつて、排水設備の普及は漸次進み、昭和15年には施設面積 1,893.2 ヘクタール、施設済戸数200,961戸、使用大便器数95,582個に及んだが、第二次大戦の激化に伴ない本都における排水設備の施設数は急激に減じた。その状態は昭和18年・19年に最もひどく、20年には極少を示した。昭和21年に入り僅かであるが排水設備の施設数が増加しはじめた。戦災による排水設備の被害は相当ひどく、昭和20年の終戦当時は、戦災前の排水設備施設済最高戸数の約5割の減少であつたため、その復旧にはかなりの日時を要した。

しかし、戦災復興計画に沿つて下水道の応急復旧工事、増補改良工事が実施されたので、排水設備施設の成績は着々と上昇し、昭和23年には一応、戦前の排水設備済最高数なみの回復がみられた。

昭和24年には5カ年水洗便所助成改造事業（昭和24年～28年）を計画し、甲地区告示区域内のくみ取り便所 110,000 個を水洗化する目標で、水洗便所助成規則（昭和24年8月）を制定し、助成金（大便器1個当たり改造費の一部4,350円）を交付し実施したが、昭和28年度末には目標を上廻る118,926個を施行し、その後もひき続き実施中である。

年度別告示面積及び排水設備施行状況

種 別 年 度	告 示 面 積	排水設備設置数	水 洗 便 器 数	
			大 便 器	小 便 器
	ヘクタール	件	個	個
20	5,428.35		31,719	23,518
21	5,433.70		38,831	26,320
22	5,433.70		45,928	30,822
23	5,446.20		53,560	35,384
24	5,477.90		77,894	39,900
25	5,643.30		129,275	48,805
26	5,688.10		157,530	54,212
27	6,196.72		216,789	89,184
28	6,696.14		256,726	101,364
29	7,233.26		294,362	112,799
30	8,307.15	346,044	323,489	121,549
31	9,699.30	364,304	366,610	136,456
32	10,104.39	381,737	394,966	145,878
33	10,456.38	398,322	413,686	152,232
34	10,900.85	416,742	440,264	159,868
35	11,267.36	431,703	466,734	167,103
36	11,547.39	450,526	491,522	173,197
37	11,966.56	471,190	514,387	180,604

行政区別告示面積及び排水設備設置数

37年度末

區別	種別	下水道必要面積	告 示 面 積	排水設備設置数	便 器 数	
					大 便 器	小 便 器
		ヘクタール	ヘクタール	件		
千 代 田		1,102	843.50	23,410	52,932	28,421
中 央		865	853.75	33,840	55,553	31,403
港		1,869	1,614.11	52,400	71,158	24,671
新 宿		1,798	1,205.08	53,260	60,266	18,867
文 京		1,138	1,080.97	45,327	52,276	16,262
台 東		856	854.32	53,588	74,765	23,320
墨 田		1,195	752.61	28,293	33,827	10,454
江 東		1,912	722.66	23,502	27,268	7,004
品 川		1,555	342.57	10,236	758	295
目 黒		1,440	14.27	760	824	272
大 田		3,852	3.99	0	0	0
世 田 谷		5,714	—	—	—	—
渋 谷		1,511	294.28	9,106	2,902	980
中 野		1,566	121.64	5,290	0	0
杉 並		3,338	28.95	1,116	0	0
豊 島		1,299	1,004.25	28,293	34,033	8,927
北		1,836	981.23	32,558	12,145	2,924
荒 川		887	886.17	42,234	35,447	6,749
板 橋		2,997	33.27	689	174	42
練 馬		4,684	—	—	—	—
足 立		4,790	327.04	18,236	59	13
飾 葛		2,955	—	—	—	—
江 戸 川		3,694	1.90	14	0	0
計		52,853	11,966.56	471,190	514,387	180,604

水洗便所助成状況

年 度	改 造 計 画	助 成 金 額（1個当り）		施 行 個 数
		一 般	生活扶助家庭	
	個	円	円	個
24 ～ 28	110,000	4,350	8,700	118,926
29	15,000	2,000	11,000	10,400
30	15,000	3,000	〃	9,032
31	10,000	〃	〃	9,997（内1個は全額助成）
32	11,389	〃	〃	9,821（ 〃 ）
33	12,000	〃	〃	7,535（ 〃 ）
34	10,000	5,500	〃	9,977
35	12,000	〃	〃	7,165（内18個は全額助成）
36	9,000	〃	〃	5,761
37	9,000	〃	〃	8,037（内5個は全額助成）
合 計	213,389			196,651

なお、助成金額は、昭和38年9月に助成規程が改正され、38年4月1日より、一般助成8,800円（家族構成全員の年間平均月収が7万円未満の者）全額助成17,700円（特別区民税の非課税者及び課税保留者）に増額し、告示区域内（甲地区）のくみ取り便所の解消をはかっている。

排水設備の工事

排水設備の工事については、使用者との請負契約により下水道局指定の下水道工事店で施行する。この指定工事店制度は、昭和35年4月より発足したもので、従来は、水道局の指定工事店が、水道局の指導、監督のもとに行なっていた。

指定下水道工事店が一定の技術水準を保ち、工事店の行なう工事の万全を期するため、36年4月より排水設備技術者制度を設け、排水設備技術の保持をすることとなつた。さらに37年11月からは、施行責任者として、排水設備配管工制度が設けられ、工事店には必ず両者を置くことが義務づけられた。

37年度末における指定工事店数は1,510店、排水設備技術者の登録人数3,684名、排水設備配管工の登録人数5,218名（労働省の給水衛生設備配管工技能検定登録者をも含む。）である。

第 6 章 設 備

第 1 節 管 渠

(1) 下水管渠施設状況

年 度 別	管 渠 種 別					人 孔 個	汚 水 枠 個
	総 数 (m)	暗 渠 (m)			開 渠 (m)		
		総 数	幹 線	枝 線			
昭 和 21 年 度	1,950,311	1,938,959	122,687	1,816,272	11,352	49,683	168,021
22	1,950,860	1,939,508	122,687	1,816,821	11,352	49,701	168,461
23	1,959,953	1,948,601	122,687	1,825,914	11,352	49,952	169,843
24	1,970,862	1,959,510	124,459	1,835,051	11,352	50,201	172,145
25	1,984,230	1,972,878	124,930	1,847,948	11,352	50,592	173,502
26	2,010,810	1,999,458	125,862	1,873,596	11,352	51,755	176,860
27	2,047,108	2,035,756	127,323	1,908,433	11,352	52,966	181,647
28	2,083,088	2,071,736	129,096	1,942,640	11,352	54,207	187,445
29	2,120,682	2,109,330	130,901	1,979,429	11,352	55,253	192,900
30	2,195,329	2,183,977	130,994	2,052,983	11,352	57,733	203,082
31	2,290,369	2,279,017	130,994	2,148,023	11,352	60,952	217,324
32	2,396,948	2,385,596	131,652	2,253,944	11,352	64,374	233,101
33	2,489,519	2,478,167	135,242	2,342,925	11,352	67,175	244,195
34	2,580,907	2,569,555	137,950	2,431,605	11,352	69,984	258,382
35	2,681,332	2,671,280	145,851	2,525,429	10,052	73,159	274,912
36	2,767,882	2,764,478	149,875	2,614,603	3,404	75,971	290,907
37	2,876,329	2,873,426	158,981	2,714,445	2,903	79,607	310,942
千 代 田 中 央 港 新 宿 文 京 台 東 墨 田 江 東 品 川 目 黒 大 田 浜 谷 中 野 杉 並 豊 島 北 荒 川 板 橋 足 立 江 戸 川	232,272	232,272	22,378	209,894		5,521	22,335
	241,924	241,924	6,215	235,709		5,660	22,582
	304,582	304,582	23,052	281,530		8,077	31,574
	289,769	289,769	11,731	278,038		8,221	32,070
	245,563	245,563	21,798	223,765		7,428	27,111
	300,234	300,234	20,862	279,372		8,316	20,844
	205,165	205,165	4,203	200,962		5,583	32,836
	155,196	155,196	7,624	147,572		3,844	15,698
	83,848	83,848	2,443	81,405		1,768	8,821
	3,429	3,429		3,429		100	391
	1,032	1,032		1,032		22	234
	80,592	80,592	5,447	75,145		2,546	10,933
	30,106	30,106	1,834	28,272		1,001	4,910
	10,325	10,325	1,222	9,103		272	1,419
	219,930	217,027	8,373	208,654	2,903	6,896	26,673
	174,886	174,886	7,247	167,639		5,684	20,202
	214,962	214,962	12,485	202,477		6,606	23,474
	14,508	14,508	1,585	12,923		355	1,576
	67,480	67,480	482	66,998		1,701	7,216
	526	526		526		6	43

(2) 管渠管理延長前年度比較

解名	種 別		37年度管渠延長及び個数	36年度管理延長及び個数	比 較 (増)	増 加 率
中部管理事務所	幹 枝	線	102,447	97,071	5,376	5.54
		線	1,589,467	1,527,760	61,707	4.04
	計		1,691,914	1,624,831	67,083	4.13
	人 汚 水	孔	46,968	44,673	2,295	5.14
		枿	180,841	168,669	12,172	7.22
北部管理事務所	幹 枝	線	43,066	39,837	3,229	8.11
		線	747,680	715,926	31,754	4.44
	計		790,746	755,763	34,983	4.63
	人 汚 水	孔	22,435	21,298	1,137	5.34
		枿	88,787	81,853	6,934	8.47
東部管理事務所	幹 枝	線	13,766	13,766		
		線	379,903	373,522	6,381	1.71
	計		393,669	387,288	6,381	1.65
	人 汚 水	孔	10,204	10,000	204	2.04
		枿	41,314	40,385	929	2.30
合 計	幹 枝	線	159,279	150,674	8,605	5.71
		線	2,717,050	2,617,208	99,842	3.81
	計		2,876,329	2,767,882	108,447	3.92
	人 汚 水	孔	79,607	75,951	3,656	4.79
		枿	310,942	290,907	20,035	6.89

(3) 系統別管渠管理延長

系 統 名	排 水 区 名	37年度増加延長			37年度末累計延長			備 考
		幹 線	枝 線	計	幹 線	枝 線	計	
芝 浦 系 統	千代田, 中央, 港, 新宿, 文京, 目黒, 渋谷, 豊島, 北, 台東, 品川	2,534	41,815	44,349	92,598	1,365,865	1,458,463	
三河島系統	千代田, 台東, 豊島荒川	1	5,896	5,897	32,900	492,348	525,248	
砂 町 系 統	中央, 江東, 墨田, 足立, 江戸川	482	7,448	7,930	14,248	445,334	459,582	
森ヶ崎系統	大田, 品川, 目黒		4,237	4,237	1,284	82,784	84,068	
落 合 系 統	新宿, 中野, 杉並	2,842	15,655	18,497	8,566	134,435	143,001	
小 台 系 統	豊島, 北, 板橋	2,746	24,791	27,537	9,683	196,284	205,967	
計		8,605	99,842	108,447	159,279	2,717,050	2,876,329	

(4) 管種別内訳

種 別	大 き さ	昭 和 3 7 年 度 末	
		延 長 (m)	割 合 (%)
円 形 管	内 径 45cm以下	1,898,439	66.00
	〃 90〃 〃	594,494	20.67
	〃 140〃 〃	160,512	5.58
	〃 141〃 以上	32,437	1.13
	計	2,685,882	93.38
馬 蹄 形 渠	巾 150cm以下	15,306	0.53
	〃 300〃 〃	48,300	1.68
	〃 301〃 以上	4,778	0.17
	計	68,384	2.38
矩 形 渠	巾 150cm以下	22,793	0.79
	〃 300〃 〃	55,604	1.93
	〃 301〃 以上	27,847	0.97
	計	106,244	3.69
開 渠	巾 150cm以下		
	〃 301〃 以上	2,903	0.10
卵 形 渠 伏 越 渠		4,907	0.17
		8,009	0.28
	計	15,819	0.55
合 計		2,876,329	100.00

第 2 節 ポ ン プ 所

ポンプ所一覧表

中部管理事務所々管

1.	銭 瓶 町	ポ ン プ 所	_____	66頁
2.	箱 崎 町	ポ ン プ 所	_____	68〃
3.	中 洲 町	ポ ン プ 所	_____	68〃
4.	浜 町	ポ ン プ 所	_____	69〃
5.	汐 留	ポ ン プ 所	_____	69〃
6.	桜 橋	ポ ン プ 所	_____	70〃

北部管理事務所々管

7.	南	千	住	ボ	ン	プ	所	_____	71頁
8.	汐		入	ボ	ン	プ	所	_____	71々
9.	橋		場	ボ	ン	プ	所	_____	72々
10.	和	泉	町	ボ	ン	プ	所	_____	73 々
11.	日	本	堤	ボ	ン	プ	所	_____	74 々
12.	山		谷	ボ	ン	プ	所	_____	74 々
13.	町		屋	ボ	ン	プ	所	_____	75 々
14.	地	蔵	堀	ボ	ン	プ	所	_____	76 々
15.	千		住	ボ	ン	プ	所	_____	77 々

東部管理事務所々管

16.	木		場	ボ	ン	プ	蔵	_____	78 々
17.	月		島	ボ	ン	プ	所	_____	79 々
18.	越	中	島	ボ	ン	プ	所	_____	80 々
19.	三	ノ	橋	ボ	ン	プ	所	_____	81 々
20.	業	平	橋	ボ	ン	プ	所	_____	82 々
21.	砂		町	ボ	ン	プ	所	_____	83 々
22.	吾		孺	ボ	ン	プ	所	_____	84 々
23.	小	松	川	ボ	ン	プ	所	_____	85 々
24.	隅		田	ボ	ン	プ	所	_____	86 々

(1) 銭瓶町ポンプ所

所在地 千代田区大手町2丁目8番地

創設 昭和6年3月

敷地面積 13,332 m^2 (4,040坪)

設置目的 千代田, 中央両区の大部ならびに文京, 新宿両区の一部の汚水を吸揚して, 大手町幹線, 中段幹線, 銭瓶幹線等により芝浦処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 1,440.19ヘクタール

計画人口 242,000人

計画排水量 晴天時 4.259 m^3/S (368,000 m^3/D)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ボ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延1,903.33 m^2			
入 口 阻 水 扉	巾 1.25 m 矩 形 高 1.68 m	1	月 島 機 械	
〃	径 1.22 m	1	〃	
〃	径 0.915 m	1	〃	
〃	径 0.600 m	1		
集 水 池	長巾 12.15 m 巾 6.10 m 深 7.62 m	1		
集水池阻水扉	巾 1.88 m 馬蹄形 高 2.00 m	2	日 立 製 作 所	
沈 砂 池	長 21.33 m 巾 5.18 m 有効水深 1.88 m 有効容量 207.7 m^3	2		
揚 泥 機	門型移動グラブバケット式	1	桜 田 機 械	
ろ 格 機	ドル式S型 巾 1.88 m 機械掻上式 高 2.424 m 目巾 25 mm	4	三 機 工 業	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口 径 410 mm 揚水量 0.28 m^3/S 揚程 9.75 m 馬 力 60HP	1	日 立 製 作 所	
〃	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口 径 400 mm 揚水量 0.33 m^3/S 揚程 10.2 m 馬 力 75HP	1	〃	
〃	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口 径 610 mm 揚水量 0.70 m^3/S 揚程 9.75 m 馬 力 140HP	2	〃	
〃	〃 口 径 810 mm 揚水量 1.40 m^3/S 揚程 9.55 m 馬 力 275HP	2	〃	
〃	〃 口 径 810 mm 揚水量 1.40 m^3/S 揚程 9.8 m 馬 力 271HP	1	〃	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口 径 900 mm 揚水量 1.83 m^3/S 揚程 9.8 m 馬 力 320HP	1	日 立 製 作 所	
昇 降 機	荷 物 用 能 力 1 ton	1	日 本 エ レ ベ ータ	
沈砂篩渣搬出機	フラットコンベア式	1	理 研 金 属 工 業	

(2) 箱崎町ポンプ所

所在地 中央区日本橋箱崎町4丁目18番地
創設 昭和32年9月
敷地面積 85.455㎡ (25.85坪)
設置目的 地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた、中央区日本橋箱崎町4丁目付近の雨水を吸揚し荒川に放流する。
計画排水面積 雨水 5.02ヘクタール
計画排水量 雨水量 0.640 ㎡/S (38.4 ㎡/min)

種別	形状其他	数量	製作所名	備考
ポンプ室 ろ格機	鉄筋コンクリート建延41.05㎡ 機械掻上式 巾 1.80m 高 2.3m 目巾 25mm	1	江戸川機械	
雨水ポンプ	電動機直結及びディーゼルエンジン歯車掛堅軸型斜流ポンプ 口径 550mm 揚水量 0.63㎡/S 揚程 3.7m 電動機馬力 47HP エンジン馬力 60HP	1	電業社	

(3) 中洲町ポンプ所

所在地 中央区日本橋中洲町2番地
創設 昭和32年8月
敷地面積 201.65㎡ (61.0坪)
設置目的 地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた、中央区日本橋中洲一帯の雨水を吸揚し箱崎川に放流する。
計画排水面積 雨水 3.35ヘクタール
計画排水量 雨水量 0.476㎡/S (28.56㎡/min)

種別	形状其他	数量	製作所名	備考
ポンプ室 ろ格機	コンクリート建延39.50㎡ 機械掻上式 巾 1.50m 高 3.5m 目巾 25mm	1	江戸川機械	
雨水ポンプ	電動機直結及びディーゼルエンジン歯車掛堅軸型斜流ポンプ 口径 500mm 揚水量 0.48㎡/S 揚程 3m 電動機馬力 30HP エンジン馬力 40HP	1	電業社	

(4) 浜町ポンプ所

所在地 中央区日本橋浜町2丁目 浜町公園内
 創設 昭和36年4月
 敷地面積 $580m^2$ (176坪)
 設置目的 地盤沈下のため、高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた中央区浜町付近の雨水を吸揚し荒川に放流する。
 計画排水面積 雨水 27.71ヘクタール
 計画排水量 雨水量 $4.120m^3/S$ ($247.2m^3/min$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室 沈砂池	鉄筋コンクリート建 延 $36.60m^2$ 長巾 $16.00m$ 有効水深 $1.70m$ 有効容量 $2.60m^3$ 141 m^3	2		
掻集機 ろ格機	沈砂掻揚用 機械掻揚式 高巾 $3.66m$ 目巾 $1.7m$ 25mm	2 2	守 住 土 木 〃	
雨水ポンプ	電動機ディーゼルエンジン共用堅軸型軸流ポンプ 電動機馬力 187HP エンジン馬力 200HP 口径 $1,000mm$ 揚水量 $2.1m^3/S$ 揚程 $4.5m$	2	日 立 製 作 所	

(5) 汐留ポンプ所

所在地 中央区銀座東8丁目19番地先
 創設 昭和37年4月
 敷地面積 $2,396.8m^2$ (725坪)
 設置目的 地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が、不可能となつた千代田区内幸町、有楽町及び中央区銀座西、銀座、銀座東、築地一帯の雨水を吸揚し築地川に放流する。
 計画排水面積 雨水 88.47ヘクタール
 計画揚水量 雨水量 $15.511m^3/S$ ($930.7m^3/min$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室 入口阻水扉	鉄筋コンクリート建 (建坪) $546m^2$ 油圧開閉式 高巾 $3.0m$ 1.6m	2	久 保 田 鉄 工	

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式	高巾 1.92m 2.4m	1	久 保 田 鉄 工	
放 流 口 阻 水 扉	〃	高巾 2.5m 2.45m	2	〃	
ろ格室 入口阻水扉	〃	高巾 2.5m 2.0m	3	〃	
ろ 格 機	機械掻上式	高巾 7.5m 2.4m×2 目巾 40mm	3	日 立 金 属	
雨 水 ポ ン プ	ディーゼルエンジン及電動機歯車掛縦軸型斜流ポンプ	口 径 1,200mm 揚水量 3.1m³/S 揚 程 4.6m エンジン馬力280HP 電 動 機馬力 〃	3	荏 原 製 作 所	
〃	ディーゼルエンジン歯車掛縦軸型斜流ポンプ	口 径 1,200mm 揚水量 3.1m³/S 揚 程 4.6m 馬 力 280HP	3	〃	

(6) 桜橋ポンプ析

所 在 地 中央区西八丁堀4丁目6番地先

創 設 昭和37年4月

敷 地 面 積 2,512.23㎡ (760坪)

設置目的 地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた千代田区有楽町、丸の内および中央区日本橋、京橋、室町、兜町、茅場町、西八丁堀、銀座東、新富町附近一帯の雨水を吸揚し、桜川に放流する。

計画排水面積 雨水 117.61ヘクタール

計画排水量 雨水量 24.989m³/S (1,499.34m³/min)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建	(建坪) 918㎡			
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式	高巾 3.6m 2.3mm	2	荏 原 製 作 所	
放 流 口 阻 水 扉	〃	高巾 3.3m 1.6m	2	〃	
放 流 口 阻 水 扉	電動開閉式	高巾 3.5m 1.65m	2	大 原 鉄 工 所	
ろ格室 入口阻水扉	〃	高巾 3.5m 2.5m	3	荏 原 製 作 所	
ろ 格 機	機械掻上式	高巾 7.5m 2.1m×2 目巾 40mm	3	桜 田 機 械	
雨 水 ポ ン プ	ディーゼルエンジン及電動機歯車掛縦軸型斜流ポンプ	口 径 1,500mm 揚水量 5m³/S 揚 程 4.5m エンジン馬力500HP 電 動 機馬力440HP	3	荏 原 製 作 所	
〃	ディーゼルエンジン歯車掛縦軸型斜流ポンプ	口 径 1,500mm 揚水量 5m³/S 揚 程 4.5m 馬 力 500HP	3	〃	

(7) 南千住ポンプ所

所在地 荒川区南千住8丁目89番地

創 設 昭和9年3月

敷地面積 $1,610.4m^2$ (488坪)

設置目的 荒川区南千住5, 6, 8丁目一帯の汚水および雨水と汐入ポンプ所より送られて来る汚水を吸揚し, 雨水は荒川に放流し, 汚水は南千住幹線により三河島処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 156.48ヘクタール

雨水 58.00ヘクタール

計画人口 46,000人

計画排水量 晴天時 $0.299m^3/S$ ($25,800m^3/D$)雨水量 $1.982m^3/S$ ($118.92m^3/min$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
事 務 所	コンクリート建 延 $64.02m^2$			
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延 $306.10m^2$			
入 口 阻 水 扉	高 巾 $1.68m$ $1.82m$ 矩 形	2	久 保 田 鉄 工	
沈 砂 池	長 巾 $13.64m$ $3.64m$ 有効水深 $1.36m$ 有効容量 $67.5m^3$	2		
揚 泥 機	移 動 式	1	油 谷 製 作 所	
ろ 格 機	機械掻上式 高 巾 $4.06m$ $2.42m \times 2$ 目巾 $25mm$	1	浅 野 物 産	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口 径 $450mm$ 揚水量 $0.40m^3/S$ 揚程 $4.55m$ 馬 力 $35HP$	2	荏 原 製 作 所	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型可動羽根式軸流ポンプ 口 径 $760mm$ 揚水量 $1.13m^3/S$ 揚程 $3.95m$ 馬 力 $90HP$	2	◇	
◇	電動機直結ディーゼルエンジン切替駆動縦型斜流ポンプ 口 径 $760mm$ 揚水量 $1.08m^3/S$ 揚程 $5m$ 電 動 機 $115HP$ エ ン ジ ン $115HP$	1	◇	

(8) 汐入ポンプ所

所在地 荒川区南千住10丁目20番地

創 設 昭和16年5月

敷地面積 $915.22m^2$ (277.34坪)

設置目的 荒川区南千住10丁目附近の汚水, 雨水ならびに橋場ポンプ所より送りられて来る汚水を吸揚し, 雨水は荒川に放流し, 汚水は南千住幹線により南千住ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 80.87ヘクタール
雨水 48.70ヘクタール
計画人口 27,000人
計画排水量 晴天時 0.191 m^3 /S (16,500 m^3 /D)
雨水量 4.829 m^3 /S (289.74 m^3 /min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	木造モルタル建 延136.55 m^2			
入口阻水扉	高巾 1.20 m 1.60 m 矩 形	1	ゼネラル商会	雨 水 用
〃	高巾 0.50 m 0.50 m 正 方形	1	〃	汚 水 用
沈 砂 池	長巾 14.00 m 2.50 m 有効水深 0.82 m 有効容量 28.7 m^3	2		
ろ 格 機	機械掻上式 高巾 2.9 m 2.2 m 41 mm 目巾	1		雨 水 用
ろ 格	手 掻 上 式 高巾 2.9 m 1 m 25 mm 目巾	1		汚 水 用
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ 口径 250 mm 揚水量 0.15 m^3 /S 揚程 7 m 馬力 25HP	2	荏原製作所	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ 口径 500 mm 揚水量 0.50 m^3 /S 揚程 3.5 m 馬力 40HP	2	西島製作所	

(9) 橋場ポンプ所

所在地 荒川区南千住3丁目190番地
創 設 昭和13年3月
敷地面積 542.19 m^2 (164.3坪)
設置目的 荒川区南千住3,4丁目附近の汚水, 雨水を吸揚し, 雨水は荒川へ放流し, 汚水は南千住幹線により汭入ポンプ所へ送る。
計画排水面積 汚水 32.17ヘクタール
雨水 32.17ヘクタール
計画人口 11,000人
計画排水量 晴天時 0.090 m^3 /S (7,776 m^3 /D)
雨水量 3.627 m^3 /S (217.62 m^3 /min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	コンクリート建 延165.99 m^2			

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入 口 阻 水 扉	高 巾	1.50m 矩 形 1.80m	1		雨 水 用
〃	高 巾	0.70m 正 方 形 0.70m	1		汚 水 用
沈 砂 池	長 巾	10.0m 4.0m	2		
	有効水深	1.4m			
	有効容量	56m³			
ろ 格 機	機械掻揚式	高 巾 3.2m 巾 2.4m 目巾 41mm	1		雨 水 用
ろ 格	手 掻 上 式	高 巾 3.2m 巾 1.2m 目巾 25m	1		汚 水 用
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ	口 径 175mm 揚水量 0.600m³/S 揚程 9.0m 馬 力 15HP	2	荏 原 製 作 所	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型可動羽根式軸流ポンプ	口 径 450mm 揚水量 0.400m³/S 揚程 2.8m 馬 力 27HP	2	〃	
〃	ディーゼルエンジン直結横軸型可動羽根式軸流ポンプ	口 径 450mm 揚水量 0.400m³/S 揚程 2.8m 馬 力 30HP	1	〃	

(10) 和泉町ポンプ所

所 在 地 千代田区神田和泉町1番地
 創 設 大正11年8月
 敷 地 面 積 452.1m² (137坪)
 設 置 目 的 国電山手線、秋葉原駅より御徒町に至る周辺、即ち台東区仲御徒町1, 2, 3丁目及び松永町西ならびに千代田区花岡町等より以西の大部の汚水を吸揚し、浅草幹線により三河島処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 47.60ヘクタール
 計 画 人 口 11,000人
 計画排水量 晴天時 0.138m³/S (11,900m³/D)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建	延314.29m²			
入 口 阻 水 扉	径	0.60m	2		
沈 砂 池	長 巾	8.17m 4.17m	2		
	有効水深	1.52m			
ろ 格	手 掻 上 式	巾 4.1m 高 2.424m 目巾 10mm	1		
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ	口 径 200mm 揚水量 0.085m³/S 揚程 4.5m 馬 力 10HP	1	荏 原 製 作 所	
〃	〃	口 径 250mm 揚水量 0.142m³/S 揚程 4.5m 馬 力 15HP	2	〃	

(11) 日本堤ポンプ所

所在地 台東区浅草日本堤2丁目1番地

創設 昭和37年12月

敷地面積 3,775.60㎡ (1,142.39坪)

設置目的 台東区の東北部は、旧田町ポンプ所排水流域であつたが、近年地盤沈下が甚しく又その周辺区域も同様に沈下し、雨水をポンプ吸揚して排水する必要が生じた。このため田町ポンプ所を大規模に改造し、台東区の大部（合羽橋付近より北部の概ね全域）荒川区日暮里町1～4及9丁目の一部の雨水を吸揚して山谷堀に放流する。

計画排水面積 雨水 432.60ヘクタール

計画排水量 雨水量 37.000㎡/S (2,220㎡/min)

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建(建坪) 369㎡		2	奥村機械	
入口阻水扉	油圧開閉式	高巾 3.24m 2.00m			
沈砂池	長巾	11.5m 5.0m	2		
	有効水深	3.67m			
揚泥機	グラブバケット式		1	奥村機械	
掻集機	沈砂掻揚用		2	〃	
ろ格機	機械掻上式	高巾 6.30m 2.16m 目巾 52mm×2	2	〃	
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン直結垂直軸型斜流ポンプ	口径 2,000mm 揚水量 8.33㎡/S 揚程 6.5m 馬力 1,050HP	2	荏原製作所	

(12) 山谷ポンプ所

所在地 台東区浅草橋場町3丁目2番地

創業 昭和29年3月

敷地面積 542.55㎡ (164.41坪)

設置目的 地盤沈下のため、雨水放流不能となつた荒川区南千住2、3丁目、台東区三の輪町、浅草日本堤4丁目、浅草田中町3丁目、浅草山谷3、4丁目、浅草清川町3丁目、浅草石浜町2、3丁目、浅草橋場2、3丁目方面の雨水を吸揚して荒川に放流する。

計画排水面積 雨水 45.06ヘクタール

計画排水量 雨水量 3.510㎡/S (210.6㎡/min)

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延356.96㎡		1	日本燃化機	
入口阻水扉	高巾	2m 2.1m 矩形			

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
沈 砂 池	長 11.0m 巾 4.6m 有効水深 1.75m 有効容量 88.6m³	1		
揚 泥 機	バケツト・エレベーター式	1	守住土木機械	
ろ 格	手掻上式 高巾 3.4m 目巾 1.95m 25mm	1	〃	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結横 口 径 700mm 軸型固定羽根 揚水量 1.05m³/S 式軸流ポンプ 揚程 43m 馬 力 100HP	1	電 業 社	
〃	〃 口 径 900mm 揚水量 1.8m³/S 揚程 4.1m 馬 力 150HP	1	〃	
〃	ディーゼルエ 口 径 900mm ンジン直結横 揚水量 1.8m³/S 軸型固定羽根 揚程 4.1m 式軸流ポンプ 馬 力 170HP	1	〃	

(13) 町屋ポンプ所

所 在 地 荒川区町屋 8 丁目 21 番地の 10

創 設 昭和 30 年 3 月

敷 地 面 積 3,867.6m² (1,172坪)

設 置 目 的 荒川区町屋の大部、尾久町、三河島町等の一部の汚水、雨水および荒川区尾久町の大部、北区昭和町の全部、田端新町、堀船町、上中里町、中里町、田端町等の一部の汚水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は尾久幹線により三河川処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 494.80ヘクタール

雨水 142.58ヘクタール

計 画 人 口 140,000人

計画排水量 晴天時 0.817m³/S (70,600m³/D)

雨水量 11.811m³/S (708.66m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延1,298.68m²			
入 口 阻 水 扉	高巾 2.16m 2.70m	2	安 藤 鉄 工	雨 水 用
〃	高巾 0.98m 1.40m	1	〃	汚 水 用

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
沈 砂 池	長 巾	20.0m 6.0m	2		雨 水 用
〃	有効水深 有効容量	2.10m 252m³	1		汚 水 用
揚 泥 機	長 巾	10.0m 3.0m	1	関 東 鉄 工	
ろ 格 機	有効水深 有効容量	0.49m 14.7m³	4	関 東 鉄 工	雨 水 用
〃	走行式グラブバケット型 機械掻上式	巾 2.90m 高 3.55m 目巾 25mm	1	〃	汚 水 用
雨 水 ポ ン プ	〃	巾 3.00m 高 3.70m 目巾 25mm	2	日 立 製 作 所	
〃	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 1,100mm 揚水量 2.5m³/S 揚程 6.4m 馬 力 300HP	1	〃	
汚 水 ポ ン プ	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 1,100mm 揚水量 2.5m³/S 揚程 6m 馬 力 320HP	2	〃	
	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 500mm 揚水量 0.55m³/S 揚程 14.5m 馬 力 150HP			

(14) 地蔵堀ポンプ所

所 在 地	荒川区南千住7丁目122番地
創 業	昭和24年3月
敷 地 面 積	572.42m² (173.46坪)
設 置 目 的	荒川区南千住7丁目及び三河島8丁目附近の汚水及び雨水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は三河島処理場へ送る。
計 画 排 水 面 積	汚水 34ヘクタール 雨水 25ヘクタール
計 画 人 口	7,488人
計 画 揚 水 量	晴天時 0.027m³/S (2,333m³/D) 雨水量 1.0m³/S (60m³/min)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室 入 口 阻 水 扉	木造建 延81.34m² 径 1,000mm	手動開閉式	1	共 栄 精 機 所 文 珠 興 業	
沈 砂 池	長 巾	9.00m 3.00m	1		
	有効水深 有効容量	0.90m 24.3m³			

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ろ 格	手 掻 上 式 高 巾 2.02m 目 巾 1.4m × 2 30mm	1	〃	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ 口 径 150mm 揚水量 0.05m ³ /S 揚程 6m 馬 力 10HP	1	水 野 組	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結横 軸型固定羽根 式軸流ポンプ 口 径 500mm 揚水量 0.50m ³ /S 揚程 4.3m 馬 力 54HP	2	荏 原 製 作 所	

(15) 千住ポンプ所

所 在 地 足立区千住曙町61番地

創 設 昭和38年4月

敷 地 面 積 5,950.44m² (1,800坪)

設 置 目 的 足立区千住, 千住大川町, 日の出町, 柳原町, 千住曙町, 千住関屋町, 千住橋戸町, 他の地域の汚水, 雨水並びに千住西ポンプ所より送られてくる汚水を吸揚し, 雨水は, 綾瀬川に放流, 汚水は砂幹線により吾嬬ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 410.70ヘクタール

雨水 298.70ヘクタール

計 画 人 口 61,000人

計画揚水量 晴天時 0.306m³/S雨水量 17.053m³/S (1,023.18m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延2,048.10m ²			
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式 高 巾 6.46m 2.45m	4	日 立 製 作 所	雨 水 用
〃	〃 高 巾 2.58m 1.35m	1	〃	汚 水 用
沈 砂 池	長 巾 20.0m 5.4m 有効水深 2.6m 有効容量 280m ³	4		雨 水 用
〃	長 巾 16m 2.0m 有効水深 0.55m 有効容量 17.6m ³	1		汚 水 用
掻 集 機	ダブルチェーンコンベアー式	1	日 立 製 作 所	
掻 揚 機	〃	1	〃	
搬 出 機	ベルトコンベアー式	2	〃	
ろ 格 機	機械掻上式 高 巾 4.3m 目 巾 2.45m 45mm	4	〃	雨 水 用
〃	〃 高 巾 5.4m 目 巾 2.0m 15mm	1	〃	汚 水 用

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
雨 水 ポ ン プ	ディーゼルエンジン直結縦型斜流ポンプ	口 径 1,200mm 揚水量 3.5m ³ /S 揚馬力 5.2m 375HP	2	日 立 製 作 所	
〃	電動機直結縦型斜流ポンプ	口 径 1,200mm 揚水量 3.5m ³ /S 揚馬力 5.2m 333HP	1	〃	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結縦型片吸込式渦巻ポンプ	口 径 350mm 揚水量 0.317 15m ³ 揚馬力 100HP	1	〃	

(16) 木 場 ポ ン プ 所

所 在 地	江東区深川豊住町3丁目2番地
創 設	昭和4年12月
敷地面積	8,906.7m ² (2,699坪)
設置目的	江東区南西部即ち白河町，扇橋，木場，平野町，東陽町他の地域の汚水，雨水ならびに三ノ橋，月島各ポンプ所から送られて来る汚水を吸揚し，雨水は十間川に放流し，汚水は木場幹線により砂町処理場へ送る。
計画排水面積	汚水 1,385.00ヘクタール 雨水 436.30ヘクタール
計画人口	314,000人
計画排水量	晴天時 2.984m ³ /S (257,800m ³ /D) 雨水量 17.735m ³ /S (1,064.10m ³ /min)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ボ ン プ 室	鉄筋コンクリート建	延2,943.13m ²			
入 口 阻 水 扉	高巾	3.00m 1.80m 矩 形	8	桜 田 機 械	
沈 砂 池	長巾	18.03m 5.23m 5.91m 有効水深 有効用量 557m ³	4		
揚 泥 機	門型移動式		2	日 鍛 製 作 所	
ろ 格 機	機械掻上式	高巾 6.65m 1.82m × 2 25mm 巾巾	4	米 井 商 店	
汚 水 ポ ン プ	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 250mm 揚水量 0.11m ³ /S 揚馬力 7.0m 18HP	1	荏 原 製 作 所	
〃	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 510mm 揚水量 0.42m ³ /S 揚馬力 7.6m 60HP	1	日 立 製 作 所	
〃	〃	口 径 600mm 揚水量 0.70m ³ /S 揚馬力 7.8m 100HP	1	〃	

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 610mm 揚水量 0.70 m^3 /S 揚程 7.5m 馬 力 100HP	1	日 立 製 作 所	
〃	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 810mm 揚水量 1.4 m^3 /S 揚程 7.1m 馬 力 180HP	2	〃	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型可動羽根式2段軸流ポンプ	口 径 1,140mm 揚水量 3.0 m^3 /S 揚程 6.5m 馬 力 400HP	2	荏 原 製 作 所	
〃	電動機直結横軸型斜流ポンプ	口 径 1,140mm 揚水量 3.0 m^3 /S 揚程 7.5m 馬 力 450HP	4	〃	

(17) 月島ポンプ所

所 在 地 中央区新佃島東町1丁目13番地

創 設 昭和30年4月

敷 地 面 積 503.25 m^2 (152.5坪)

設 置 目 的 中央区佃島, 新佃島西町, 西河岸通, 西仲通, 月島通, 東仲通, 東河岸通, 晴海町他の汚水を吸揚し月島幹線, 三ノ橋幹線等により木場ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 188.00ヘクタール

計 画 人 口 27,000人

計画排水量 晴天時 0.586 m^3 /S (50,600 m^3 /D)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
プ ン プ 室	鉄筋コンクリート建	延350.06 m^2			
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式 高巾	0.90m 0.80m	1	守 住 土 木 機 械	
阻 水 扉	手動開閉式 径	600mm	1	〃	
沈 砂 池	長巾	9.0m 1.5m	1		
	有効水深	0.78m			
	有効容量	10 m^3			
ろ 格 機	機械掻上式 巾高目巾	1.50m 3.40m 25mm	1	土 谷 製 作 所	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 400mm 揚水量 0.33 m^3 /S 揚程 21m 馬 力 150HP	1	西 島 製 作 所	
〃	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 300mm 揚水量 0.184 m^3 /S 揚程 21m 馬 力 85HP	2	西 島 製 作 所	
揚 泥 機	バケツトエレベーター式	1 KW	1	土 谷 製 作 所	
掻 泥 機	バケツトコンベアー式	2 KW	1	〃	
昇 降 機	ローベツト懸垂型電動ホイス付	1 ton 3 KW	1	日 本 エ レ ベ ー タ ー	

(18) 越中島ポンプ所

所在地 江東区深川越中島町8番地

創設 昭年30年10月

敷地面積 $808,5m^2$ (245坪)

設置目的 高潮時に江東区深川越中島町一帯の雨水をポンプ吸揚により越中島川に放流する。

計画排水面積 雨水 36.70ヘクタール

計画排水量 雨水量 $2.328m^3/S$ ($139.68m^3/min$)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建	延344.68 m^2			
入口阻水扉	電動開閉式	高巾 1.40 m 1.40 m	1	日鍛製作所	
放流阻水扉	〃	高巾 1.40 m 1.40 m	1	〃	
沈砂池	長巾 有効水深 有効容量	12.0 m 4.0 m 1.26 m 60.5 m^3	1	〃	
ろ 格	手掻上式	高巾 3.40 m 4.00 m 目巾 30 mm	1	〃	
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ	口径 800 mm 揚水量 $1.4m^3/S$ 揚程 4.2 m 馬力 130 HP	1	荏原製作所	
〃	電動機直結横軸型斜流ポンプ	口径 600 mm 揚水量 $0.78m^3/S$ 揚程 4.5 m 馬力 75 HP	2	〃	

(19) 三ノ橋ポンプ所

所在地 墨田区豎川町4丁目1番地

創 設 昭和4年7月

敷地面積 $4,674.94m^2$ (1,416.65坪)

設置目的 墨田区南部, 即ち亀沢町, 錦糸町, 江東橋他及び, 江東区西北部即ち森下町, 高橋, 猿江町, 他の地域の汚水, 雨水ならびに業平橋ポンプ所より送られて来る汚水をを吸揚し, 雨水は豎川へ放流し, 汚水は木場ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 724.00ヘクタール

雨水 422.00ヘクタール

計画人口 189,000人

計画排水量 晴天時 $1,378m^3/S$ ($119,000m^3/D$)雨水量 $21.443m^3/S$ ($1,286.58m^3/min$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延3,034.84 m^2			
入 口 阻 水 扉	高 巾 3.00 m 1.50 m 矩 形	8	桜 田 機 械	
沈 砂 池	長 巾 18.18 m 6.06 m 有効水深 2.13 m 有効容量 234.6 m^3	4		
ろ 機 格	機械掻上式 高 巾 巾 目 巾 6.06 m 1.67 $m \times 2$ 25 mm	4	月 島 機 械	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口 径 460 mm 揚水量 0.35 m^3/S 揚程 5.8 m 馬 力 45HP	2	日 立 製 作 所	
〃	〃 口 径 610 mm 揚水量 0.70 m^3/S 揚程 5.3 m 馬 力 80HP	2	〃	
〃	ディーゼルエ ンジン直結横 軸型斜流ポン 口 径 250 mm 揚水量 0.16 m^3/S 揚程 4.5 m 馬 力 20HP	1	〃	
雨 水 ポ ン プ	電動歯車掛横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口 径 1,140 mm 揚水量 2.83 m^3/S 揚程 3.5 m 馬 力 180HP	1	荏 原 製 作 所	
〃	電動機直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口 径 1,140 mm 揚水量 2.83 m^3/S 揚程 5 m 馬 力 250HP	3	〃	
〃	電動機直結横 軸型可動羽根 式軸流ポンプ 口 径 1,140 mm 揚水量 3.0 m^3/S 揚程 3.5 m 馬 力 200HP	3	〃	
揚 泥 機	門型移動グラブバケット式	2	日 本 機 械 貿 易	
昇 降 機	荷 物 用 能 力 1 ton	2	内 外 エ レ ベ ー タ ー	

(20) 業平橋ポンプ所

所在地 墨田区吾嬬橋3丁目17番地

創設 昭和4年7月

敷地面積 4,435.2 m^2 (1,344坪)

設置目的 墨田区中部, 即ち向島, 吾嬬橋, 東駒形の地域の汚水, 雨水を吸揚し, 雨水は北十間川に放流し, 汚水は業平橋幹線により, 三ノ橋ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 302.00ヘクタール

雨水 302.00ヘクタール

計画人口 83,000人

計画排水量 晴天時 0.528 m^3 /S (45,600 m^3 /D)雨水量 12.228 m^3 /S (733.68 m^3 /min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室 入口止水扉	鉄筋コンクリート建 延2,544.76 m^2 高巾 2.44 m 矩 形 1.52 m	8	安治川鉄工所	
池 砂 池	長巾 18.28 m 4.55 m 有効水深 3.73 m 有効容量 308.5 m^3	4		
揚 泥 機 ろ 格 機	バケツトエレベーター式 機械掻上式 高巾 5.44 m 目巾 1.67 $m \times 2$ 25 m	2 4	米井商店 桜田機械	
汚水ポンプ	電動機直結横 口 径 500 mm 軸型両吸込式 揚水量 0.5 m^3 /S 渦巻ポンプ 揚程 6.4 m 馬力 60HP	1	日立製作所	
〃	〃 口 径 510 mm 揚水量 0.45 m^3 /S 揚程 5.8 m 馬力 55HP	2	〃	
〃	ディーゼルエ 口 径 300 mm ンジン直結横 揚水量 0.183 m^3 /S 軸型両吸込式 揚程 6.5 m 渦巻ポンプ 馬力 27HP	1	電 業 社	
雨水ポンプ	電動歯車掛横 口 径 1,140 mm 軸型両吸込式 揚水量 2.83 m^3 /S 渦巻ポンプ 揚程 3.2 m 馬力 170HP	1	荏原製作所	
〃	電動機直結横 口 径 1,140 mm 軸型両吸込式 揚水量 2.83 m^3 /S 渦巻ポンプ 揚程 4.0 m 馬力 230HP	2	〃	
〃	電動機直結横 口 径 1,140 mm 軸型固定羽根 揚水量 3.00 m^3 /S 式軸流ポンプ 揚程 3.0 m 馬力 180HP	3	〃	
捲 揚 機	傾斜路型 1ton	1	内外エレベーター	

(21) 砂町ポンプ所

所在地	江東区南砂町5丁目1番地
創設	昭和35年4月
敷地面積	8,785 m^2 (2,657.52坪)
設置目的	砂町系統のうち、砂町排水区(江東区の半分)の汚水、雨水を吸揚し東京湾に放流する。 将来、汚水は大島ポンプ所より来る汚水をあわせ砂町処理場にする計画である。
計画排水面積	汚水 2,238.57ヘクタール 雨水 488.86ヘクタール
計画人口	462,000人
計画排水量	晴天時 3.573 m^3 /S (308,700 m^3 /D) 雨水量 25.482 m^3 /S (1,528.92 m^3 /min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延2,295.26 m^2			
入口止水扉	高巾 1.80 m 2.00 m	1	久保田鉄工	汚水用
〃	高巾 1.80 m 2.95 m	4	〃	雨水用
沈砂池	長巾 20.00 m 3.00 m 有効水深 1.80 m 有効容量 108.0 m^3	1		汚水用
〃	長巾 20.00 m 4.50 m 有効水深 2.77 m 有効容量 249.3 m^3	4		雨水用
ろ格機	機械掻上式 高巾 5.1 m 目巾 2.0 m 25 mm	8	桜田機械	雨水用
〃	〃 高巾 6.1 m 目巾 3.0 m 25 mm	1	〃	汚水用
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン歯車掛 縦軸吸斜流ポンプ 口径 1,200 mm 揚水量 3.33 m^3 /S 揚程 9 m 馬力 600HP	2	荏原製作所	
スキット ホイスト	電動巻上式 7.5HP	1	桜田機械	
篩渣用脱水機	長巾 2.3 m 0.6 m	1	〃	
揚泥機	グラブバケット式	3	〃	
砂洗機	バケットコンベアー式	1	〃	
高架ホツパー	油圧開閉式 容量 5.6 m^3	1	〃	
篩渣用破碎機	スイングハンマー式 処理能力 3 m^3 /h	1	〃	

(22) 吾 婦 ポ ン プ 所

所 在 地 墨田区吾婦町東5丁目35番地

創 設 昭和16年3月

敷 地 面 積 5,890.5㎡ (1,785坪)

設 置 目 的 墨田区隅田町の一部, 寺島町の大部, 吾婦町の全域の汚水, 雨水を吸揚し, 雨水は中川に放流する。将来は千住, 隅田各ポンプ所より送られてくる汚水を吸揚し, 砂幹線により大島ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 1,005.60ヘクタール

雨水 402.90ヘクタール

計 画 人 口 224,000人

計画排水量 晴天時 1.314㎡/S (113,500㎡/D)

雨水量 23.001㎡/S (1,380.06㎡/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ボ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延855.55㎡			
入 口 阻 水 扉	高巾 3.50m 2.00m 矩 形	4	久 保 田 鉄 工	雨 水 用
〃	高巾 1.20m 2.00m 〃	1		汚 水 用
沈 砂 池	長巾 18.00m 5.60m 有効水深 2.96m 有効容量 298,0㎡	4		
揚 泥 機	移 動 式	1	守 住 土 木 機 械	
ろ 格 機	機械掻上式 高巾 5.267m 目巾 2.15m×2 40mm	2	浦 賀 船 渠	雨 水 用
〃	〃 高巾 2.11m 目巾 2.1m×2 21mm	1		汚 水 用
〃	〃 高巾 5m 目巾 2.0m×2 25mm	2	東 興 造 機	雨 水 用
篩 渣 脱 水 置	圧 縮 式	1	東 興 造 機	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口 径 650mm 揚水量 0.5㎡/S 揚程力 9m 100IP	2	荏 原 製 作 所	
〃	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口 径 350mm 揚水量 0.27㎡/S 揚程力 10m 60IP	1	〃	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結縦軸型可動羽根式軸流ポンプ 口 径 1,600mm 揚水量 5.5㎡/S 揚程力 5.7m 600IP	2	〃	

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
雨 水 ポ ン プ	電動機直結縦軸型斜流ポンプ	口 径 1,600mm 揚水量 5.5 m^3 /S 揚程 7m 馬 力 700HP	2	荏 原 製 作 所	
〃	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 1,000mm 揚水量 2.3 m^3 /S 揚程 7m 馬 力 340HP	1	〃	
送 泥 ポ ン プ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ	口 径 150mm 揚水量 0.024 m^3 /S 揚程 26.5m 馬 力 27HP	2	〃	
ホ イ ス ト	荷 物 用	能 力 2 ton	1	日 立 製 作 所	
高 架 ホ ッ パ ー	油圧開閉式	容 量 3 m^3	1	三 興 工 業	

(23) 小松川ポンプ所

所 在 地 江戸川区平井1丁目2,185番地

創 設 昭和37年4月

敷 地 面 積 4,662 m^2 (1,410坪)

設 置 目 的 墨田区吾嬬町の一部及び江戸川区平井、逆井、小松川等の污水、雨水を吸揚し、雨水は中川へ放流する。将来污水は小松川幹線、砂幹線により大島ポンプ所へ送水する。

計画排水面積 汚水 274.33ヘクタール

雨水 274.33ヘクタール

計 画 人 口 37,000人

計画排水量 晴天時 0.273 m^3 /S (23,600 m^3 /D)

雨水量 21.826 m^3 /S (1,309.56 m^3 /min)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建	延2,295.26 m^2			
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式 高巾	1.0m 1.0m	1	桜 田 機 械	汚 水 用
〃	〃 高巾	3.25m 1.6m	4	〃	雨 水 用
沈 砂 池	長巾 12.0m 1.8m 有効水深 0.7m 有効容量 15.1 m^3		1		汚 水 用
〃	長巾 20.0m 4.5m 有効水深 2.7m 有効容量 240 m^3		4		雨 水 用
揚 泥 機	走行ジブクレーン式		1	桜 田 機 械	
ろ 格 機	機械掻上式 高巾 目巾	5.8m 1.5m 25mm	1	〃	汚 水 用

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ろ 格 機	機械掻上式	高巾 5.5m 目巾 1.75m×2 25mm	4	桜 田 機 械	雨 水 用
スキット ホイスト	電動巻上式	7.5HP	1	〃	
高架ホツパー	油圧開閉式	容量 6m ³ ×2	1	〃	
篩 渣 破 碎 機	スイングハンマー式	処理能力3m ³ /h	1	三 菱 化 工 機	
〃 脱 水 機		〃 0.04m ³ /m	1	〃	
砂 洗 機		〃 3m ³ /h	1	〃	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結堅 軸型渦巻ポン プ	口 径 350mm 揚水量 0.25m ³ /S 揚程 15m 馬 力 80HP	1	日 立 製 作 所	
雨 水 ポ ン プ	ディーゼルエ ンジン歯車掛 堅軸斜流ポン プ	口 径 1,400mm 揚水量 4.33m ³ /S 揚程 8m 馬 力 700HP	2	〃	

(24) 隅田ポンプ所

所 在 地 墨田区隅田町1丁目1,479番地

創 設 昭和38年4月

敷地面積 6,180.7m² (1,869.66坪)

設置目的 墨田区隅田町大部, 寺島町の一部よりの汚水, 雨水を吸揚し, 雨水は荒川に放流し, 汚水
は砂幹線により吾嬬ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 192.00ヘクタール
雨水 192.00ヘクタール

計画人口 53,000人

計画排水量 晴天時 0,331m³/S (28,598m³/D)
雨水量 16.120m³/S (967.20m³/min)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建	延1,694m ²			
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式	高巾 3.60m 2.25m	4	田 原 製 作 所 日 立 金 属	雨 水 用
〃	〃	高巾 1.00m 1.35m	1	〃	汚 水 用
沈 砂 池	長巾 20m 5m 有効水深 2.6m 有効容量 260m ³		4		雨 水 用
〃	長巾 16m 1.5m 有効水深 0.54m 有効容量 13m ³		1		汚 水 用

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
揚 泥 機	走行ジブクレーン式	1	日 立 製 作 所	
ろ 格 機	機械掻上式 高巾 5.00m 目巾 2.25m 45mm	4	日 立 金 属	雨 水 用
〃	〃 高巾 5.8m 目巾 1.5m 15mm	1	〃	汚 水 用
雨 水 ポ ン プ	ディーゼルエンジン歯車掛 縦軸型斜流ポンプ	1	電 業 社	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結縦軸型片吸込式 渦巻ポンプ	1	〃	
	口 径 1,200mm 揚水量 3.33m ³ /S 揚程 8m 馬 力 550HP			
	口 径 350mm 揚水量 0.32m ³ /S 揚程 12.5m 馬 力 80HP			

第 3 節 処 理 場

(1) 芝 浦 処 理 場

所 在 地 港区芝高浜町 2 番地

創 設 昭和 6 年 3 月

敷 地 面 積 171,976.3m² (51,811坪)

設 置 目 的 本都区部のうち、港区の全部及び千代田，中央，新宿，渋谷の各区の大部ならびに文京，品川，目黒，世田谷，豊島の各区の一部等の地域から流集する下水を処理し，東京湾に放流する，なお発生する汚泥は汚泥処理工場で処理し，将来は一部を森ヶ崎処理場に送つて処理する。

計画処理面積 6,328ヘクタール

計画処理人口 1,030,000人

計画処理水量 晴天時 1,020,000m³/D

現有処理能力 〃 766,000m³/D

処理能力最近 5 年間の推移

33	34	35	36	37
m ³ /D 539,800	〃	〃	633,000	766,000

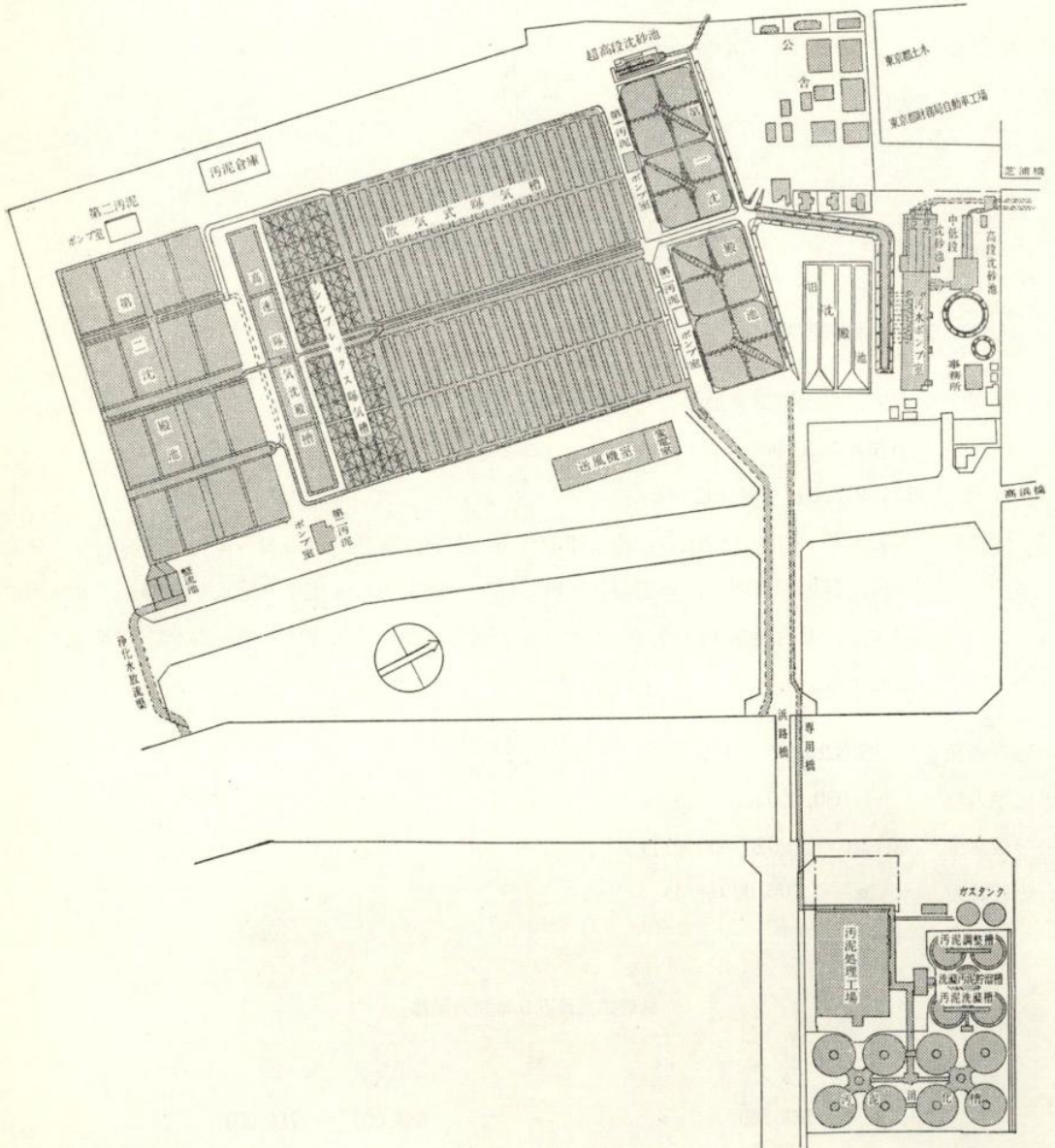
事務所	木造建	延 295.35 m^2
ポンプ室	鉄筋コンクリート建	延2,292.345 m^2
送風機室	鉄筋コンクリート建	延 874.14 m^2
汚泥処理工场上家	鉄筋コンクリート建	延 3,039.40 m^2

芝浦処理場平面図

完成部分



38. 3. 31 現在



種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
伏越阻水扉	巾高 1.67m 1.82m 馬蹄形	3	中山貫一商店	
入口阻水扉	電動開閉機 巾高 1.8m 1.5m	2	石井鉄工所	超高段用
沈砂池	長巾 15m 3m 有効水深 1.72m 有効容量 77.4m³	2		〃
掻泥機	バケツトエレベーター式	2	石井鉄工所	〃
ろ格機	機械掻上式 高巾目 2.82m 1.25m × 2 25mm	2	〃	〃
沈砂池	長巾 30.00m 2.40m 有効水深 1.85m 有効容量 105m³	2		高段用
掻泥機	リンクベルト式	2	大塚工場	〃
揚泥機	固定式	2	〃	〃
ろ格機	機械掻上式 高巾目巾 4.0m 2.4m × 2 25mm	2	江戸川機械	〃
入口阻水扉	巾高 2.5m 1.4m 矩 形	1	関機械製作所	〃
〃	巾高 0.95m 1.40m 矩 形	2	江戸川機械	〃
〃	巾高 1.83m 2.44m 矩 形	2	日立製作所	中低段用
沈砂池	長巾 19.08m 6.06m 有効水深 1.79m 有効容量 200m³	2		〃
揚泥機	移動式	2	〃	〃
汚泥搬出機	テルハー型 1ton	1	日本エレベーター	〃
ろ格機	機械掻上式 高巾目巾 3.8m 2.242m × 2 26mm	2	日立製作所	〃
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口 径 410mm 揚水量 0.28m³/S 揚程 5m 馬力 30HP	2	〃	高段用
〃	〃 口 径 610mm 揚水量 0.73m³/S 揚程 5m 馬力 70HP	1	〃	〃
〃	〃 口 径 810mm 揚水量 1.40m³/S 揚程 5.0m 馬力 130HP	1	〃	〃
〃	〃 口 径 610mm 揚水量 0.555m³/S 揚程 7m 馬力 70HP	2	〃	中低段用
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口 径 700mm 揚水量 1.00m³/S 揚程 7m 馬力 130HP	2	〃	〃

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口 径 810mm 揚水量 1.11 m^3 /S 揚程 7m 馬 力 130	1	日 立 製 作 所	中 低 段 用
〃	〃	口 径 920mm 揚水量 2 m^3 /S 揚程 7m 馬 力 240HP	3	西 島 製 作 所 日 立 製 作 所	〃
第 1 沈 澱 池	長 巾 45.72m 有効水深 45.72m 有効容量 3.66 m^3 7,650 m^3		4		
掻 集 機	ドル式 45.72m	隔丸方形辺	4	東洋パプコックア ンドリユース商会	第1沈澱池用
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横 軸型ブレード レスポンプ	口 径 200mm 揚水量 0.083 m^3 /S 揚程 29m 馬 力 80HP	6	日 立 製 作 所	
曝 気 槽 (シンプレックス式)	長 巾 81.20m 有効水深 9.80m 有効容量 5.60 m^3 4,150 m^3		8		
曝 気 機	シンプレックス式		8	関 機 械 製 作 所	
曝 気 槽 (散気式)	長 巾 80.00m × 4 回路 有効水深 6.70m 有効容量 4.10 m^3 8,000 m^3		10	三井物産機械部 三 井 建 設	
送 風 機	電動機直結横 軸型ターボ ロー	口 径 450mm 風 量 4.17 m^3 /S 段 5段 圧 力 5.3maq 馬 力 450HP	12	荏 原 製 作 所	
第 2 沈 澱 池	長 巾 40.00m 20.00m 有効水深 4.40m 有効容量 3,520 m^3		14		
採 泥 機	走行構柵サイホン式		16	桜 田 機 械 安 藤 鉄 工 所 関 機 械 製 作 所 日 立 製 作 所	第2沈澱池用
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口 径 500mm 揚水量 0.53 m^3 /S 揚程 6m 馬 力 60HP	3		
〃	電動機直結堅 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 500mm 揚水量 0.55 m^3 /S 揚程 7.6m 馬 力 78HP	3	久 保 田 鉄 工	
高速曝気沈澱槽	長 巾 40.00m 16.00m 有効水深 4.9m		2	エバライン フィルコ	
高速曝気槽用 汚 泥 ポ ン プ	電動機直結堅 型	口 径 160mm 揚水量 0.033 m^3 /S 揚程 15m 馬 力 20HP	2	荏 原 製 作 所	
汚 泥 槽	径 22.00m 有効水深 4.56m 有効容量 1,540 m^3		2		
〃	径 14.55m 有効水深 3.64m 有効容量 500 m^3		1		
減 菌 機	磯村式MSV型真空減菌機	5.6kg/h	8	磯 村 産 業	
〃	D.V.G.型真空減菌機	6kg/h	1	水 道 機 工	

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
濃 縮 槽	内径 有効水深 有効容量	20.00m 4.2m 1,530 m^3	2		污泥処理工場用
濃縮槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 160mm 揚水量 0.042 m^3 /S 揚程 20m 馬 力 28HP	2	荏原製作所	〃
貯 留 槽	内径 有効深さ 有効容量	15m 3.5m 630 m^3	1		污泥処理工場用
貯留槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 180mm 揚水量 0.06 m^3 /S 揚程 14m 馬 力 28HP	2	荏原製作所	〃
洗 滌 槽	内径 有効深さ 有効容量	20m 3m 940 m^3	2		〃
洗滌槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 130mm 揚水量 0.03 m^3 /S 揚程 6m 馬 力 21HP	2	荏原製作所	〃
消 化 槽	内径 有効深さ 有効容量	25m 9m 4,500 m^3	8		
污泥循環ポンプ	電動機直結横 軸型ブレード レスポンプ	口 径 160mm 揚水量 0.042 m^3 /S 揚程 12m 馬 力 20HP	8	荏原製作所	〃
ボ イ ラ ー	三胴水管式	圧 力 25m Aq 出力 1,583,000kcal/h 伝熱面積 140 m^2	3	安藤鉄工所	〃
温水循環ポンプ	電動機直結横 軸型渦巻ポン プ	口 径 160mm 揚水量 0.052 m^3 /S 揚程 14.5m 馬 力 15HP	3	荏原製作所	〃
熱 交 換 器	二重管式	出 力 920,000 kcal/h 圧 力 1.5kg/cm 2	8	安藤鉄工所	〃
薬品溶解槽	辺 有効深さ 有効容量	2.5×2.5m 3m 20 m^3	2		〃
汚泥混和槽	辺 有効深さ 有効容量	2.0×2.0m 2m 8 m^3	2		〃
消石灰ホツパー	容 量	4 m^3	1	大成鉄工	〃
真空ろ過機	連続回転式円筒型 ろ過面積 馬 力	32 m^2 3HP	12	エバラインフィルコ	〃
ケーキホツパー	手動開閉式	容 量 5 m^3	4	大成鉄工	〃
真空ポンプ	電動機ベルト 掛機型水冷ブ レート弁式	容量 1.09 m^3 /S 真空度 600mmHg 馬力 100HP	6	三国重工	〃
空気圧縮機	電動機ベルト 掛型1段式	容量 0.27 m^3 /S 圧力 2kg/cm 2 馬力 100HP	3	〃	〃
ガスブロー	電動機直結片 吸込式2段タ ーボブロー	口径 160mm 容量 24 m^3 /m 圧力 550mmAq 馬 力 7.5HP	2	荏原製作所	〃

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ガスコンプレッサー	電動機ベルト掛 横型水冷単気筒 複動1段式	容量 16.1 m^3/m 圧力 5Kg/ cm^2 馬力 100HP	2	大 都 工 業	汚泥処理工場用
脱 疏 器	乾 式	容量 30,000 m^3/D	1	石 井 鉄 工	〃
ガ ス タ ン ク	球 形	直径 13.15 m 容量 1,300 m^3 圧力 5kg/ cm^2	1	〃	〃



(2) 三河島処理場

所 在 地 荒川区荒川8丁目25番地
創 設 大正12年3月
敷 地 面 積 184,571.64 m^2 (55,932.25坪)
設 置 目 的 本都区部のうち、台東、荒川両区の全部及び文京、豊島両区の大部ならびに千代田、新宿、北各区の一部等の地域から流集する下水を処理して荒川へ放流する。なお発生する汚泥は全部を砂町処理場へ送つて処理する。

計画処理面積 3,936ヘクタール
計画処理人口 1,120,000人
計画処理水量 晴天時 520,000 m^3/D
現有処理能力 〃 223,000 m^3/D

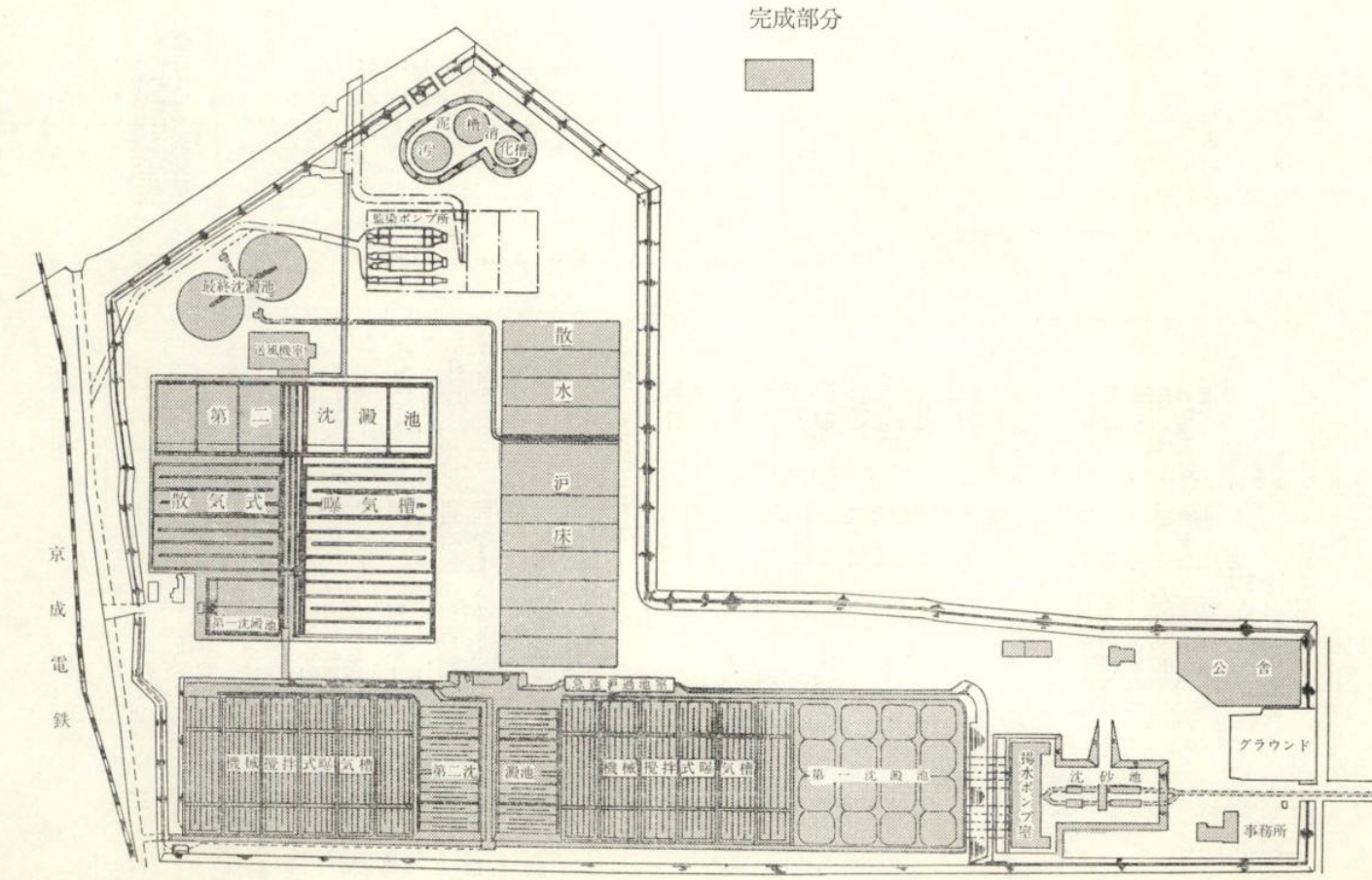
処 理 能 力 最 近 5 年 間 の 推 移

33	34	35	36	37
m^3/d 165,000	〃	〃	267,400	223,000

三河島処理現場計画一般

38. 3. 31 現在

事務所	鉄筋コンクリート建	延395.27㎡
ポンプ室	鉄筋コンクリート建	延1,445.73㎡
送風機上家	鉄筋コンクリート建	延2,255.74㎡



種 別	形 其 状 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入 口 阻 水 扉	巾 高 2.10m 馬蹄形 1.80m	2	ゐのくち式機械 事 務 所	
沈 砂 池	長 巾 19.70m 5.45m 有効水深 1.21m 有効容量 117.3m ³	2		
揚 泥 機	チェーン走行バケツトスクレツパー式	2	江戸川機械	
ろ 格 機	機械掻上式 高 巾 目巾 3.64m 2.00m × 2 25mm	4	東 興 造 機	
汚 水 ポ ン プ	ディーゼルエ 口 径 410mm ンジン直結横 揚水量 0.28m ³ /S 軸型両吸込式 揚程 10.5m 渦巻ポンプ 馬 力 75HP	1	荏 原 製 作 所	
〃	電動機直結横 口 径 410mm 軸型両吸込式 揚水量 0.28m ³ /S 渦巻ポンプ 揚程 10.5m 馬 力 65HP	1	〃	
〃	〃 口 径 560mm 揚水量 0.56m ³ /S 揚程 10.3m 馬 力 120HP	3	〃	
〃	〃 口 径 760mm 揚水量 1.11m ³ /S 揚程 10.2m 馬 力 230HP	3	〃	
〃	〃 口 径 800mm 揚水量 1.14m ³ /S 揚程 10.2m 馬 力 230HP	1	〃	
〃	〃 口 径 800mm 揚水量 1.41m ³ /S 揚程 10.5m 馬 力 250HP	1	〃	
第 1 沈 澱 池	長 巾 84.00m 21.21m 有効水深 2.90m 有効容量 4,440m ³	4		
掻 集 機	星型中心運転式	16	浦 賀 船 渠	
洗 砂 機	攪 拌 式 能 力 3—5m ³ /h	1	五 十 嵐 鉄 工	
破 砕 機	スイングハンマー式 能 力 3m ³ /h	1	〃	
ホ ツ パ ー	油圧開閉式 能 力 12m ³	3	江戸川機械 三 菱 化 工	
脱 水 機	ローラー式 能 力 2—3m ³ /h	1	五 十 嵐 鉄 工 三 菱 化 工	
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横 口 径 300mm 軸型片吸込式 揚水量 0.056m ³ /S 渦巻ポンプ 揚程 22m 馬 力 50HP	2	荏 原 製 作 所	第1沈澱池用
曝 気 槽 (パドル式)	長 巾 84.75m 21.20m 有効水深 1.50m 有効容量 2,400m ³	12		
攪 拌 機	パ ド ル 式	24	{岡谷鋼機江戸川機 械油谷工作所大塚 工場青木ロール	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
第 2 沈 澱 池	長 33.00m 巾 18.00m 有効水深 3.7m 有効容量 2,190 m^3	8		
採 泥 機	走行構桁型サイホン式	8	油 谷 工 作 所	
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横口 径 300mm 軸型片吸込式 揚水量 0.2 m^3 /S 渦巻ポンプ 揚程 4.5m 馬 力 20HP	4	荏 原 製 作 所	第 2 沈 澱 池 用
ろ 床	長 66.67m 巾 30.30m ろ材深さ 1.49~1.60m ろ床面積 2,020 m^2	12		
散 水 機	ハ ー ト レ ー 式	24		散 水 ろ 床 用
最 終 沈 澱 池	内径 36.0m 有効深さ 3.2m 有効容量 3,260 m^3	2		
掻 集 機	星型中心運転式 2本アーム	2	桜 田 機 械	
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横口 径 150mm 軸型片吸込式 揚水量 0.04 m^3 /S 渦巻ポンプ 揚程 15m 馬 力 20HP	2	荏 原 製 作 所	最 終 沈 澱 池 用
減 菌 機	D. V. G 真空式 6kg/h	3	水 道 機 工	
汚 泥 槽	径 21.82m 有効深さ 4.09m 有効容量 1,000 m^3	2		
消 化 槽	内径 15m 有効深さ 4.5m 有効容量 1,000 m^3	1		
ガ ス タ ン ク	直径 10m 高 4.0m 容量 310 m^3	1		
吐 口 ポ ン プ	電動機直結横口 径 800mm 軸固定羽根式 揚水量 1.38 m^3 /S 軸流ポンプ 揚程 3m 馬 力 100HP	1	荏 原 製 作 所	
〃	電動機直結横口 径 500mm 軸型斜流ポンプ 揚水量 1.07 m^3 /S 揚程 4m 馬 力 80HP	1	〃	
〃	電動機直結横口 径 500mm 軸固定径根式 揚水量 0.5 m^3 /S 軸流ポンプ 揚程 3m 馬 力 40HP	1	〃	
送 泥 ポ ン プ	電動機直結横口 径 150mm 軸型片吸込式 軸水量 0.024 m^3 /S 渦巻ポンプ 揚程 26.5m 馬 力 27HP	2	〃	
第 1 沈 澱 池	長 40m 巾 16m 有効水深 3m 有効容量 1,920 m^3	2		尾 久 幹 線 用
掻 集 機	リンクベルト式 主コレクター 長 83.6m クロスコレクター 長 32.5m	2	日 立 金 属	〃
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結縦口 径 150mm 型ブレードレ 揚水量 0.033 m^3 /S ースポンプ 揚程 7m 馬 力 10HP	2	電 業 社	〃

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
曝 気 槽 (散 気 式)	長 巾	75m×4回路 7.35m 4.20m	2		尾久幹線用
送 風 機	有効水深 有効容量	9,260m ³ 電動機直結横 軸型ターボブ ローア	3	日 立 製 作 所	〃
第 2 沈 澱 池		口 径 450mm 風 量 4.17m ³ /S 段 5段 庄 力 5.2mAq 馬 力 440HP	3		〃
掻 泥 機	長 巾	40m 24m	3	日 立 金 属 機 械	〃
汚 泥 ポ ン プ	有効水深 有効容量	3.5m 3,360m ³ リンクベルト式 主コレクター クロスコレクター	3	電 業 社	〃
		長 78m 27m 電動機直結 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	3		〃
		口 径 300mm 揚 水 量 0.2m ³ /S 馬 力 8m 40HP			

(3) 砂 町 処 理 場

所 在 地	江東区南砂町9丁目2,473番地
創 設	昭和5年2月
敷 地 面 積	247,500m ² (75,000坪)
設 置 目 的	本都区部のうち、墨田、江東両区の全部及び中央、足立、江戸川各区の一部等の地域から 流集する下水を処理して東京湾に放流する。なお発生する汚泥は三河島処理場より送られ て来る汚泥と併せて処理する。
計画処理面積	3,977ヘクタール
計画処理人口	840,000人
計画処理水量	晴天時 630,000m ³ /D
現有処理能力	〃 300,000m ³ /D

処 理 能 力 最 近 5 年 間 の 推 移

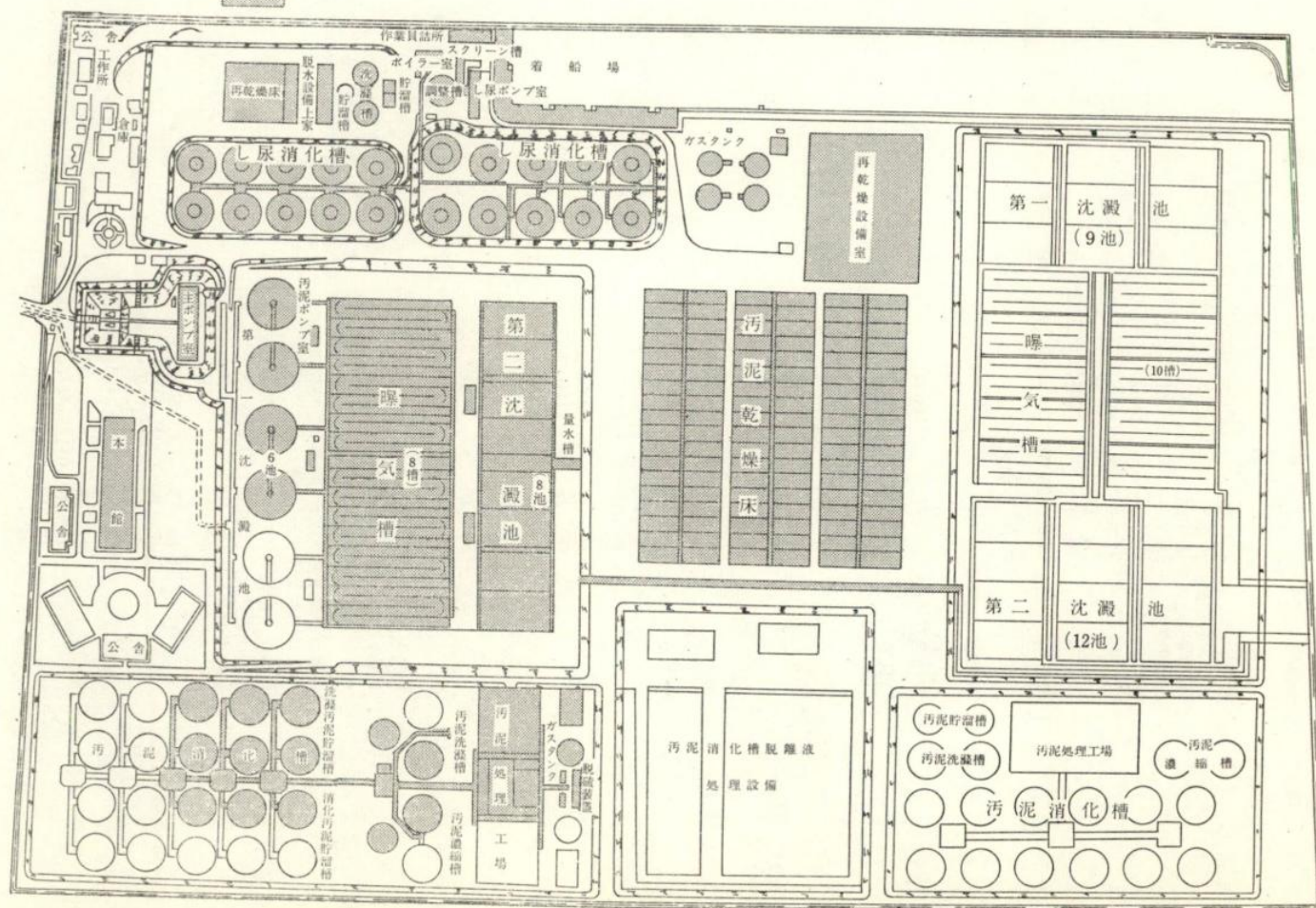
33	34	35	36	37
m ³ /d 178,800	〃	〃	225,000	300,000

事 務 所	鉄筋コンクリート建	延2,013.52m ²
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建	延 750.42m ²
送 風 機 室	鉄筋コンクリート建	延3,167.06m ²
汚泥処理工場上家	鉄筋コンクリート建	延 336m ²

砂町処理場計画一般図

38. 3. 31 現在

完成部分



種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
人 口 阻 水 扉	巾 高	1.80m 1.80m 馬蹄形	2	電 業 社 原 動 機	
ろ 格 機	機械掻上式	高 巾 目巾 3.1m 2.42m 40mm	2	三 機 工 業	
汚 水 ポ ン プ	ディーゼルエ ンジン直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口 径 410mm 揚水量 0.27m ³ /S 揚程 13m 馬力 70HP	1	西 島 製 作 所	
〃	〃	口 径 800mm 揚水量 1.40m ³ /S 揚程 13m 馬力 335HP	4	〃	
第 1 沈 澱 池	直径 有効水深 有効容量	36.0m 3.7m 3,766m ³	4		
掻 集 機	十字型中心運転式		4	江 戸 川 機 械 守 住 土 木	
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 160mm 揚水量 0.035m ³ /S 揚程 5.0m 馬力 6.7HP	3	荏 原 製 作 所	第1沈澱池用
〃	電動機直結横 軸型片吸込式 ブレードレス ポンプ	口 径 200mm 揚水量 0.041m ³ /S 揚程 5m 馬力 14.8HP	3	〃	〃
曝 気 槽 (散 気 式)	長巾 有効水深 有効容量	80m × 4 6.30m 4.80m 9,677m ³	6		
送 風 機	電動機直結横 軸型片吸込式 ターボプロア 一	口 径 400mm 容 量 4.17m ³ /S 段 5段 圧 力 5.3mAq 馬 力 440HP	3	石 川 島 重 工 業	
〃	〃	口 径 450mm 容 量 5.00m ³ /S 段 5段 馬 力 533HP	3	荏 原 製 作 所	
第 2 沈 澱 池	長巾 有効水深 有効容量	45m 25m 3.80m 4,275m ³	6		
掻 泥 機	リンクベルト式		6	日 立 金 属	第2沈澱池用
	主コレクター クロスコレクター	長 83m 長 25m			
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口 径 350mm 揚水量 0.25m ³ /S 揚程 4.5m 馬力 25HP	3	日 立 製 作 所	〃
〃	〃	口 径 350mm 揚水量 0.375m ³ /S 揚程 4.5m 馬力 34HP	2	〃	
〃	電動機直結横 軸型片吸込式 ブレードレス ポンプ	口 径 250mm 揚水量 0.125m ³ /S 揚程 4.5m 馬力 20HP	1	〃	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
滅 菌 機	磯村式真空スーパ一滅菌機 20kg/h	1	磯 村 産 業	
〃	〃 5.6kg/h	4	〃	
濃 縮 槽	内 径 25m 有効水深 4.5m 有効容量 2,200m ³	2		污泥処理工場用
濃縮槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 ブレードレス ポンプ 口 径 160mm 揚水量 0.042m ³ /S 揚程 20m 馬 力 30HP	3	電 業 社	〃
消 化 槽	内 径 25m 有効水深 9.5m 有効容量 3,300m ³	8		〃
污泥循環ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 ブレードレス ポンプ 口 径 130mm 揚水量 0.028m ³ /S 揚程 14m 馬 力 15HP	8	安 藤 鉄 工	〃
貯 留 槽	内径 18m 有効水深 3.7m 有効容量 910m ³	1		〃
貯留槽ポンプ	電動機直結横 軸型片径込式 ブレードレス ポンプ 口 径 160mm 揚水量 0.042m ³ /S 揚程 16m 馬 力 25HP	3	電 業 社	〃
洗 滌 槽	内径 25m 有効水深 3.5m 有効容量 1,720m ³	2		〃
洗滌槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 ブレードレス ポンプ 口 径 160mm 揚水量 0.042m ³ /S 揚程 7.5m 馬 力 10HP	3	電 業 社	〃
ボ イ ラ ー	三胴水管式 圧 力 2.5kg/cm ² 出 力 5.5t/h 伝熱面積 170m ²	1	安 藤 鉄 工	〃
温水循環ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ 口 径 150mm 揚水量 0.05m ³ /S 揚程 14m 馬 力 15HP	1	日 立 製 作 所	〃
熱 交 換 器	二重管式 出 力 400,000kcal/h 圧 力 1.5kg/cm ²	8	安 藤 鉄 工	〃
薬品溶解槽	有効容量 22m ³	2		
污泥混和槽	〃 16m ³	1		
真空ろ過機	連続回転式多 室型 ろ過面積 32m ² 馬 力 5HP	12	三 菱 化 工 機	〃
真 空 ポ ン プ	電動機ベルト 掛横型往復式 容 量 1.08m ³ /S 真空度 600mmHg 馬 力 100HP	6	宇野沢鉄工所	〃
空 気 圧 縮 機	電動機ベルト 掛横型水冷式 容 量 0.3m ³ /S 圧 力 3kg/cm ² 馬 力 100HP	3	〃	〃
ガスブロワー	電動機直結タ ーボブロワー 口 径 160mm 容 量 0.4m ³ /S 圧 力 600mmAq 馬 力 7.4HP	2	荏 原 製 作 所	〃
ガス圧縮機	電動機ベルト 掛横型水冷式 容 量 0.2m ³ /S 圧 力 5kg/cm ² 馬 力 80HP	2	大 都 工 業	〃
脱 硫 器	乾 式 60m ³	1	石川島重工業	〃

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ガ ス タ ン ク	球 形	直 径 容 圧 15m 1,770 ^{m³} 5kg/cm ²	1	石 川 島 重 工 業	汚 泥 処 理 工 場 用

(4) 小 台 処 理 場

所 在 地	足立区宮城町24番地
創 設	昭和37年 4 月
敷 地 面 積	84,610 ^{m²} (25,640坪)
設 置 目 的	本都区部のうち、北、板橋両区の大部及び新宿、豊島、練馬、足立の各区の一部等の地域から流集する下水を処理して荒川へ放流する。なお、発生する汚泥は、落合処理場より送られて来る汚泥と併せて処理する。
計画処理面積	4,552ヘクタール
計画処理人口	970,000人
計画処理水量	(晴天時) 420,000 ^{m³} /D
現有処理能力	(晴天時) 100,000 ^{m³} /D

処 理 能 力 最 近 5 年 間 の 推 移

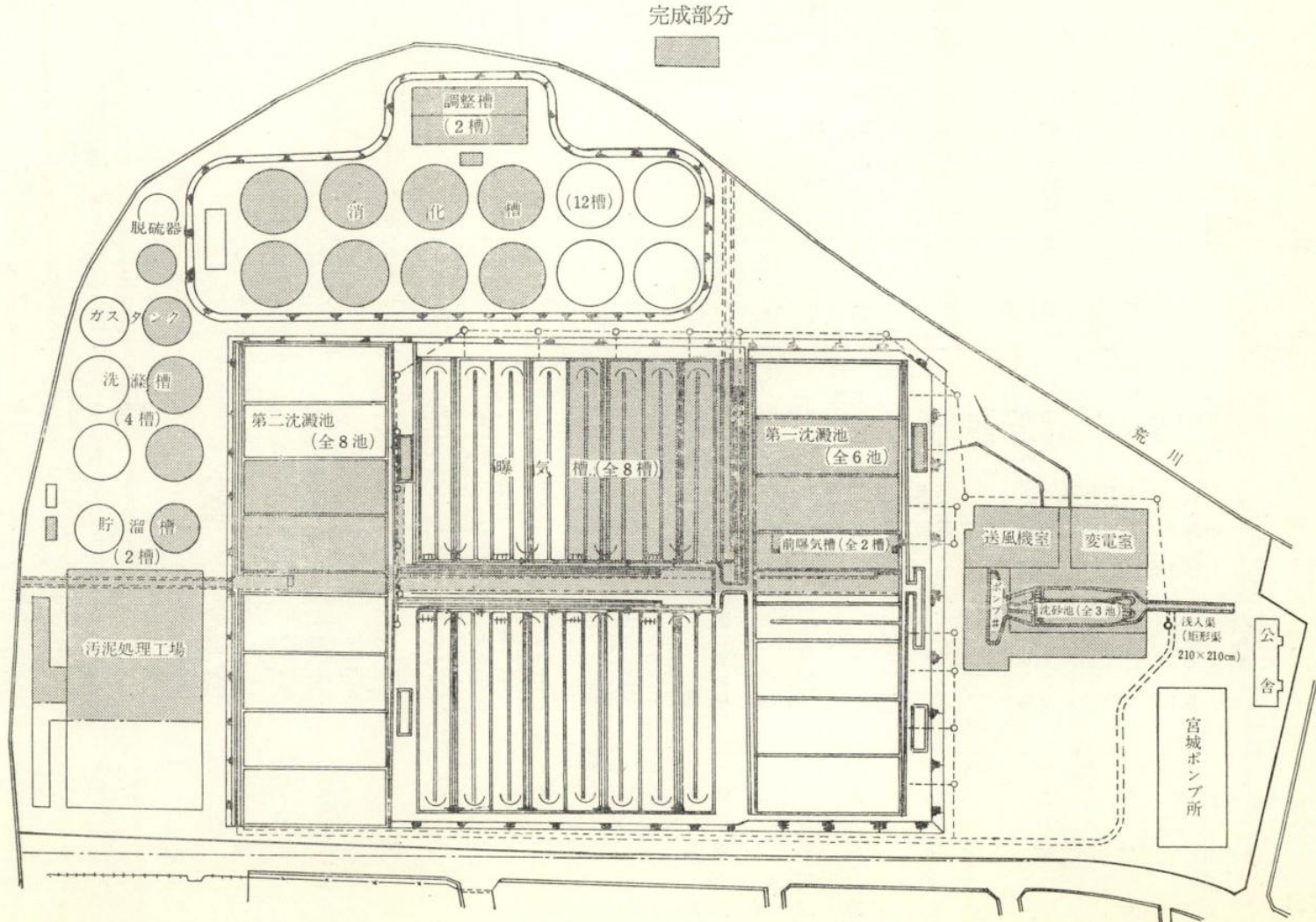
33	34	35	36	37
—	—	—	^{m³} /d 100,000	100,000

本 館	鉄筋コンクリート建	延6,103. ^{m²}
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建	延3,580.80 ^{m²}
汚 泥 処 理 工 場	鉄筋コンクリート建	延5,917 ^{m²}

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式 矩形状	高 2.0m 巾 1.8m	3	桜 田 機 械	
沈 砂 池	辺 高	20.0m×巾4.0m 有効深さ 2.9m 有効容量 232 ^{m³}	3		
揚 泥 機	固 定 式		3	桜 田 機 械	
洗 砂 機		処理能力 3 ^{m³} /h	1	五 十 嵐 鉄 工	
高架ホツパー	油圧開閉式	容 量 3.5 ^{m³}	2	桜 田 機 械	
ろ 格 機	機械掻上式	高 2.9m 巾 1.5×2 目巾 25mm	3	〃	
篩 渣 破 碎 機	スイングハンマー式	処理能力 3 ^{m³} /h	1	五 十 嵐 鉄 工	
〃 脱 水 機		〃 3 ^{m³} /h	1	住 友 機 械	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結堅 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 700mm 揚 水 量 1.25 ^{m³} /S 揚 程 13m 馬 力 300HP	2	荏 原 製 作 所	
前 曝 気 槽	長 巾	51.5m 6.0m 有効水深 4.5m 有効容量 2,700 ^{m³}	1		
第 一 沈 澱 池	長 巾	50.0m 20.0m 有効水深 3.6m 有効容量 3,500 ^{m³}	2		

小台処理場計画一般図

38. 3. 31 現在



種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考	
掻 集 機	リングベ ルト式	主コレクター クロスコレクター	長さ 96m 24m	2	日 立 金 属	第一沈澱池用
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横 軸吸込式プレ ードレスポン プ	口 径 160mm 揚水量 0.033m ³ /S 揚程 6m 馬 力 10HP	3	電 業 社	〃	
曝 気 槽	長 巾 有効水深 有効容量	70.0m 6.3m 4.2m 7,410m ³	2			
送 風 機	電動機直結横 軸型ターボ ブローア	口 径 500mm 風 量 5m ³ /S 力 5.3mAq 馬 力 533HP	3	荏 原 製 作 所		
第 二 沈 澱 池	長 巾 有効水深 有効容量	50.0m 20.0m 4.0m 3,900m ³	2			
掻 泥 機	リングベ ルト式	主コレクター クロス	長さ 97.5m 23.5m	2	日 立 金 属	
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結 縦型斜流ポン プ	口 径 350mm 揚水量 0.217m ³ /S 揚程 4m 馬 力 20HP	2	電 業 社	第二沈澱池用	
滅 菌 機	DV型真空滅菌機	30kg/h	1	水 道 機 工	〃	
濃 縮 槽	辺 有効深さ 有効容量	巾 10m×長40m 4m 1,660m ³	2		汚泥処理工場用	
濃 縮 槽 ポ ン プ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 160mm 揚水量 0.035m ³ /S 揚程 18m 馬 力 25HP	2	電 業 社	〃	
消 化 槽	内径 有効深さ 有効容量	23.0m 12.0m 5,000m ³	4		〃	
汚 泥 循 環 ポ ン プ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 150mm 揚水量 0.047m ³ /S 揚程 12m 馬 力 20HP	4	電 業 社	〃	
貯 留 槽	内径 有効深さ 有効容量	17.0m 3.0m 680m ³	1		〃	
貯 留 槽 ポ ン プ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 160mm 揚水量 0.042m ³ /S 揚程 18m 馬 力 25HP	2	電 業 社	〃	
洗 滌 槽	内径 有効深さ 有効容量	19.0m 3.0m 850m ³	2		〃	
洗 滌 槽 ポ ン プ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 130mm 揚水量 0.02m ³ /S 揚程 5m 馬 力 7.5HP	2	電 業 社	〃	
ボ イ ラ ー	三胴水管式	圧 力 25mAq 出 力 3,000,000kcal/h 伝熱面積 170m ²	1	安 藤 鉄 工	〃	
温 水 循 環 ポ ン プ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 180mm 揚水量 0.06m ³ /S 揚程 14m 馬 力 20HP	1	電 業 社	〃	

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
熱 交 換 器	二重管式	出 力 680,000kcal/h 圧 力 $1.5\text{kg}/\text{cm}^2$	4	安 藤 鉄 工	汚泥処理工場用
薬 品 熔 解 槽	有効容量	17m^3	2	三 機 工 業	〃
汚 泥 混 和 槽	〃	20m^3	1		〃
消石灰ホツパー	容 量	5m^3	1	三 機 工 業	〃
真 空 ろ 過 機	連続回転式円筒型	ろ過面積 32m^2 馬 力 2HP	6	〃	〃
ケーキホツパー	油圧開口式	容 量 5m^3	2	〃	〃
真 空 ポ ン プ	電動機ベルト掛横型一段プレート弁式	容 量 $1.09\text{m}^3/\text{S}$ 真空度 600mmHg 馬 力 100HP	3	三 国 重 工	〃
空 気 圧 縮 機	電動機ベルト掛横型水冷式	容 量 $0.5\text{m}^3/\text{S}$ 圧 力 $3\text{kg}/\text{cm}^2$ 馬 力 145HP	1	〃	〃
ガ ス ブ ロ ー ー	電動機直結ターボブロー	口 径 160mm 容 量 $0.42\text{m}^3/\text{S}$ 圧 力 700mmAq 馬 力 10HP	2	荏 原 製 作 所	〃
ガ ス 圧 縮 機	電動機ベルト掛横型水冷単気筒複動1段式	容 量 $11.9\text{m}^3/\text{m}$ 圧 力 $5.2\text{kg}/\text{cm}^2$ 馬 力 72HP	2	大 都 工 業	〃
脱 硫 器	乾 式	$30,000\text{m}^3/\text{D}$	1	石 井 鉄 工	〃
ガ ス タ ン ク	球 形	直 径 15.6m 容 量 $2,000\text{m}^3$ 圧 力 $5\text{kg}/\text{cm}^2$	1	〃	〃

第 4 節 尿尿消化槽 (清掃局委託)

所 在 地 江東区南砂町9丁目2,473番地 砂町処理場内

建 設 開 始 昭和24年9月1日

建 設 完 了 昭和35年3月31日

尿尿消化処理量 計画 $2,700\text{m}^3/\text{D}$ (ほかに種汚泥として下水汚泥20%を混入)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
尿 尿 ポ ン プ	電動機直結横軸型片吸込式特殊渦巻ポンプ	口 径 200mm 揚水量 $0.09\text{m}^3/\text{S}$ 程 度 8.0m 馬 力 30HP	1	荏 原 製 作 所	
〃	〃	口 径 200mm 揚水量 $0.09\text{m}^3/\text{S}$ 程 度 12.0m 馬 力 40HP	3	〃	

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
尿 尿 沈 砂 槽	長 巾 有効水深 有効容量	9.9m 11.3m 1.79m 200m ³	1		
ろ 格 機	ドル型機械 捲上式	巾 2.0m 高 2.0m 目巾 35mm	3	三 機 工 業	
ろ 格 機	〃	巾 2.0m 高 2.0m 目巾 19mm	3	〃	
シ サ 脱 水 装 置	ロール式圧縮		3	五十嵐鉄工所	
調 整 槽	内径 有効深さ 有効容量	22.0m 4.75m 1,800m ³	1		
攪 拌 機	翼 車 式		1	三 機 工 業	
調整槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 特殊過巻ポン プ	口 径 200mm 揚水量 0.09m ³ /S 揚程 8.0m 馬 力 25HP	2	荏 原 製 作 所	
〃	電動機直結横 軸型片吸込式 特殊渦巻ポン プ	口 径 200mm 揚水量 0.09m ³ /S 揚程 7.5m 馬 力 25HP	1	〃	
消化槽ポンプ	〃	口 径 200mm 揚水量 0.09m ³ /S 揚程 21.0m 馬 力 60HP	3	〃	
消 化 槽	内径 有効深さ 有効容量	25.0m 6.0m 3,250m ³	20		
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横 軸型渦巻ポン プ	口 径 80mm 揚水量 0.008m ³ /S 揚程 5m 馬 力 3HP	2	三 菱 化 工 機 酒 井 製 作 所	
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横 軸型過巻ポン プ	口 径 130mm 揚水量 0.025m ³ /S 揚程 15m 馬 力 1.5HP	1	三 菱 化 工 機 酒 井 製 作 所	
真 空 脱 水 機	廻 転 式		4	三 菱 化 工 機 ウノサワ組鉄工所	
真 空 ポ ン プ	電動機ベルト 掛横軸型真空 ポンプ	口 径 760mm×300mm 揚水量 1.13m ³ /S 真空度 500mm/Hg 馬 力 100HP	4	ウノサワ組鉄工所	
再 乾 燥 床			1,440m ²		
乾 燥 床			30,000m ²		
乾 燥 汚 泥 置 撞 取 装 置	構柵自走式	軌間 10m 走行速度 4.08m/min	1	浦 賀 ド ツ ク	
ガ ス タ ン ク	内径 { 14.8m 15.25m	容量 { 1,200m ³ 2,000m ³	2 2	石 井 鉄 工 石 川 島 重 工	
乾 式 脱 硫 機	乾式	5,000m ³ /D	2	石 井 鉄 工	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ガ ス 洗 滌 塔	湿式 5,000 m^3 /D	2	◇	
◇	◇ 21,600 m^3 /D	1	岡 谷 銅 機	
洗 滌 ポ ン プ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ 口 径 250 mm 揚水量 0.1 m^3 /S 揚程 12 m 馬 力 30 HP	1	荏 原 製 作 所	
◇	◇ 口 径 260 mm 揚水量 0.125 m^3 /S 揚程 16 m 馬 力 30 HP	1	日 立 製 作 所	
掻 集 機	廻 転 式	2	住 友 機 械	第1,第2洗 滌槽用
ボ イ ラ ー	三胴水管式 缶圧 2.5 kg/cm^2 出力{常用=700,000kcal/h 最大=900,000 ◇	5	岡 谷 銅 機 大 阪 ボ イ ラ ー	
ボ イ ラ ー	三胴水管式 缶圧 2.5 kg/cm^2 出力{常用=1,940,000kcal/h 最大=2,330,000 ◇	1	安 藤 鉄 工	

第 7 章 作 業

第 1 節 管 渠

管 渠 掃 除 実 績 表

(昭和37年度)

管 理 事 務 所 名		中 部	北 部	東 部	合 計
所 管 区 域 種 別	千代田区（外神田を除く）、中央区（月島を除く）、港区、品川区の一部、目黒区の一部、渋谷区の一部、新宿区の大部分、文京区（旧本郷区の一部を除く）、台東区（旧下谷区の一部）、豊島区の一部、北区（旧滝野川区の一部）	千代田区（外神田の大部分） 台東区（一部を除く） 文京区（旧本郷区の一部） 荒川区、北区の各一部、足立区の一部、豊島区の一部	江東区（旧深川区） 中央区の一部（月島） 墨田区		
修 理 延 長 補 修 個 数 (<i>m</i>) (個)	108.70 2,914	189.50 974	32.00 350	330.20 4,238	
掃 除 延 長 汚 泥 量 (<i>m</i>) (<i>mt</i>)	392,560 10,393.25	233,628 7,494.10	246,604 5,175.47	872,792 23,062.82	
掃 除 個 数 汚 泥 量 (個) (<i>mt</i>)	10,684 265.20	6,561 184.60	2,195 38.80	19,440 488.60	

作業費実績年比較表

(過去5年間)

年 度	分 類 管渠 人孔樹	管理延長 (m)	掃除延長 (m)	汚 泥 量 (m^3)	修 繕 員 数 (m 個)	作 業 費 (直接費のみ) (円)
		同 個 数 (個)	同 個 数 (個)			
33	管 渠	2,489,519	958,919	25,415.68	293.20	122,261,367
	人孔樹	311,370	34,246	2,143.40	3,036	
34	管 渠	2,580,907	976,979	26,836.30	280.00	123,707,299
	人孔樹	328,366	29,587	1,759.45	3,683	
35	管 渠	2,681,332	815,930	22,787.96	654.00	104,920,367
	人孔樹	348,071	26,148	1,434.65	3,805	
36	管 渠	2,767,882	961,288	26,035.65	379.60	154,312,002
	人孔樹	366,878	21,098	886.31	3,842	
37	管 渠	2,876,329	872,792	23,062.82	330.20	17,813,007
	人孔樹	390,549	19,440	488.60	4,238	

第 2 節 ポ ン プ 所

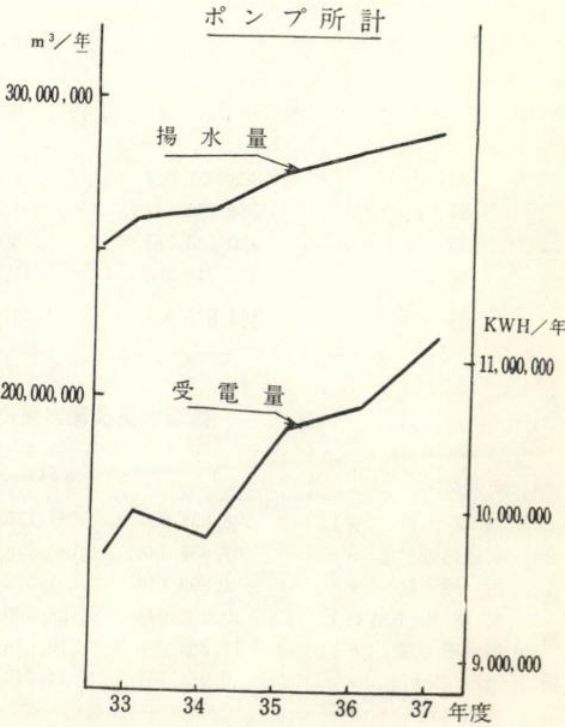
ポンプ作業状況

(昭和37年度)

ポンプ所	揚水量	揚水量内訳		シサ量	沈砂量	受電量	受電量内訳	
		送水量	放水量				ポンプ 運 転	諸機械 照 明
銭箱町	90,222,470	90,222,470		970.2	1,459.0	3,554,994	3,305,116	249,878
瓶崎洲	130,872		130,872	0.6		3,297.3	1,818.5	1,478.8
町留橋	48,575		48,575	0.6		1,949.9	822.5	1,127.4
千住	107,125		107,125	0.9	0.3	36,871.7	2,042.7	34,829
本堤(田町)	983,329		983,329	72.4		70,426	9,262	61,164
和地町	634,000		634,000	17.0		142,360	6,183	136,177
橋入谷	4,638,920	4,447,180	191,740	96.0	53.0	109,485	73,236	36,249
山手	642,070		642,070	1.5		4,146	3,630	516
千八木	3,967,640	3,967,640		63.0		104,488	89,651	14,837
越月	685,060	424,430	260,630	57.3	46.0	31,201	17,622	13,579
三業	12,614,110	11,918,710	695,400	244.1	150.0	767,547	696,333	71,214
吾小	1,126,290	964,410	161,880	18.4	40.5	46,380	29,934	16,446
松	2,110,130	1,914,050	196,080	22.0		53,197	45,600	7,597
計	334,680		334,680	13.5		11,659	6,207	5,452
	1,098		1,098			122	9	113
	14,962		14,962	1.44		392	392	
	40,940		40,940	2.2		1,433	1,024	409
	73,243,141	68,904,641	4,338,500	304.0	1,160.0	2,331,426	1,811,715	519,711
	50,050		50,050	1.4	8.0	18,055	770	17,285
	7,051,186	7,022,486	28,700	60.8	80.3	483,360	452,290	31,070
	2,372,000		2,372,000	27.5	99.0	51,168		51,168
	37,513,700	33,494,945	4,018,755	241.7	73.0	1,182,461	869,286	313,175
	17,490,190	15,337,160	2,153,030	209.1	166.3	689,738	425,433	264,305
	31,587,453		31,587,453	237.6	227.0	1,403,304	1,105,230	298,074
	1,036,799		1,036,799	20.8	272.5	88,042	16,380	71,662
合 計	288,646,790	238,618,122	50,028,668	2,684.04	3,589.65	11,187,502.9	8,969,986.7	2,217,516.2

ポンプ所揚水量及電力量最近5年間推移表

年度	揚水量	作業費	揚水量100m ³ 当り作業員	受電量
	m ³	円	円	KWH
33	258,268,809	72,254,634	27.98	9,959,817.2
34	262,752,707	69,665,705	26.62	9,801,494.2
35	274,571,669	73,209,092	26.66	10,549,543.7
36	282,709,165	85,167,314	33.19	10,727,510.84
37	288,646,790	10,335,913	35.80	11,187,502.9



第 3 節 処 理 場

処理作業状況

処理 場名	処理水量	処理水量内訳			シサ量	沈砂量	薬 品 使用量	受 電 量	受 電 量 内 訳	
		簡 易 処理水量	高 級 処理水量	汚泥量					付属ポンプ所 ポンプ運転	処 理 用
	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	kg	KWH	KWH	KWH
芝 浦	216,306,223	30,713,825	184,842,528	749,870	2,614.13	3,387.3	60,530	22,019,960	5,789,018	16,230,942
三河島	91,156,360	2,472,591	88,223,171	460,598	847.9	1,572.6	7,724.8	13,172,876	3,697,302	9,475,574
小 台	7,079,110		7,018,200	60,910	62.36	211.7		3,614,276	779,620	2,834,656
砂 町	70,328,552	2,867,728	66,521,379	939,445	229.5		11,691	15,659,143	3,885,776	11,773,367
合 計	384,870,245	36,054,144	346,605,278	2,210,823	3,753.86	5,171.6	79,945.8	54,466,255	14,151,716	40,314,539

汚泥処理作業状況

処 理 場 名	汚泥処理量	汚泥投入量	消化汚泥量	脱水汚泥量	薬 品 使 用 量		受 電 量
					硝 石 灰	鉄 塩 剤	
	m^3	m^3	m^3	m^3	kg	kg	KWH
芝 浦	749,870	749,870	190,911	12,984.0	572,400	350,704	1,905,479
小 台	44,480	44,480	1,290	345.0	22,270	17,230	178,110
砂 町	967,694	967,694	83,537	17,867.0	653,785	462,350	1,861,202
合 計	1,762,044	1,762,044	275,738	31,196.0	1,248,455	830,284	3,944,791

処理場経常費

過去 5 年間の比較

年 度	処 理 水 量	汚 泥 量	作 業 費	処理水量 100 m^3 当 り 作 業 費
	m^3	m^3	円	円
33	328,051,617	1,396,016	123,832,115	37.75
34	364,175,547	1,373,030	142,172,508	39.04
35	380,583,785	2,043,041	180,781,094	47.50
36	408,748,345	1,924,198	226,507,385	55.41
37	384,870,245	2,210,823	343,951,434	89.36

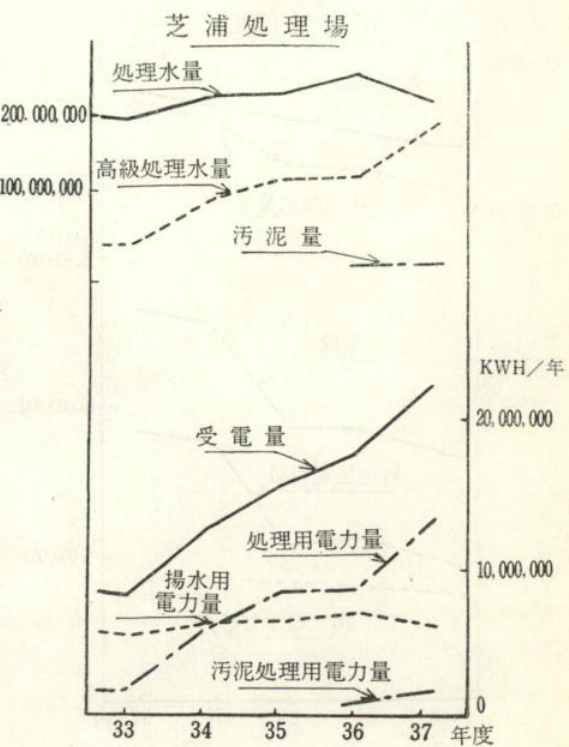
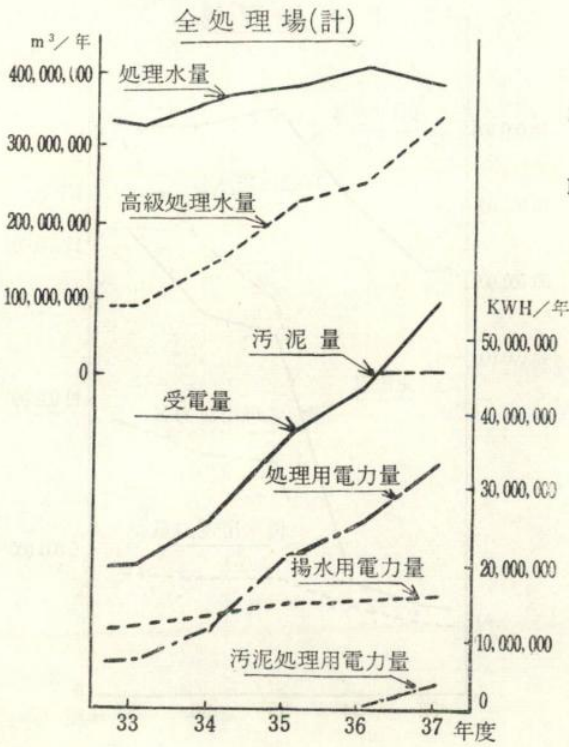
処理水量及電力量の推移（全処理場）

年 度		33	34	35	36	37
種 別						
全 処 理 場	処 理 水 量 (m^3)	328,051,617	364,175,547	380,583,785	408,748,345	384,870,245
	高級処理水量 \times	87,839,148	146,238,657	231,538,421	256,754,105	348,392,282
	汚 泥 量 \times	1,396,016	1,373,030	2,043,041	1,924,198	2,210,823
	受 電 量(KWH)	19,405,942	25,405,727	36,579,165.6	42,920,128.6	54,466,255
	揚水電力量 (\times)	11,283,680	13,046,720	14,400,128	15,086,045	15,578,410
	処理用 $\times \times$	6,981,531	11,245,943	21,268,547	25,153,569	33,131,684
	汚泥処理用 $\times \times$	—	—	—	1,092,631	4,091,879

処理水量及電力量の推移表

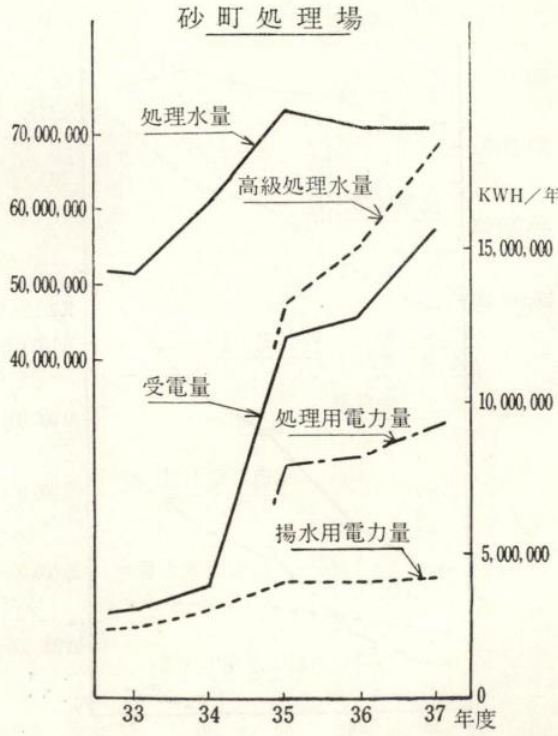
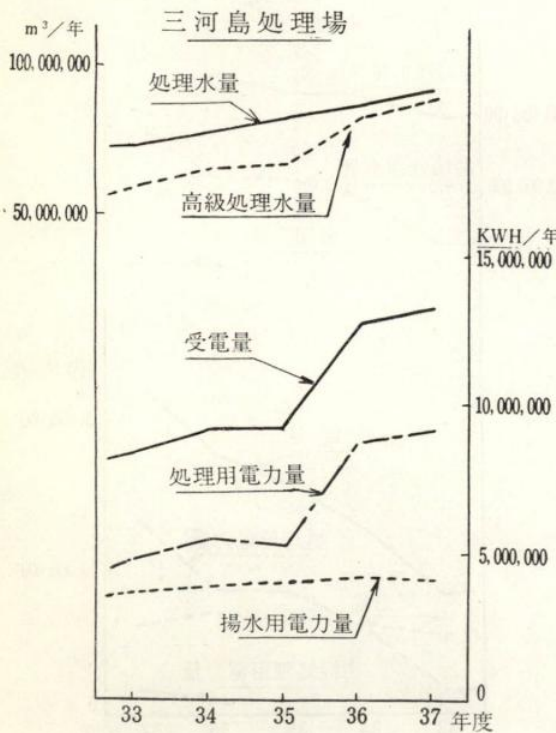
年 度		33	34	35	36	37
芝浦 処 理 場	処 理 水 量 (m ³)	194,207,285	222,069,824	227,840,591	251,813,272	216,306,223
	高級処理水量(%)	29,552,084	83,007,896	117,137,887	119,333,774	185,158,989
	汚 泥 量 (%)	467,480	468,100	478,100	693,850	749,870
	受電量 (KWH)	8,260,250	12,486,828	15,370,960	17,485,720	22,019,960
	揚水量電力量(%)	5,625,155	6,269,630	6,483,500	7,040,871	6,184,463
	処理用 % (%)	2,107,354	5,802,404	8,389,446	8,405,891	13,106,047
	污泥処理用 % (%)	—	—	—	1,092,631	1,905,479

三 河 島 処 理 場	処 理 水 量 (m ³)	73,148,622	76,744,973	81,291,898	86,631,310	91,156,360
	高級処理水量(%)	58,287,064	63,230,761	67,035,999	82,161,864	88,188,830
	汚 泥 量 (%)	276,776	257,630	360,315	436,051	460,598
	受電量 (KWH)	8,249,435	9,153,134	9,113,454	12,729,968.6	13,172,876
	揚水量電力量(%)	3,352,163	3,832,534	3,925,894	4,069,109	4,009,595
	処理用 % (%)	4,713,365	5,308,025	5,105,325	8,652,862	9,059,200
	污泥処理用 % (%)	—	—	—	—	—



処理水量及電力量の推移表

年 度		33	34	35	36	37
小 台 処 理 場	処 理 水 量 (m ³)	—	—	—	—	7,079,110
	高級処理水量(%)	—	—	—	—	7,019,830
	汚 泥 量 (%)	—	—	—	—	60,910
	受電量 (KWH)	—	—	—	—	3,614,276
	揚水量電力量(%)	—	—	—	—	1,250,190
	処理用 〃 (%)	—	—	—	—	1,821,280
	污泥処理用〃(%)	—	—	—	—	290,900
砂 町 処 理 場	処 理 水 量 (m ³)	60,695,710	65,360,750	71,451,296	70,303,763	70,328,552
	高級処理水量(%)	—	—	47,364,535	55,258,467	68,024,633
	汚 泥 量 (%)	651,760	647,300	1,204,626	794,297	939,445
	受電量 (KWH)	2,896,257	3,765,765	12,094,751.6	12,704,440	15,659,143
	揚水量電力量(%)	2,306,362	2,944,556	3,990,734	3,976,065	4,134,162
	処理用 〃 (%)	160,812	135,514	7,773,776	8,094,786	9,145,157
	污泥処理用〃(%)	—	—	—	—	1,895,500



第 4 節 水 質 試 験

(1) 芝 浦 処 理 場

(昭和37年度平均)

試 料 名	生 下 水	生 下 水	沈 澱 下 水	活性汚泥法散気式及シンプレックス式処理水	活性汚泥法高速曝気式処理水
採 取 個 所	沈 砂 池	第 1 沈澱池入口	第 1 沈澱池出口	第 2 沈澱池出口	第 2 沈澱池出口
気 温	18.4	18.4	18.4	18.4	
水 温	17.5	17.6	17.6	18.0	19.4
透 視 度	3.5	3.2	4.3	81.6	57.3
色 相	—	—	—	—	—
臭 気	—	—	—	—	—
P H 値	7.3	7.2	7.1	7.1	7.0
蒸 発 残 留 物	940	1,023	964	888	917
熱 灼 残 留 物	621	664	685	745	732
熱 灼 減 量	319	359	279	143	185
溶 解 性 物 質	729	746	842	880	909
浮 遊 物 質	211	277	122	8	8
溶存酸素 (D.O.)	3.50	1.97	1.79	3.40	2.69
酸素飽和百分率	39.20	21.40	20.0	40.00	38.40
B. O. D.	205.40	228.00	142.50	7.30	7.80
C. O. D. (高温法)	168.40	178.90	115.05	13.90	14.50
総 窒 素	40.12	41.84	34.65	16.51	13.60
アンモニア性窒素	12.67	13.41	12.22	10.79	6.88
アルミノイド窒素	6.71	7.95	5.70	0.59	0.75
亜硝酸性窒素	—	—	—	—	—
硝酸性窒素	—	—	—	—	—
有機性窒素	27.45	28.43	22.43	6.72	6.72
塩 素 イ オ ン	248	272	328	379	388
硫化物(ヨウ素消費量)	32.93	37.58	24.73	5.11	6.62
油 類	16.30	16.60	9.80	4.30	5.40
一 般 細 菌 数	1,019,000	1,032,000	856,000	21,400	18,100
遠 藤 赤 変 菌 数					

(2) 三河島処理場

(昭和37年度平均)

試料名		生水	生水	沈澱下水	活性汚泥法 パドル式 処理水	活性汚泥法 散気式 処理水	散水ろ床法 処理水	河 水
採取箇所	沈砂池	第一沈澱池 入	第一沈澱池 出	第二沈澱池 出	第二沈澱池 出	最終沈澱池 出	荒 川	
気 温	19.1	19.1	19.1	19.1	19.1	19.1	19.1	19.1
水 温	17.5	17.6	17.8	18.0	18.6	17.4	17.7	
透 視 度	3.3	2.7	3.9	32.6	25.3	9.5	7.9	
色 相	—	—	—	—	—	—	—	
臭 気	—	—	—	—	—	—	—	
P H 値	6.8	6.8	6.8	7.1	7.0	7.0	6.55	
蒸 発 残 留 物	1,172	1,248	1,345	1,104	854	1,344	3,742	
熱 灼 残 留 物	657	688	867	813	610	934	3,003	
熱 灼 減 量	515	560	478	291	244	410	739	
溶 解 性 物 質	903	932	1,172	1,084	831	1,276	3,642	
浮 遊 物 質	269	316	173	20	23	68	100	
熔 存 酸素 (D.O.)	3.97	3.32	2.37	2.35	3.45	2.48	1.37	
酸 素 飽 和 百 分 率	38.87	31.85	22.20	25.10	35.78	24.20	13.89	
B. O. D.	204.50	232.70	166.80	9.70	15.00	19.40	61.30	
C. O. D. (高温法)	169.50	189.60	138.90	19.50	27.80	23.90	59.50	
総 窒 素	35.95	38.15	35.37	17.90	16.31	22.10	9.57	
アンモニア性窒素	15.40	16.70	17.90	14.40	11.96	14.00	4.80	
アルブミノイド窒素	6.40	7.00	5.70	1.10	1.14	2.30	1.40	
亜硝酸性窒素	0.15	0.15	0.25	0.15	0.26	0.40	0.03	
硝酸性窒素	1.10	1.00	0.90	0.35	0.43	1.80	0.18	
有機性窒素	19.30	20.30	16.40	3.00	3.66	5.90	4.56	
塩 素 イ オ ン	306	317	460	449	321	565	1,758	
硫化物(ヨウ素消費量)	26.50	36.90	27.40	3.20	3.40	11.00	15.80	
油 類	13.20	16.00	11.70	3.00	2.60	4.50	6.60	
一 般 細 菌 数	3,507,000	3,989,000	4,372,000	72,400	45,000	3,968,000	6,451,000	
遠 藤 変 菌 数	89,600	70,900	103,300	815	1,430	17,700	9,000	

(3) 砂町処理場

(昭和37年度平均)

試料名	生下水	生下水	沈澱下水	活性汚泥法 散気式処理水
採取箇所	マンホール	第一沈澱池入口	第一沈澱池出口	第二沈澱池出口
水温	17.5	17.5	17.5	17.5
水温	17.2	17.4	17.5	17.9
透視度	4.7	4.3	5.2	52.5
色相	—	—	—	—
臭気	—	—	—	—
P H 値	7.1	7.1	7.1	7.2
蒸発残留物	2,583	3,237	2,259	1,883
熱灼残留物	1,856	2,119	1,693	1,437
熱灼減量	727	1,118	566	446
溶解性物質	2,273	2,195	2,091	1,866
浮遊物質	310	1,042	168	17
溶存酸素(D.O.)	2.84	2.15	2.90	4.61
酸素飽和百分率	26.58	20.62	28.43	40.99
B. O. D.	202.60	214.56	106.07	15.96
C. O. D. (高温法)	135.50	185.44	75.25	18.56
総窒素	32.20	32.58	19.89	11.46
アンモニア性窒素	14.30	14.66	10.26	8.14
アルブミノイド窒素	5.97	7.22	3.68	1.28
亜硝酸性窒素	0.18	0.24	0.15	0.45
硝酸性窒素	0.28	0.28	0.27	0.71
有機性窒素	17.44	—	—	2.16
塩素イオン	1,092	1,007	928	897
硫化物(ヨウ素消費量)	42.76	62.52	34.38	6.28
油類	8.10	1.18	5.10	2.90
一般細菌数	1,975,500	2,104,500	1,699,000	76,850
遠藤赤変菌数	175,350	150,550	188,000	—

(4) 小 台 処 理 場

(昭和37年度平均)

試料名	生下水	沈殿下水	活性汚泥法 散気式処理水	河水
採取箇所	前曝気槽入口	第一沈殿池口	第二沈殿池出口	荒川
気温	17.6	17.6	17.6	17.6
水温	17.4	17.5	17.4	16.2
透明度	3.5	6.8	60.9	10.4
色相	—	—	—	—
臭気	—	—	—	—
P H 値	6.7	6.9	7.2	6.6
蒸発残留物	1,056	643	480	2,470
熱灼残留物	613	411	329	1,881
熱灼減量	443	232	151	589
溶解性物質	568	517	453	2,371
浮遊物質	488	126	27	99
溶存酸素 (D.O.)	3.62	4.26	7.82	1.33
酸素飽和百分率	35.50	41.12	79.90	13.76
B. O. D.	133.90	67.40	5.00	42.03
C. O. D. (高温法)	208.30	80.50	18.40	57.60
総窒素	13.24	7.28	4.95	7.73
アンモニア性窒素	4.20	3.01	1.83	3.38
アルブミノイド窒素	3.80	1.33	0.42	1.03
亜硝酸性窒素	0.06	0.05	0.03	0.01
硝酸性窒素	0.18	0.13	1.13	0.14
有機性窒素	8.80	4.12	1.94	4.19
塩素イオン	120	118	100	1,002
硫化物 (ヨウ素消費量)	25.40	15.49	5.30	16.35
油類	25.50	13.16	8.60	8.70
一般細菌数	—	—	—	—

註) 昭和37年7月～昭和38年3月の平均値

第 5 節 降 水 量

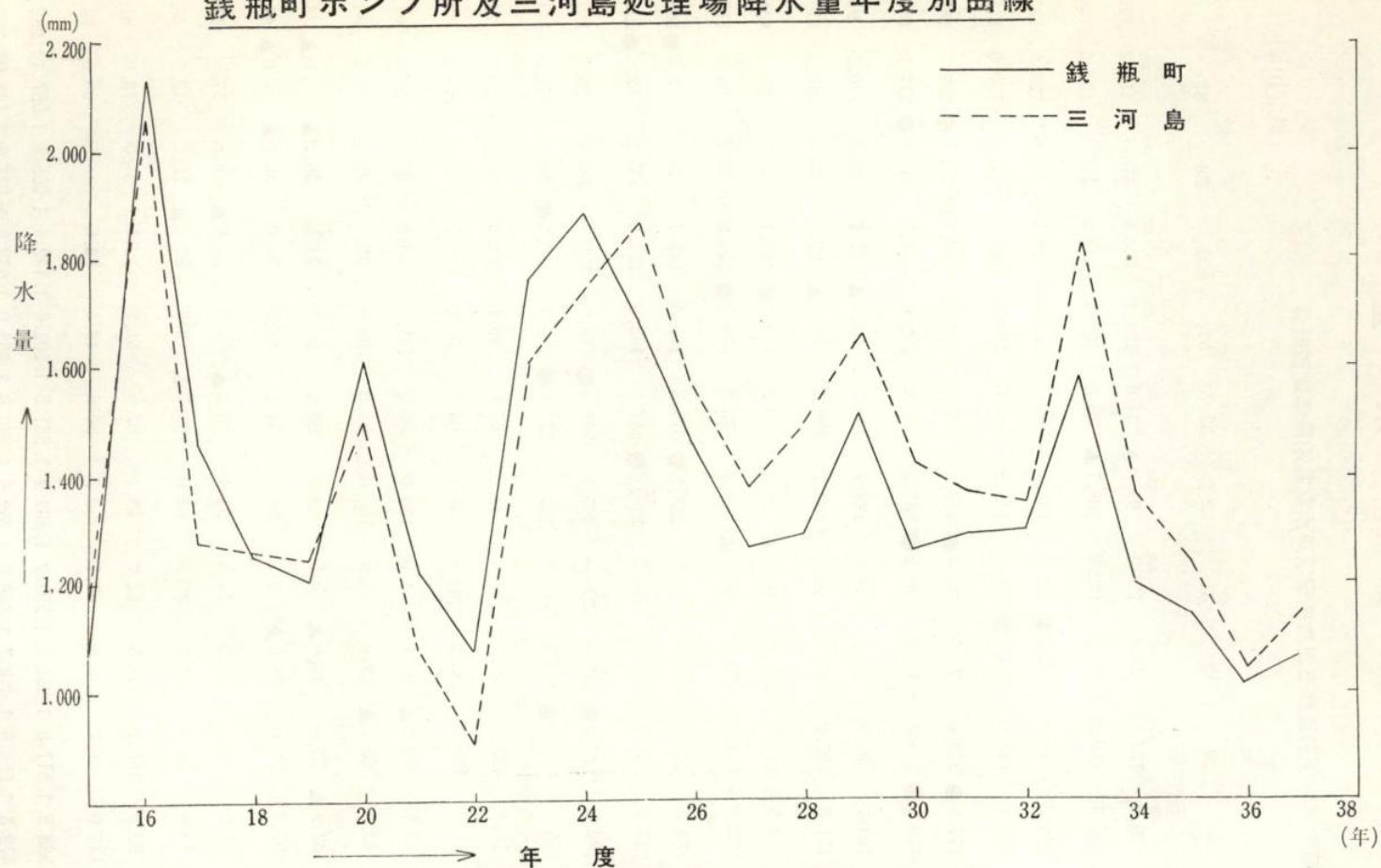
(1) 銭瓶町ポンプ所及び三河島処理場降水量月別累年比較概要

(最近10年間)

年度 月別 場所	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	10カ年 平 均
4月 { 銭 瓶	39.6	137.4	75.6	116.1	99.8	▲ 24.6	124.1	143.9	175.7	113.2	105.00
三河島	44.4	170.4	77.8	122.8	108.7	▲ 26.8	135.4	155.9	148.1	106.5	109.68
5月 { 同	140.4	111.6	131.7	● 279.6	133.1	65.0	162.0	99.9	42.6	193.5	135.94
同	152.9	125.0	144.7	● 306.4	145.9	69.5	186.5	112.2	47.8	190.0	148.09
6月 { 同	177.8	● 253.6	71.5	95.4	● 274.1	55.0	95.6	69.5	● 271.1	● 209.5	157.31
同	179.3	● 275.2	62.6	96.2	● 287.3	56.2	126.6	62.3	272.8	● 217.0	163.55
7月 { 同	164.9	92.8	55.2	78.5	128.9	168.3	54.1	▲ 27.2	25.8	140.5	93.62
同	171.9	125.0	68.5	89.0	108.7	226.1	66.0	▲ 29.3	29.5	188.5	110.25
8月 { 同	192.3	111.3	178.0	96.4	▲ 30.3	69.2	113.2	● 196.1	23.7	33.0	104.35
同	232.8	115.3	178.8	91.2	▲ 34.5	72.8	135.0	● 226.8	24.1	64.0	117.53
9月 { 同	● 206.8	222.4	156.4	169.1	215.8	● 574.3	139.2	143.7	28.1	3.7	● 185.95
同	● 245.4	234.3	183.1	176.2	214.1	● 687.8	163.8	135.6	35.2	12.0	● 208.75
10月 { 同	128.7	117.9	● 252.4	259.3	105.3	286.3	● 176.5	150.5	263.7	95.7	183.63
同	135.4	147.8	● 316.3	267.9	117.1	267.0	● 199.4	182.3	● 302.6	101.0	203.68
11月 { 同	▲ 13.2	122.2	86.6	56.4	43.3	65.0	99.1	102.9	43.8	128.2	76.07
同	▲ 20.5	133.0	102.3	65.4	57.1	82.8	97.8	110.2	47.0	135.0	85.11
12月 { 同	35.7	73.2	▲ 20.1	1.9	109.9	86.3	131.2	63.2	32.4	58.3	61.22
同	43.1	68.2	▲ 22.9	2.9	109.6	93.3	139.0	72.7	33.0	55.5	64.02
1月 { 同	62.9	▲ 37.6	74.9	▲ 0.5	59.2	30.3	50.7	31.1	36.2	▲ 0	▲ 38.34
同	91.2	▲ 38.0	88.0	▲ 0.3	56.8	54.0	49.5	30.0	33.0	▲ 0	▲ 44.08
2月 { 同	35.9	71.4	35.8	74.3	54.4	89.3	▲ 5.2	34.9	▲ 8.8	17.9	42.79
同	43.8	74.2	44.9	80.8	62.0	107.7	▲ 3.6	37.7	▲ 12.0	13.5	48.02
3月 { 同	90.6	166.1	118.5	62.7	48.1	67.9	51.7	79.5	54.0	73.9	81.30
同	118.6	149.2	128.8	67.7	50.7	86.6	49.4	83.6	48.5	65.0	84.81
合計 { 同	1,288.8	1,517.5	1,256.7	1,290.2	1,302.2	1,581.5	1,202.6	1,142.4	1,005.9	1,067.4	1,265.52
同	1,479.3	1,655.6	1,418.7	1,366.8	1,352.5	1,830.6	1,352.0	1,238.6	1,033.6	1,148.0	1,387.57

(注) ●……最大降水量、 ▲……最小降水量

銭瓶町ポンプ所及三河島処理場降水量年度別曲線



銭瓶町および三河島処理場降水量年度別表

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
銭瓶町	1,092.0	2,124.0	1,456.3	1,250.4	1,204.6	1,605.8	1,220.0	1,072.2	1,752.0	1,879.7	1,680.4	1,462.2	1,263.4	1,288.8	1,517.5	1,256.7	1,290.2	1,302.2	1,581.5	1,202.6	1,142.4	1,005.9	1,067.4
三河島	1,145.6	2,061.1	1,277.1	1,246.0	1,246.9	1,499.6	1,074.6	912.7	1,604.9	1,738.5	1,860.5	1,554.0	1,373.6	1,479.3	1,655.6	1,418.7	1,366.8	1,352.5	1,830.6	1,352.0	1,238.6	1,033.6	1,148.0

(2) 同降水量日別累年比較概要

(最近10年間)

降水量	年 度		28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	10カ年 平 均
	場所												
	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
10 以下	錢 河 瓶	島	74 91	68 83	70 74	60 67	81 91	97 93	61 75	73 68	62 62	60 54	70.6 75.8
10 — 20	〃	〃	23 24	31 26	18 22	21 22	14 18	20 24	19 21	24 24	20 20	16 22	20.6 22.3
20 — 30	〃	〃	15 14	9 12	11 11	11 14	16 13	8 7	13 11	8 10	4 8	7 5	10.2 10.5
30 — 40	〃	〃	3 4	6 6	5 5	5 2	3 4	4 6	6 6	4 5	4 2	4 6	4.4 4.6
40 — 50	〃	〃	2 5	2 1	2 2	3 5	1 2	2 1	— 2	— 1	2 3	6 3	2.0 2.5
50 — 60	〃	〃	1 2	1 —	— 1	1 1	2 1	— 2	1 1	— 1	— 1	— 2	0.6 1.2
60 — 70	〃	〃	1 —	1 4	— 1	1 1	— —	— —	— 1	2 —	1 —	— —	0.6 0.7
70 — 80	〃	〃	— —	2 —	2 —	1 —	1 1	— —	1 —	1 1	— —	— —	0.8 0.2
80 — 90	〃	〃	— —	— 1	— —	— 1	— —	1 1	1 2	— —	— —	1 1	0.3 0.6
90 — 100	〃	〃	— —	— —	— —	— —	— —	1 —	— —	— 1	— —	— —	0.1 0.1
100 以上	〃	〃	— —	— —	— 1	— —	1 1	— 2	— —	— —	1 1	— —	0.3 0.5
計	〃	〃	119 140	120 133	109 118	103 113	119 131	134 136	102 119	112 111	94 97	94 93	110.6 119.1
最 大	〃	〃	66.7 〃 53.0	74.0 〃 83.6	82.4 〃 104.6	74.4 〃 82.2	103.0 〃 120.0	343.2 〃 411.0	81.8 〃 88.1	78.5 〃 95.3	103.6 〃 126.5	81.2 〃 81.5	

(3) 同最大降雨強度日別累年比較概要

(最近10年間)

最大 降雨強度	年 度		28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	10カ年 平 均
	場所												
	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
10 以下	錢 河 瓶	島	88 133	98 128	96 110	93 133	107 124	127 124	92 108	101 102	86 89	86 84	97.4 113.5
10 — 20	〃	〃	8 4	6 6	7 7	7 8	9 5	4 7	7 8	10 6	6 6	6 7	7.0 6.4
20 — 30	〃	〃	1 2	2 —	2 2	1 2	2 2	1 2	2 2	— 1	1 1	1 1	1.3 1.5
30 — 40	〃	〃	— —	— 1	2 —	— —	1 —	— 1	1 1	— 1	1 1	1 —	0.6 0.5
40 — 50	〃	〃	— —	— —	— —	— —	— —	1 —	— —	— —	— —	— 1	0.1 0.1
50 — 60	〃	〃	— —	— —	— —	— —	— —	— 1	— —	1 1	— —	— —	0.1 0.2
60 以上	〃	〃	— —	— —	— —	— —	— —	1 1	— —	— —	— —	— —	0.1 0.1
最 大	〃	〃	22.2 〃 26.0	21.2 〃 37.0	29.5 〃 25.4	26.6 〃 24.0	33.5 〃 27.6	61.5 〃 66.8	33.0 〃 36.7	58.0 〃 52.8	38.3 〃 37.0	39.8 〃 42.0	

第 6 節 汚 泥 処 理

(1) 概 要

処理場において、汚水処理過程に発生する汚泥の処分方法としては、戦前まで海中投棄によつていたが、戦時のため汚泥運搬船の運行は不能となり、他方資源活用の見地から汚泥の肥料化が得策であるため処理場内に汚泥乾燥床を設け、天日乾燥のうえ売却していた。汚泥処理工場の完成後は、機械力を利用して脱水乾燥し大半は肥料として販売している。

沈澱汚泥の大部分は全購連及び東邦有機肥料株式会社へ売却、また三河島処理場の汚泥消化槽から排出する消化汚泥も同様日本有機肥料株式会社に売却していた。

また、砂町し尿消化槽から排出するし尿消化汚泥は真空脱水機または乾燥床で脱水乾燥し、清掃局において売却している。

(2) 汚 泥 処 分 状 況

年 度	沈 澱 汚 泥 m³						消 化 汚 泥 m³						計		売 却 金 額 円	
	芝 浦		三 河 島		砂 町		芝 浦		三 河 島		砂 町					
	乾燥量	売却量	乾燥量	売却量	乾燥量	売却量	乾燥量	売却量	乾燥量	売却量	乾燥量	売却量	乾燥量	売却量		
33	1,737.0	1,731.0	855.3	314.1	1,973.0	1,800.0	—	—	222.1	137.6	—	—	4,787.4	3,982.7	238,962	
34	3,125.0	1,881.33	106.3	—	0	1,642.0	1,544.0	—	—	226.7	131.7	—	—	5,099.7	3,557.03	213,421
35	2,520.0	1,744.09	—	—	2,305.0	1,393.0	—	—	198.38	119.38	—	—	5,023.38	3,256.47	195,388	
36	584.0	404.4	—	—	1,602.5	1,516.5	1,766.5	—	158.0	120.0	—	—	4,111.00	2,040.9	122,454	
37	—	—	—	—	220.0	220.0	12,984.0	1,780	129.0	129.0	17.742	—	31,075	2,129.0	74,340	

し 尿 消 化 汚 泥

種 別 \ 年 度		33	34	35	36	37
砂 町 (消 化 槽)	乾 燥 量	13,015.0	15,479.0	20,057.0	21,601.5	21,680.5
	売 却 量	13,015.0	15,479.0	20,057.0	21,601.5	21,680.5

第 7 節 処 理 水 の 利 用

処理水は、従来そのまま河海に放流していたが、これら未利用資源を活用して事業運営の効果をあげるため、処理水の工業用水化を実施している。

すなわち、三河島処理場においては、活性汚泥法による処理下水を、急速ろ過施設により更にろ過して供給するもので、昭和30年2月から千住製紙工場、さらに36年6月には荒川工業用水利用組合に供給契約を結び送水中であるが、逐次拡大する計画である。

契約料金は次のとおりである。

供 給 先	契 約 料 金	契 約 期 間
千 住 製 紙	基本料金 1 カ月使用水量300,000 m^3 まで 1 m^3 につき 2 円10銭 超過料金 1 カ月使用水量300,000 m^3 を超えるもの 1 m^3 につき 1 円80銭	37. 4. 1 38. 3. 31
荒川工業用水利用組合	最低責任使用料 1 か月35,000 m^3 1 カ月使用料 56,000 m^3 未満 1 m^3 につき 5 円80銭、56,000 m^3 以上、 70,000 m^3 未満 1 m^3 につき 5 円、70,000 m^3 以上84,000 m^3 未満 1 m^3 につ き 4 円40銭、84,000 m^3 以上 1 m^3 につき 4 円	37. 4. 1 38. 3. 31

なお38年度においても上記の契約で利用されている。

三河島処理場急速ろ過施設

ろ 過 池 6 池その他一式	当初施設	3 池
	昭28—12 起工	昭29—8 竣工
	工 事 費	25,462,171円
	増設施設	3 池
	昭34—6 起工	昭34—11 竣工
	工 事 費	25,121,725円

送 水 量 と 収 入 金 額

年 度	送 水 量 (m^3)	収 入 金 額 (円)
29 年 度	472,650	936,476
30 ♫	3,879,140	7,582,452
31 ♫	4,399,090	8,513,362
32 ♫	4,815,270	9,267,486
33 ♫	5,320,460	10,176,828
34 ♫	5,948,860	11,307,948
35 ♫	6,642,880	13,037,184
36 ♫	7,392,020	15,778,519
37 年 度	7,761,260	16,839,076

第 8 節 し 尿 消 化 槽

昭和37年作業実績

し 尿 量	篩 渣 量	消化槽投入量	廃 液 量	消化汚泥量	乾 燥 量	ガス発生量	重油消費量	電 力 量
817,083 m^3	6,245 m^3	810,838 m^3	1,099,475 m^3	153,687 m^3	21,680.5 m^3	5,001,948 m^3	894,256 ℓ	3,237,977 KWH

第 8 章 工事施行状況

第 1 節 拡張工事

総括表

種 別		施 行 内 容	
施設拡張 緑越 466,238,032円	管渠敷設 4,967,597,466円 緑越 404,420,558円	幹線延長	8,205.28m
		枝線	74,431.00m
		側溝	23,037.72m
		設計委託	5件
		試掘	7件 1,917カ所
	ポンプ所 1,157,635,227円 緑越 52,511,823円	構築物	日本堤、宮城ポンプ所流入渠 大島ポンプ所放流渠、吐口
		構築物及び建物基礎	尾久ポンプ所上家基礎
		建物	藍染、大島、日本堤ポンプ所上家新築
		機械装置	隅田ポンプ所 雨水ポンプ1台汚水ポンプ1台 雨水用阻水扉4面、汚水用阻水扉1面、起重機1基
			千住ポンプ所 雨水ポンプ3台汚水ポンプ1台 雨水用阻水扉4面汚水用阻水扉1面、起重機1基
			日本堤ポンプ所 ろ格機4台 藍染ポンプ所 雨水用阻水扉4面 汚水用阻水扉1面
		電気設備	その他 千住ポンプ所 配電盤 隅田ポンプ所 高圧受電装置 大島ポンプ所 仮受電設備
		設計委託・その他	14件
	処理場 1,712,951,888円 緑越 9,305,651円	構築物	芝浦処理場 高速曝気沈澱槽2槽、沈砂池2池、量水槽 落合処理場 送泥管、導水渠、空気管、第二沈澱池5池 森ヶ崎西処理場 本館下部躯体
		砂町処理場	消化槽
		小台処理場	前曝気槽、第一沈澱池
		建物	小台処理場 公舎新築
		ポンプ	芝浦処理場 薬液ポンプ一式、ろ液ポンプ3台 三河島処理場 過巻ポンプ3台、自吸水ポンプ1台

種	別	施 行 内 容
施設拡張	処 理 場	砂 町 処 理 場 防泡ポンプ4台, 真空ポンプ2台 機械設備 芝 浦 処 理 場 阻水扉2面, 揚泥機2組 多段ターボブロワー, 電動機, 採泥機 散気板 砂 町 処 理 場 ボイラー1缶, 熱交換器4基 汚泥採集機, 多段ターボブロワー 散気板 落 合 処 理 場 散気設備, モノレール 電気設備 芝 浦 処 理 場 配電板 小 台 処 理 場 受電線路 砂 町 処 理 場 受電線路 付帯工事 5件 設計監理委託 4件
	用 地 買 収 1,065,307,323円	管渠用地 5件 ポンプ所用地 1件 処理場用地 2件
	そ の 他 695,210,377円	事務費, 補償費, 調査費, 乗用車, 鋼矢板 その他
失 業 対 策 管 渠 敷 設 81,487,275円		枝線延長 3,852.75m 就労人員延 45,331人
特 別 失 業 対 策 管 渠 敷 設 290,430,429円		枝線延長 16,780.82m 就労人員延 67,787人
整備拡充 696,997,637円 繰 越 48,912,879円	管 渠 繰 越 48,912,879円	幹線延長 872.74m 枝線延長 228.79m
	処 理 場 233,488,515円	三河島処理場 送泥管改造 散水ろ床取壊し 設計委託

(1) 管 渠 敷 設

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 手 功	備 考
幹 線	砂幹線その10工事	幹 296.30 ^m	139,350,778 ^円	37. 5. 21 38. 2. 16	
	渋谷川幹線その15工事	幹 216.63 枝 50.50	92,836,868	37. 4. 2 37. 11. 6	
	岩淵幹線その8工事	幹 352.85 枝 147.85	96,150,136	37. 4. 2 繰越施行	繰越額 44,601,316円
	〃 その9工事	幹 515.70 枝 18.00	154,052,043	37. 4. 2 38. 3. 29	
	石神井川下幹線その9工事	幹 552.00 枝 8.00	104,151,945	37. 4. 2 38. 3. 30	
	宇田川幹線その4工事	幹 248.70	89,487,433	37. 4. 2 38. 3. 30	
	千駄ヶ谷幹線その2工事	幹 260.30 枝 40.20	99,984,852	37. 4. 2 38. 3. 29	
	桃園川幹線その9工事	幹 241.17	32,538,947	37. 4. 2 37. 8. 24	
	戸塚西幹線その2工事	幹 606.62	43,352,800	37. 5. 1 37. 10. 24	
	桃園川幹線その7工事	幹 402.00	79,531,706	37. 5. 1 38. 2. 13	
	〃 その8工事	幹 332.32	40,602,058	37. 5. 1 38. 2. 25	
	妙正寺川幹線その1工事	幹 275.40 枝 249.90	59,336,337	37. 5. 21 38. 1. 14	
	品川幹線その5工事	幹 29.70	6,996,332	37. 6. 7 37. 8. 3	
	戸塚西幹線その3工事	幹 547.60 枝 5.00	64,736,221	37. 6. 11 38. 1. 14	
	千駄ヶ谷幹線その3工事	幹 220.30 枝 10.00	68,772,796	37. 6. 18 38. 2. 26	
	〃 その4工事	幹 220.25 枝 21.35	67,504,595	37. 6. 18 38. 3. 7	
	砂幹線その11工事	幹 207.20	94,969,519	37. 6. 18 38. 2. 14	
	谷端川幹線その1工事	幹 500.50	63,602,558	37. 7. 24 38. 3. 23	
	千駄ヶ谷幹線その5工事	幹 190.00 枝 10.00	48,060,877	37. 8. 21 38. 3. 27	
	神田川幹線その11工事	幹 159.50 枝 110.10	46,754,263	37. 10. 6 繰越施行	繰越額 1,135,737円
	〃 その10工事	幹 285.84 枝 46.10	71,273,569	37. 10. 6 38. 3. 30	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 竣 手 功	備 考
幹 線	宇田川幹線その5工事	幹 175.95 枝 86.00	23,699,494	37. 10. 17 38. 3. 1	
	神田川幹線その12工事	幹 127.00 枝 139.80	25,443,462	38. 1. 5 38. 3. 30	
	戸塚西幹線その4工事	幹 158.71 枝 17.95	28,531,452	38. 1. 10 繰越施行	繰越額 11,568,548円
	砂幹線その12工事	幹 30.60	18,801,509	38. 1. 7 繰越施行	繰越額 14,848,491円
	岩淵幹線その8工事障害送水管移転工事	(15.00)	2,180,000	38. 1. 21 38. 3. 30	
	尾久幹線その6工事	幹 62.30	13,240,702	38. 1. 29 繰越施行	繰越額 14,159,298円
	豊石橋護岸復旧工事施工委託	(11.00)	3,667,000	38. 3. 30	北区役所へ委託
	王子幹線工事	幹 514.30 枝 137.05	67,743,509	36. 7. 12 37. 10. 31	36年度より継続施行
	渋谷川幹線その12工事	幹 141.69	33,565,458	36. 11. 6 37. 6. 30	〃
	千駄ヶ谷幹線その1工事	幹 107.64 枝 12.00	34,927,420	36. 10. 6 37. 6. 30	〃
	渋谷川幹線その13工事	幹 157.41 枝 10.40	41,880,373	37. 1. 20 37. 7. 10	〃
	岩淵幹線その7工事		3,887,996	37. 9. 7	36年度より直営分のみ継続施行
	石神井川下幹線その8工事	幹 68.80	10,889,908	37. 4. 2 37. 8. 15	36年度より継続施行
枝 線	江東区大島町6丁目付近枝線その1工事	223.28	83,431,275	37. 4. 2 38. 2. 28	
	墨田区吾嬬町東3,5丁目付近枝線工事	896.85	124,407,044	37. 4. 2 38. 1. 11	
	渋谷区元広尾町, 豊分町付近枝線工事	1,503.24	20,043,901	37. 4. 2 37. 8. 20	
	中野区城山町付近枝線その3工事	1,210.93	15,968,365	37. 4. 2 37. 7. 14	
	豊島区要町2,3丁目付近枝線その2工事	1,504.37	48,113,019	37. 4. 2 37. 10. 8	
	渋谷区代々木富ヶ谷, 代々木深町付近迂回路舗装工事	(1,093㎡)	3,650,000	37. 4. 2 37. 4. 30	
	渋谷区松濤町, 神山町付近枝線工事	1,036.60	26,910,598	37. 4. 2 37. 9. 21	
	北区滝野川1丁目, 西ヶ原2,3丁目付近枝線工事	1,393.30	19,556,404	37. 4. 2 37. 8. 6	
	渋谷区中通3丁目付近污水管取付工事	80.10	7,647,424	37. 6. 18 37. 8. 25	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 手 功	備 考
枝 線	中野区橋場町本町通 5 丁目付近枝線工事	1,227.74 ^m	15,984,609 ^円	37. 5. 1 37. 8. 28	
	渋谷区栄通 1,2 丁目, 丹山町付近枝線工事	1,161.13	39,654,883	37. 5. 10 37. 11. 30	
	板橋区大山町付近枝線工事	535.80	14,007,892	37. 5. 18 37. 9. 7	
	渋谷区恵比寿東 2 丁目, 田毎町付近枝線工事	454.05	67,470,080	37. 5. 10 37. 12. 7	
	渋谷区豊沢町, 新橋町付近枝線工事	2,276.45	34,599,074	37. 6. 4 37. 11. 20	
	足立区宮城町付近枝線その 2 工事	1,202.50	54,704,965	37. 6. 13 38. 2. 5	
	北区赤羽 2 丁目付近枝線工事施工委託	71.45	9,986,257	37. 4. 30 38. 3. 30	国鉄へ委託
	目黒区下目黒 3 丁目付近枝線工事	315.10	45,454,706	37. 6. 20 38. 3. 20	
	渋谷区代々木深町付近 〃	532.39	88,185,072	37. 6. 18 38. 3. 23	
	江戸川区平井 1 丁目, 逆井 2 丁目付近 〃	283.60	108,630,051	37. 6. 18 38. 3. 19	
	中野区神明町, 栄町通 2 丁目付近 〃	1,128.13	25,177,957	37. 7. 4 38. 2. 7	
	渋谷区千駄ヶ谷 3 丁目付近 〃	859.80	10,604,502	37. 7. 6 37. 10. 26	
	千代田区麴町 5 丁目付近 〃	67.30	1,047,086	37. 7. 5 37. 8. 4	
	千代田区永田町 1 丁目付近 〃	183.50	3,781,242	37. 7. 5 37. 8. 4	
	江東区南砂町 1,2 丁目付近枝線工事に伴う架空線の撤去並びに復旧工事施工委託		266,800	37. 11. 15 38. 1. 21	汽車製造株式会社へ委託
	江東区南砂町 1,2 丁目付近枝線工事施工委託	18.20	4,409,915	37. 7. 2 38. 3. 30	国鉄へ委託
	江東区南砂町 5,6 丁目付近道路舗装工事	(9,760 ^{m²})	4,350,000	37. 7. 30 37. 10. 15	
	北区西ヶ原 1,2 丁目付近枝線工事	1,562.74	27,978,622	37. 8. 1 38. 1. 22	
	品川区中延 4.5 丁目付近 〃	280.49	35,990,498	37. 8. 10 38. 1. 12	
	渋谷区緑岡町, 羽沢町付近枝線その 2 工事	929.50	39,551,568	37. 8. 2 38. 2. 11	
	新宿区柏木 3,4 丁目付近枝線工事	1,528.17	70,734,624	37. 8. 10 38. 3. 15	
	杉並区阿佐ヶ谷 1,2 丁目付近 〃	229.11	34,048,170	37. 8. 30 38. 3. 30	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 手 功	備 考
枝 線	渋谷区千駄ヶ谷1丁目付近 枝線工事	1,401.50 ^m	34,602,083 ^円	37. 8. 20 38. 2. 19	
	杉並区和田本町付近枝線その2工事	193.70	27,486,403	37. 8. 17 38. 3. 23	
	江東区木場3,4丁目, 千石町1丁目 付近枝線工事	1,977.38	46,743,458	37. 8. 15 38. 3. 6	
	渋谷区代々木山谷町, 深町付近 〃	371.20	52,625,040	37. 8. 21 38. 3. 23	
	豊島区目白4丁目, 池袋3丁目付近 〃	1,581.55	24,718,330	37. 8. 15 38. 3. 26	
	渋谷区原宿1丁目 〃	150.10	4,541,421	37. 8. 28 37. 10. 26	
	墨田区吾嬬西1丁目 〃	150.35	3,209,193	37. 8. 22 37. 10. 10	
	北区豊島1丁目 〃	7.15	4,419,081	37. 8. 30 37. 11. 20	
	板橋区中丸町 〃	214.50	35,351,257	37. 9. 24 38. 2. 25	
	渋谷区千駄ヶ谷3丁目付近枝線その 2工事	419.80	61,746,599	37. 8. 25 38. 3. 8	
	北区滝野川6丁目付近枝線工事	1,246.36	22,552,532	37. 9. 6 37. 12. 25	
	台東区上野公園8番地付近 枝線工事	310.80	4,774,427	37. 9. 4 37. 10. 31	
	北区中十条2,3丁目付近 〃	1,625.50	32,114,802	37. 9. 13 38. 3. 20	
	北区赤羽町1,2丁目付近 〃	455.53	56,231,242	37. 9. 24 38. 3. 20	
	足立区千住緑町2,3丁目, 千住河原町 付近 〃	986.64	16,282,312	37. 9. 11 38. 1. 12	
	江東区南砂町1,8丁目付近 〃	455.22	50,924,738	37. 9. 26 繰越施行	繰越額 26,890,262円
	豊島区雑司ヶ谷1丁目付近 枝線その2工事	640.80	6,187,512	37. 9. 11 37. 11. 14	
	渋谷区千駄ヶ谷2丁目付近 枝線工事	835.49	63,821,424	37. 9. 26 38. 3. 28	
	豊島区高松町1丁目付近 〃	1,456.96	36,210,607	37. 9. 13 38. 3. 12	
	港区三田綱町, 白金三光町付近 〃	1,621.66	21,751,296	37. 9. 25 38. 2. 4	
	大田区市野倉町新井宿7丁目付近 〃	297.00	37,018,523	37. 9. 25 38. 3. 22	
	荒川区南千住町8,10丁目付近 〃	1,139.79	27,646,861	37. 10. 12 38. 3. 6	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 手 功	備 考
枝 線	渋谷区代々木山谷町付近 枝線工事	361.40 ^m	41,762,442 ^円	37. 10. 5 38. 3. 30	
	渋谷区稲田3丁目神宮通2丁目付近 〃	1,273.10	24,909,181	37. 10. 5 38. 3. 18	
	新宿区下落合2,3丁目付近 〃	1,246.58	44,872,589	37. 10. 3 38. 3. 30	
	荒川区日暮里4丁目付近 〃	58.00	8,596,196	37. 11. 9 38. 1. 31	
	墨田区隅田町1丁目付近枝線その3 工事	124.43	47,105,533	37. 10. 6 38. 3. 30	
	墨田区吾嬬町東7,8丁目付近枝線工 事	395.00	41,878,560	37. 10. 17 38. 3. 13	
	渋谷区代々木富ヶ谷町付近 枝線工事	1,418.35	27,301,904	37. 10. 17 38. 3. 30	
	渋谷区恵比寿西1,2丁目付近 〃	1,130.61	18,525,827	37. 10. 18 38. 2. 20	
	墨田区横網町2番地 〃	101.60	1,708,125	37. 10. 15 37. 12. 7	
	杉並区和田本町付近枝線その3工事	448.14	13,931,139	37. 10. 16 38. 2. 23	
	中野区野方町2丁目付近枝線工事	731.15	42,945,563	37. 10. 23 38. 3. 15	
	渋谷区松濤町付近 枝線工事	1,454.75	21,176,064	37. 10. 15 38. 2. 2	
	渋谷区鶯谷町八幡通2丁目付近 〃	376.70	39,497,493	37. 11. 5 繰越施行	繰越額 14,983,709円
	渋谷区恵比寿東2丁目付近 〃	546.05	60,506,537	37. 10. 23 38. 3. 30	
	中野区川添町付近 〃	307.60	18,933,919	37. 11. 1 38. 2. 12	
	足立区宮城町付近枝線その3工事	364.16	29,698,224	37. 11. 8 38. 3. 30	
	中野区小滝町付近枝線工事	581.45	28,249,179	37. 11. 8 38. 3. 6	
	渋谷区青葉町稲田2丁目付近 枝線工事	768.67	23,344,686	37. 11. 12 38. 3. 2	
	渋谷区幡ヶ谷2丁目, 本町5,6丁目 付近 〃	589.30	28,848,304	37. 11. 27 38. 3. 25	
	渋谷区恵比寿東1丁目, 景丘町付近 〃	1,779.03	31,047,196	37. 11. 22 38. 2. 28	
	品川区西品川4丁目付近 〃	646.38	13,691,194	37. 11. 26 38. 3. 16	
	渋谷区恵比寿通1丁目伊達町付近 〃	1,625.41	33,157,055	37. 11. 26 38. 3. 30	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
枝 線	目黒区中目黒1丁目目黒2丁目 近付枝線工事	187.74	29,553,757	37. 11. 26 38. 3. 30	
	江東区大島町6丁目付近枝線その2 工事	80.00	19,292,434	37. 12. 8 繰越施行	繰越額 39,897,566円
	新宿区下落合1,2丁目付近枝線工事 施工委託	25.20	1,918,000	37. 10. 1 38. 1. 18	西武鉄道へ委託
	渋谷区鶯谷町八幡通2丁目付近枝線 工事施工委託	41.30	3,595,287	37. 10. 23 繰越施行	繰越額 104,713円 国鉄へ委託
	江戸川区平井1丁目付近枝線工事施 工委託	0	72,065	37. 12. 4 繰越施工	繰越額17,737,935円 国鉄へ委託
	品川区中延4丁目付近枝線工事施行 委託	18.30	2,246,125	37. 10. 3 37. 11. 6	東京急行電鉄へ委託
	品川区荏原1丁目平塚2丁目付近枝 線工事	1,009.77	38,486,944	38. 1. 7 38. 3. 30	
	北区豊島4丁目付近枝線工事	288.60	9,160,634	38. 1. 5 38. 3. 30	
	新宿区柏木4丁目付近枝線その2工 事	1,062.42	24,703,606	37. 12. 13 38. 3. 30	
	江戸川区平井1丁目付近枝線工事施 工委託その2	0	1,509,793	37. 10. 30 繰越施行	繰越額 9,009,207円 東京都建設局へ委託
	荒川区町屋1,3丁目付近枝線工事	1,564.33	26,822,443	38. 1. 7 38. 3. 30	
	豊島区高田本町1丁目付近	410.52	4,371,046	38. 1. 8 38. 3. 2	
	豊島区西巢鴨4丁目付近	717.95	7,276,389	38. 1. 8 38. 3. 30	
	江東区南砂町5,6丁目付近枝線その 3工事	844.94	20,009,770	38. 1. 7 繰越施行	繰越額 12,290,230円
	北区岸町1丁目付近枝線工事	119.62	4,597,991	38. 1. 8 38. 3. 30	
	港区溜池町狸穴町付近	426.00	8,475,628	38. 1. 10 38. 3. 27	
	新宿区市ヶ谷台町, 市ヶ谷富久町付 近枝線工事	826.30	10,583,266	38. 1. 16 38. 3. 30	
	北区西ヶ原2丁目滝野川1,2丁目付 近	898.45	11,422,153	38. 1. 10 38. 3. 30	
	中野区川添町付近枝線その2工事	465.30	24,502,742	38. 1. 10 38. 3. 30	
	渋谷区代々木本町, 代々木富ヶ谷町 付近枝線工事施工委託	0	4,920,000	37. 12. 1 繰越施行	繰越額12,111,000円 小田急電鉄へ委託
	荒川区日暮里町3丁目付近枝線工事	175.30	2,426,259	38. 1. 10 38. 2. 8	
	千代田区麴町1丁目付近	365.85	6,050,558	38. 1. 10 38. 2. 22	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
枝 線	渋谷区本町 5 丁目付近枝線工事	135.60	10,359,137	38. 1. 16 38. 3. 30	
	新宿区柏木 2 丁目付近枝線その 1 工事	365.40	28,981,651	38. 1. 10 38. 3. 29	
	千代田平河町 2 丁目付近枝線工事	155.15	1,155,051	38. 2. 8 38. 3. 27	
	北区堀船町 2 丁目付近	129.00	11,345,905	38. 1. 10 繰越施行	繰越額 28,364,095円
	墨田区吾嬬町西 7,8 丁目付近枝線その 3 工事	548.30	13,673,886	38. 1. 7 38. 3. 30	
	品川区北品川 4,5 丁目付近枝線その 2 工事	483.80	15,586,562	38. 1. 16 38. 3. 30	
	港区芝浦 1 丁目, 西芝浦 1 丁目付近枝線工事	516.10	15,522,734	38. 1. 16 38. 3. 30	
	新宿区西落合 1,2 丁目付近枝線工事	891.67	13,207,275	38. 1. 16 38. 3. 30	
	北区堀船町 1 丁目付近枝線その 1 工事	212.15	20,434,787	38. 1. 16 繰越施行	繰越額 7,135,213円
	北区堀船町 1 丁目 付近枝線 その 2 工事	224.25	14,162,222	38. 1. 16 繰越施行	繰越額 9,717,778円
	北区赤羽 2 丁目付近枝線その 4 工事	9.15	3,597,682	38. 1. 17 38. 2. 16	
	台東区金杉上町付近枝線工事	495.86	6,450,775	38. 1. 23 38. 3. 15	
	新宿区西落合 1 丁目付近	571.00	16,280,076	38. 2. 8 38. 3. 30	
	中野区新山通 2 丁目付近	454.30	7,179,451	38. 2. 8 繰越施行	繰越額 6,430,549円
	中野区新山通 1 丁目付近	565.16	12,805,089	38. 2. 8 繰越施行	繰越額 15,694,911円
	北区王子本町 1 丁目付近	120.07	6,959,376	38. 2. 8 38. 3. 30	
	北区豊島 8 丁目付近	433.20	7,849,970	38. 2. 8 38. 3. 30	
	渋谷区西ヶ原 3 丁目元代々木町付近 枝線工事に伴う地質調査		400,000	38. 3. 1 38. 3. 25	
	港区青山高樹町, 芝白金三光町付近 枝線工事	381.35	9,039,494	38. 2. 27 38. 3. 30	
	渋谷区千駄ヶ谷 2 丁目付近枝線工事	116.40	16,758,365	36. 10. 3 37. 5. 31	36年度より継続施行
	江東区南砂町 5,8 丁目付近	392.55	41,974,149	36. 10. 24 37. 8. 6	〃
	墨田区吾嬬町東 7 丁目付近	162.67	21,130,761	36. 10. 30 37. 7. 25	〃

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 工	備 考
枝 線	墨田区吾嬬町東 6 丁目付近枝線工事	215.28 ^m	29,664,861 ^円	36. 12. 5 37. 9. 19	36年度より継続施行
	豊島区池袋 1 丁目, 椎名町 1 丁目付近枝線工事	611.49	8,258,781	37. 3. 19 37. 6. 20	〃
	墨田区隅田町 1 丁目付近枝線その 2 工事	94.72	40,281,334	37. 1. 11 37. 9. 24	〃
	北区王子本町 1, 2 丁目付近枝線工事	533.54	14,250,390	37. 1. 16 37. 9. 8	〃
	渋谷区穂田 2 丁目付近 〃	0	0		事故線越 線越額 7,170,000円
	渋谷区並木町付近 〃	0	0		〃 34,180,000円
	渋谷区田毎町, 恵比寿東 2 丁目付近枝線その 2 工事	0	0		〃 21,020,000円
	渋谷区若木町, 羽沢町付近枝線工事	0	0		〃 31,900,000円
	渋谷区鶯谷町八幡通 2 丁目付近枝線その 2 工事	0	0		〃 23,470,000円
側 溝	豊島区池袋 4, 5 丁目付近側溝工事外 11 件	23,037.72	29,422,013		
試 掘		1,917カ所	6,962,779		
設 計 委 託	渋谷区代々木本町, 代々木富ヶ谷町付近枝線工事設計委託		344,000	37. 5. 26 37. 12. 14	小田急電鉄へ委託
	渋谷区青葉町, 穂田 2 丁目付近枝線工事外 4 カ所設計委託		2,100,000	37. 1. 17 37. 8. 11	36年度より継続施行
	品川区大井金子町付近枝線工事外 4 カ所設計委託		2,621,450	37. 1. 17 38. 8. 11	〃
	渋谷区代々木深町付近枝線工事外 4 カ所設計委託		3,243,000	37. 1. 13 37. 9. 7	〃
	渋谷区恵比寿 1 丁目, 伊達町付近枝線工事外 4 カ所設計委託		2,100,000	37. 2. 8 37. 8. 10	〃

(2) ポンプ場建設

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 工	備 考
構 築 物	日本堤ポンプ所建設その 3 工事	流入渠 72.85m その他	54,872,722 ^円	37. 7. 7 38. 2. 28	
	宮城ポンプ所建設その 1 工事	流入渠 9.00m 雨水沈砂池 2 池 その他	64,760,214	37. 9. 26 38. 3. 30	
	大島ポンプ所雨水吐工事	放流渠 吐 口 } の一部	183,145	37. 12. 10 線越施行	線越額 35,844,823
	同上 放流渠工事	放流渠 } の一部 流入渠 }	56,148,892	36. 11. 30 37. 10. 10	36年度より継続 施行

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
構築物及び 建 物 基 礎	尾久ポンプ所建設その1工事	上家基礎	14,200,000円	年 月 日 37. 12. 12 38. 3. 30	
建 物	藍染ポンプ所上家その他工事	ポンプ室上家 $2,491.55m^2$ 延床面積 その他	131,931,909	37. 4. 2 38. 1. 31	
	大島ポンプ所上家新築工事	ポンプ室上家 $3,303m^2$ 延床面積 その他	119,200,000	37. 4. 2 38. 2. 20	
	日本堤ポンプ所建設その2工事	ポンプ室上家 } の一部 その他	87,811,801	36. 7. 12 37. 10. 10	36年度より継続 施行
機 械 装 置	隅田ポンプ所ポンプ設備その1工事	雨水ポンプ1台 汚水ポンプ1台 その他	59,900,000	37. 6. 11 38. 2. 25	
	千住ポンプ所ポンプ設備その1工事	雨水ポンプ3台 汚水ポンプ1台	113,600,000	37. 6. 18 38. 3. 4	
	藍染ポンプ所沈砂池機械設備工事	雨水用阻水扉4面 汚水用阻水扉1面 その他	70,270,000	37. 6. 18 38. 3. 9	
	千住ポンプ所 沈砂池機械設備その1工事	雨水用阻水扉4面 汚水用阻水扉1面 その他	52,490,000	37. 6. 11 38. 3. 15	
	隅田ポンプ所 沈砂池機械設備その1工事	雨水用阻水扉4面 汚水用阻水扉1面 その他	50,300,000	37. 6. 11 38. 3. 6	
	砂町ポンプ所 汚水ポンプ設備その1工事	汚水ポンプ } の一部 排水ポンプ } 給水ポンプ }	21,690,000	37. 6. 21 繰越施行	繰越額 12,710,000円
	日本堤ポンプ所 沈砂池機械設備その1工事	ろ格機 1台 その他	10,280,000	37. 6. 21 37. 10. 20	
	隅田ポンプ所 起重機設備工事	15屯天井走行 起重機 1基 その他	4,755,000	37. 7. 19 37. 12. 11	
	千住ポンプ所 起重機設備工事	15屯天井走行 起重機 1基 その他	7,333,000	37. 7. 19 37. 12. 15	
	日本堤ポンプ所 沈砂池機械設備その2工事	阻水扉 } の一部 揚泥機 } その他 }	19,543,000	37. 7. 19 繰越施行	繰越額 3,957,000円
	日本堤ポンプ所 雨水ポンプ設備その1工事	雨水ポンプ } の一部 その他 }	98,300,000	36. 7. 12 37. 11. 10	36年度より継続 施行
電 気 設 備	千住ポンプ所電気設備その1工事	配電盤 1式 その他	50,700,000	37. 6. 11 38. 3. 25	
	隅田ポンプ所電気設備その1工事	高圧受電装置1式 その他	33,600,000	37. 6. 21 38. 3. 25	
	千住ポンプ所受電線路新設工事	地中線専用設備	5,950,110	38. 2. 1 38. 2. 28	東京電力千住支社 へ委託
	大島ポンプ所仮受電設備工事	仮受電設備 1式 その他	414,800	38. 2. 21 38. 3. 4	
設 計 管 理 委 託	隅田ポンプ所構内管理委託	本館 延床掃除面積 $1,693.59m^2$	728,885	37. 4. 1 37. 9. 30	
	千住ポンプ所構内管理委託	本館 延床掃除面積 $2,048.60m^2$	784,825	37. 4. 1 37. 9. 30	
	大島ポンプ所上家新築工事 管理委託	ポンプ所上家 建築面積 $2,514m^2$	1,440,000	37. 4. 2 38. 2. 30	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
設 計 委 託 管 理 委 託	藍染ポンプ所上家その他工事 監理委託	ポンプ所上家 建築面積 1,503.85㎡	円 1,080,000	年 月 日 37. 4. 2 38. 1. 31	
	日本堤ポンプ所阻水扉室上家及 び公舎その他工事設計委託		460,000	37. 4. 2 37. 5. 19	
	尾久ポンプ所上家新築工事設計 委託		3,990,000	37. 7. 17 37. 10. 17	
	隅田ポンプ所構内管理委託	本館 延床掃除面積 1,693.59㎡	921,553	37. 10. 1 38. 3. 31	
	千住ポンプ所構内管理委託	本館 延床掃除面積 2,048.60㎡	1,127,801	37. 10. 1 38. 3. 31	
	宮城ポンプ所建設その1工事監 理委託	ポンプ所上家	367,500	37. 11. 6 38. 3. 30	
	隅田、千住ポンプ所公舎新築 に伴う設計委託		200,000	37. 11. 9 37. 12. 17	
	宮城ポンプ所 上家新築工事設計委託		3,000,000	37. 1. 29 37. 5. 2	36年度より継続 施行
	日本堤ポンプ所上家新築工事 設計及び監理委託		1,960,000	36. 5. 7 37. 10. 10	〃
そ の 他	日本堤ポンプ所 建設その4工事	ポンプ設備撤去 6台 ポンプ所上家撤去	10,900,000	37. 12. 10 38. 3. 16	
	江東区大島6丁目住宅公団 管渠移設工事	151.80m } の一部 その他 }	2,440,000	37. 3. 9 37. 10. 10	36年度より継続 施行

(3) 処 理 場 建 設

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 工	備 考
構 築 物	芝浦下水処理場 高速曝気沈澱槽その2工事	高速曝気沈澱槽 2槽 付帯設備 1式	円 149,555,431	年 月 日 37. 4. 2 38. 1. 29	
	同 上 超高段沈砂池及び上家工事	沈砂池 2池 上家建築面積 329.40㎡	28,673,454	37. 4. 2 37. 11. 15	
	落合処理場 送泥管その3工事	遠心力鉄筋コンク リート管 85.40m	4,884,000	37. 6. 26 37. 8. 13	
	同 上 その4工事	遠心鉄管コンク リート管 114.70m	6,698,000	37. 6. 26 37. 11. 22	
	同 上 その5工事	ダクタイル鋳鉄管 鋼管 1,723.80m	24,590,455	37. 6. 26 38. 3. 30	
	同 上 その6工事	ダクタイル鋳鉄管 鋼管 1,989.30m	28,561,350	37. 6. 26 37. 12. 19	
	森ヶ崎西処理場建設その1工事	本館下部躯体 建築面積 4,698.75㎡	194,251,750	37. 6. 18 38. 3. 26	
	芝浦処理場 量水槽増設工事	量水槽 巾6.10m×深4.40 m×長19.00m	14,939,170	37. 7. 16 38. 1. 29	
	砂町処理場 汚泥消化槽その3工事	汚泥消化槽 } の一部 4槽 } その他 }	104,095,657	37. 8. 30 継続施行	継続額 16,343円

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
構 築 物	落合処理場 送泥管その 8 工事	遠心力鉄筋コンクリート管 17m ダクタイル鋳鉄管 鋼管 47m	円 2,231,804	年 月 日 37. 8. 27 繰越施行	繰越額(国鉄委託分のみ) 47,648円
	落合処理場 建設その 3 工事	導水渠 120.00m その他	27,457,272	37. 9. 13 38. 2. 8	
	落合処理場 送泥管その 7 工事	ダクタイル鋳鉄管 640.00m	9,776,002	37. 10. 3 38. 2. 28	
	落合処理場 空気本管その他工事	空気管 220m 鋳鉄管 630m 鋼管	29,550,000	37. 10. 6 38. 5. 16	
	落合処理場 建設その 4 工事	第二沈澱池 5 } の一部 池 雨水放流 3 } 渠 114m	124,145,997	37. 10. 6 繰越施行	繰越額 9,198,003円
	落合処理場 送泥管工事施工委託	遠心力鉄筋コンクリート管 45.00m	1,482,854	37. 8. 29 38. 3. 30	国鉄へ委託
	同 上	同 上 42.00m	4,020,000	37. 10. 1 38. 2. 28	西武鉄道へ委託
	落合処理場 送泥管その 9 工事	ダクタイル鋳鉄管 31.00m 鋼管 45.00m	2,275,666	38. 1. 10 38. 3. 30	
	落合処理場 建設その 2 工事	曝気槽 4 槽 } の一部 曝気槽上家	299,275,110	36. 7. 12 37. 11. 30	36年度より継続 施行
建 物	小台処理場 建設その 6 工事	前曝気槽 1 槽 } の一部 第一沈澱池 3 } 池 その他	225,099,616	36. 10. 6 37. 10. 3	〃
	小台処理場 公舎新築工事	公舎 3 階建 鉄筋 コンクリート造 12戸延713.16㎡	28,560,000	37. 2. 27 37. 9. 27	〃
ポ ン プ	芝浦処理場 汚泥処理工場薬液ポンプ設備 その他工事	薬液ポンプ 1 式 ろ液ポンプ 3 台 その他	3,430,000	37. 4. 2 37. 6. 29	
	三河島処理場散気式 曝気槽防泡設備工事	渦巻ポンプ 3 台 自吸水ポンプ 1 台	4,400,000	37. 9. 27 37. 12. 15	
	砂町処理場 曝気槽防泡設備その他工事	防泡ポンプ 4 台 真空ポンプ 2 台 その他	23,000,000	37. 10. 11 38. 3. 30	
機 械 設 備	砂町処理場 ボイラーその他設備その 2 工事	ボイラー 1 缶 熱交換器 4 基 その他	60,600,000	37. 6. 18 38. 3. 9	
	芝浦処理場 超高段沈砂池機械設備工事	阻水扉 2 面 揚泥機 2 組 その他	23,180,000	37. 8. 1 38. 3. 25	
	落合処理場 散気設備その 1 工事	曝気槽散気装置 } の一部 688組(2槽分)モ ノレール 860m	30,220,000	37. 10. 6 繰越施行	繰越額 60,000円
	芝浦処理場 送風機その 3 工事	多段ターボ } の一部 ロー 2 台 } 電動機 2 台	41,400,000	36. 12. 19 37. 10. 16	36年度より継続 施行
	芝浦処理場 第二沈澱池機械設備その 2 工事	採泥機 2 台 } の一部 電気設備 1 式	16,480,000	36. 12. 19 37. 8. 18	〃
	芝浦処理場 曝気槽散気設備その 3 工事	散気板取付 } の一部 5,18枚 空気 } 管 1,207m	23,872,944	36. 12. 19 37. 8. 11	〃
	砂町処理場 第二沈澱池機械設備その 3 工事	汚泥掻集機 } の一部 2 池分 } その他	45,700,000	36. 12. 19 37. 8. 7	〃
	砂町処理場 送風機その 3 工事	多段ターボ } の一部 ロー 1 台 } その他	23,600,000	36. 12. 19 37. 10. 10	〃

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
機 械 設 備	砂町処理場 曝気槽散気設備その3工事	散気板取付 5,184枚 その他	37,722,944	円 年 月 日 36. 12. 9 37. 8. 13	36年度より継続 施行
電 気 設 備	芝浦処理場 電気設備その2工事	配電盤工事 その他1式	18,800,000	36. 12. 9 37. 10. 16	〃
	小台処理場 受電線路新設工事	地中線設備工事	4,213,448	36. 12. 21 37. 3. 31	〃 東電へ委託
	落合処理場 曝気槽電気設備配管工事	電線管 11,297m その他	4,800,000	37. 3. 8 37. 11. 26	36年度より継続 施行
	砂町処理場 特高受電線路引替工事		914,064	37. 3. 16 37. 5. 19	〃 東電へ委託
付 帯 工 事	芝浦処理場 汚泥処理工場西側埋立その1工事	鉄筋コンクリート 製矢板 397本 その他	29,590,900	37. 7. 10 38. 3. 30	
	砂町処理場 本館付近造園その他工事	整地面積 5,600㎡ その他	2,290,000	37. 6. 22 37. 7. 14	
	小台処理場整備工事	整地面積 8,000㎡ その他	1,200,000	37. 9. 8 37. 9. 25	
	新宿区八幡公園工事	児童公園 1,057㎡	1,690,000	37. 9. 27 37. 12. 10	
	小台処理場危険防止用 人止柵その他仮設工事	人止柵 273.00m その他	390,000	37. 12. 1 37. 12. 15	
設 計 監 理 委 託	落合処理場 本館管理委託	本館床延面積 15,080㎡ 機械類	1,225,000	37. 4. 2 37. 9. 30	
	同 上	同 上	1,225,000	37. 10. 1 38. 3. 31	
	砂町処理場 本館付近造園その他工事設計委託		34,000	37. 5. 14 37. 5. 24	建設局へ委託
	落合処理場 建設その2工事監理委託		2,850,000	36. 10. 30 37. 12. 11	36年度より継続 施行

(4) 失業対策管渠施設

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
枝 線	渋谷区原宿2丁目付近 枝線その2工事	1,383.55 m	円 22,462,758	年 月 日 37. 4. 2 38. 3. 30	
	荒川区尾久町9,10丁目付近 枝線工事	1,283.62	25,623,207	37. 4. 2 38. 3. 30	
	北区東十条1,2,3丁目付近 〃	1,185.58	20,411,008	37. 4. 2 38. 3. 30	

(5) 特別失業対策管渠敷設

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 竣 功	備 考
枝 線	豊島区池袋4,5丁目付近 枝線工事	1,425.68 ^m	35,521,256 ^円	37. 8. 17 37. 12. 8	
	新宿区下落合1,2丁目付近 〃	1,277.05	28,768,692	37. 8. 17 37. 12. 24	
	板橋区大山金井町, 熊野町付近 〃	2,019.90	33,268,112	37. 8. 17 38. 2. 27	
	渋谷区上通2丁目美竹町付近 〃	2,033.35	23,769,683	37. 9. 7 38. 2. 27	
	渋谷区若木町氷川町付近 〃	1,567.25	20,736,701	37. 10. 5 38. 2. 16	
	北区西ヶ原1,2丁目付近 枝線その2工事	926.78	19,344,297	37. 11. 8 38. 3. 30	
	新宿区柏木4丁目付近 枝線その1工事	952.20	18,221,815	37. 11. 8 38. 3. 22	
	北区田端町 枝線その2工事	1,091.71	16,119,522	37. 11. 26 38. 3. 15	
	北区上中里2丁目付近 枝線工事	847.20	26,176,634	37. 11. 26 38. 3. 26	
	豊島区池袋4丁目付近 枝線工事	623.70	9,979,390	37. 12. 5 38. 3. 26	
	豊島区池袋4,5丁目付近 枝線その2工事	736.73	9,357,904	37. 12. 5 38. 3. 9	
	渋谷区八幡通3丁目代官山町付 近枝線工事	1,567.09	26,374,782	37. 12. 7 38. 3. 30	
	豊島区池袋1,4丁目付近 枝線工事	1,712.18	22,791,641	37. 12. 13 38. 3. 22	

(6) 整備拡充

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 竣 功	備 考
管 渠	谷田川幹線放流渠その3工事	101.60 ^m	71,741,088 ^円	37. 6. 11 38. 1. 11	
	谷端川幹線雨水吐その3工事	幹線 140.00 枝線 137.49	65,076,866	37. 7. 21 38. 3. 22	
	谷田川幹線放流渠その4工事	65.00	35,565,203	37. 10. 11 38. 2. 11	
	藍染川幹線雨水吐の設計に伴う 地質調査工事		412,000	37. 8. 27 37. 10. 17	
	谷端川幹線雨水吐その4工事	63.00	52,091,844	37. 10. 6 繰越施行	繰越額 1,988,156円

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 手 工	備 考
管 渠	白山幹線雨水吐その3工事	m 0	円 78,537,464	年 月 日 37. 10. 6 繰越施行	繰越額 12,962,536円
	同 上 その4工事	0	37,535,925	37. 10. 6 繰越施行	〃 10,764,075円
	4 明石町幹線その2工事	42.00	14,084,491	37. 12. 10 38. 3. 30	
	藍染川幹線雨水吐その1工事	幹線 69.00 枝線 91.30	33,071,888	37. 12. 13 繰越施行	繰越額 23,198,112円
	千代田区堀留橋伏越工事	36.85	8,350,274	36. 12. 15 37. 5. 31	36年度より継続 施行
	明石町幹線その1工事	60.89	15,455,212	37. 1. 10 37. 6. 4	〃
	高段幹線赤羽橋伏越工事	163.00	39,406,867	37. 3. 22 38. 3. 30	〃
	谷端川幹線改良その4工事	131.40	12,180,000	37. 3. 20 37. 5. 28	〃
処 理 場	三河島処理場 送泥管改造その1工事	ダクタイル鋳鉄管 1,366.80	18,011,943	37. 7. 2 38. 11. 7	
	同 上 処理施設改造その1工事	散水ろ床12床取毀し	83,987,822	37. 10. 6 38. 3. 11	
	同 上 送泥管改造その2工事	ダクタイル鋳鉄管 1,187.10 遠心力鉄筋コンクリート 管 22.20	16,209,737	37. 12. 4 38. 3. 15	
	同 上 その3工事	ダクタイル鋳鉄管 2,585.00 鋼管 35.00	32,618,883	37. 12. 4 38. 3. 22	
	同 上 その4工事	ダクタイル鋳鉄管 2,297.00 鋼管 30.00	29,853,383	37. 12. 4 38. 3. 20	
	同 上 その5工事	ダクタイル鋳鉄管 3,106.00 鋼管 112.00	28,545,360	37. 12. 4 38. 3. 30	
	同 上 その6工事	遠心力鉄筋コンクリート 管 96.00	12,819,387	37. 12. 4 38. 3. 14	
	同 上 送泥管改造工事	17.00	2,042,000	37. 12. 22 38. 3. 30	京成電鉄へ委託
設計委託	同 上 処理施設覆蓋工事設計委託		9,400,000	37. 11. 10 38. 3. 14	

第 2 節 改 良 工 事

総 括 表

種 別		施 行 内 容			
管 渠 施 設	332, 955, 762 円	人 孔	103カ所	その他	
		汚 水 樹	1, 750カ所		
ポンプ施設	89, 220, 975 円	機 械 及 装 置	銭 瓶 町 ポンプ所	汚 水 ポンプ	1 台
				電 磁 弁 開 度 計	3 台
				水 銀 灯	14 灯
			桜 橋 ポンプ所	阻 水 扉	2 基
			浜 町 ポンプ所	デ イ ゼ ル 発 電 機	1 台
			南 千 住 ポンプ所	入 口 阻 水 扉	2 基
				水 位 計	一 式
				給 水 ポンプ	1 台
			木 場 ポンプ所	特 高 受 電 線	1 回 線
				圧 力 ポンプ	2 台
				螢 光 灯	18 基
				灯 柱	8 本
			業 平 橋 ポンプ所	誘 動 電 動 機	1 台
			三 之 橋 ポンプ所	蝶 形 弁	3 台
				フ ラ ツ プ 弁	3 台
		構 造 物	小 台 仮 排 水 所	上 屋	16.85㎡
				雨 水 ポンプ	1 台
				ろ 格 そ の 他	一 式
			八 幡 堀 仮 排 水 所	上 屋	26㎡
				雨 水 ポンプ	1 台
				そ の 他	一 式
		設 計 委 託	洲 崎 仮 排 水 所 上 屋		一 式
処 理 施 設		構 造 物	芝 浦 処 理 場	阻 水 扉	1 門
				沈 砂 置 場	140㎡
				上 屋	199.5㎡
				鑄 鉄 管	254m

種 別	施 行 内 容
処 理 施 設 193,074,225円	三河島処理場 阻水扉油圧ポンプ 2台 門扉シリンドー 2箇 接 合 弁 一式 汽 缶 室 63.8㎡ 汚 水 ポンプ室 43.12㎡ 砂 町 処 理 場 阻水扉油圧開閉装置 2基 丸 型 水 槽 2基 排 水 管 191.5m 機 械 及 び 装 置 芝 浦 処 理 場 汚 泥 ポンプ 6台 三河島処理場 真 空 ポンプ 2台 電 動 制 水 弁 5台 水 量 測 定 装 置 3組 掻 集 機 胴 及 腕 8台 採 泥 機 8台 構 内 電 話 31台 自 動 交 換 機 1台 電 話 ケーブル 1式 砂 町 処 理 場 高 圧 配 電 盤 1式 机 型 監 視 盤 一式 水 量 測 定 装 置 1組 ろ 格 機 2面 換 気 設 備 他 1式
諸 設 備 74,069,670円	

(1) 管 渠 施 設

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 手 功	備 考
人 孔	北部管理事務所三河島出張所管内人孔改良工事	人 孔 28ヶ所	659,027円	年 月 日 37. 7. 26 37. 8. 2	
	江東区平人町1,2丁目汐浜橋付近人孔移設工事	〃 3 〃	757,271	37. 8. 1 37. 12. 6	
	中部管理事務所大手町出張所管内人孔新設工事	〃 10 〃	1,455,322	37. 10. 8 37. 11. 12	
	中部管理事務所柳町出張所管内人孔新設工事	〃 4 〃	361,728	37. 9. 19 37. 10. 2	

種 別	工 事 名	数	量	金 額	着 竣 手 功	備 考
人 孔	北部管理事務所日本堤出張所管内 人孔改良工事	人孔上部改造 人孔撤去	28ヶ所 28 〃	651,519	円 年 月 日 37. 10. 3 37. 10. 25	
	荒川区尾久町4丁目地先伏越人孔改良工事	人 孔	2 〃	825,853	37. 11. 1 37. 12. 7	
汚水桝並 同取付管	北部管理事務所三河島出張所管内 汚水桝新設工事	汚水桝	200 〃	2,741,550	37. 6. 21 37. 7. 17	
	北部管理事務所日本堤出張所管内 汚水桝上部改良工事	汚水桝上部改造	500 〃	2,646,479	37. 10. 5 37. 11. 13	
	北部管理事務所三河島出張所管内 汚水桝改良工事	上部改良	542 〃	3,630,658	37. 10. 19 37. 11. 21	
	新宿区市ヶ谷荒木町付近汚水桝新設工事	汚水桝	32 〃	502,234	37. 10. 10 37. 11. 1	
	中部管理事務所城山町出張所管内 汚水桝新設工事	〃	185 〃	2,179,358	38. 1. 22 38. 3. 20	
	中部管理事務所柳町出張所管内 汚水桝新設工事	〃	100 〃	1,246,963	38. 1. 14 33 2. 18	
	中部管理事務所中之橋出張所管内 汚水桝新設工事	〃	191 〃	2,791,666	38. 2. 25 38. 3. 30	
そ の 他	台東区駒形1,2丁目付近管渠改良工事	φ250~450cm	348m	9,776,993	37. 5. 1 37. 7. 17	
	台東区浅草橋3丁目付近 〃	〃300~600 〃	117.25 〃	6,341,479	37 4. 25 37. 8. 11	
	港区青山南町5丁目88番地先管渠敷設替工事	〃350~ □11400×1400 〃	74.75 〃	4,082,890	37. 7. 9 37. 9. 10	
	墨田区緑町1,2,3丁目付近管渠敷設替工事	φ250~600 〃	984.35 〃	17,837,071	37. 7. 12 37. 12. 15	
	中央区月島仲通9,10,11丁目付近管渠改良工事	〃250~700 〃	482.25 〃	14,409,674	37. 8. 16 37. 11. 6	
	港区新橋~大門間管渠敷設替工事	〃250~400 〃	655.95 〃	11,689,957	38. 1. 16 38. 3. 7	
	中央区宝町1丁目付近管渠改良工事	〃900cm	31.60 〃	5,096,904	37. 12. 15 38. 3. 1	
	外 34件					
試 堀 費				656,169		
事 務 費				9,345,325		
計				332,955,762		

(2) ポンプ施設

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 手 功	備 考
機 械 及 装 置	木場ポンプ所特高受電線路引替工事	20KV, SLN60° 1回線新設 20KV, SL60°をSLN60°に取替	5,408,968	円 年 月 日 36. 12. 26 37. 5. 10	
	業平橋ポンプ所雨水ポンプ改良工事	1,140mm羽根車等取替1台 誘導電動機1台, 蓄電池1台	10,400,000	37. 6. 8 38. 3. 30	
	木場ポンプ所圧力ポンプ並び油圧管その他改良工事	口径75mm圧力ポンプ2台 油圧管操作装置 取替一式	15,890,000	37. 7. 17 38. 3. 30	
	銭瓶町ポンプ所汚水ポンプ改良工事	900mm汚水ポンプ1台 電動機管弁共一式	19,900,000	37. 7. 14 38. 3. 30	
	銭瓶町ポンプ所入口阻水扉改良工事	電動式油圧遠方操作 電磁弁開度計 3台 その他附属品一式	3,605,000	37. 8. 6 38. 3. 30	
	三王橋ポンプ所雨水ポンプフラツプ弁その他改良工事	蝶形弁取替 3台 フラツプ弁新設 3台	12,100,000	37. 8. 25 38. 3. 30	
	桜橋ポンプ所阻水扉その他改良工事	阻水扉 2基 ろ格機その他改良	2,330,000	37. 9. 17 37. 12. 14	
	吾嬭ポンプ所篩渣搬出装置改良工事	高架ホツパー 3m ² 入 付帯工事一式	1,580,000	37. 9. 24 38. 2. 19	
	浜町ポンプ所発電電気設備工事	ディーゼル発電機 1台 附帯設備一式	2,270,000	37. 10. 25 38. 3. 26	
	南千住ポンプ所入口阻水扉その他改良工事	入口阻水扉 2基 水位計 一式 給水ポンプ 1台	3,780,000	37. 11. 1 38. 3. 30	
	銭瓶町ポンプ所電気設備改良工事	水銀灯 14灯 灯栓共一式	775,000	37. 10. 29 38. 1. 26	
	木場ポンプ所照明設備改良その他工事	灯柱 8本 蛍光灯 18基 配線その他工事一式	970,000	38. 2. 2 38. 3. 22	
構 造 物	荒川区尾久8町丁目小台橋仮排水所設備工事	上屋建坪 16.85m ² ポンプ口径300mm 1台 ろ格その他一式	3,230,000	37. 4. 2 37. 7. 5	
	八幡堀仮排水所設備工事	上屋木造建坪 26m ² 口径600mmポンプ 1台 その他一式	6,481,283	37. 8. 20 37. 12. 4	
設計委託	洲崎仮排水所上屋新築に伴う設計委託	設計見積一式	130,000	38. 3. 14 38. 3. 20	
事務費			370,000		
合 計			89,220,975		

(3) 処 理 場 施 設

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 手 功	備 考
構 造 物	芝浦処理場高段放流阻水扉改良工事	阻水扉 1門 その他附帯工事一式	3,850,000	円 年 月 日 37. 7. 6 38. 3. 5	
	砂町処理場入口阻水扉給水槽その他改良工事	阻水扉油圧開閉装置 2基 丸型水槽 2基	14,700,000	37. 7. 30 38. 3. 8	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 手 功	備 考
構 造 物	三河島処理場入口止水扉その他改良工事	油圧ポンプ 2 台 門扉シリンダー 2 ケ 溢流管その他一式	12,800,000	円 年 月 日 37. 9. 20 38. 3. 30	
	三河島処理場急速ろ過施設接合井改良工事	接合井一式 送水管, 流入管, 溢流管一式	2,390,000	37. 11. 5 38. 3. 4	
	芝浦処理場沈砂処理設備工事	沈砂置場 140 m^2 上 家 199.5 m^2 トロ線移設及新設	4,400,000	37. 11. 16 38. 3. 14	
	三河島処理場消化槽汽缶室汚泥ポンプ室その他改良工事	汽缶室 63.8 m^2 汚泥ポンプ室 43.12 m^2 ポンプ 2 台	6,470,000	37. 11. 26 38. 3. 30	
	三河島処理場散気式曝気槽導水渠その他改良工事	覆蓋面積 77 m^2 送泥管延長 185 m	3,230,000	37. 11. 5 38. 3. 15	
	砂町処理場場内排水管その他工事	遠心力鉄筋コンクリート管 $\phi 80cm$ 164.5 m 陶管 $\phi 20cm$ 17 m	9,080,000	37. 11. 12 38. 3. 14	
	芝浦処理場汚泥管改良工事	250 ϕ 鋳鉄管 254 m	3,925,000	38. 1. 14 38. 3. 29	
機 械 及 装 置	三河島処理場汚水ポンプ制水弁改良工事	真空ポンプ 2 台 電動制水弁 760 mm 3 台 800 mm 2 台	13,270,000	37. 6. 27 38. 2. 23	
	芝浦処理場第一汚泥ポンプ改良工事	汚泥ポンプ 6 台 その他設備附帯工事一式	16,200,000	37. 6. 18 38. 3. 16	
	砂町処理場電気設備その他改良工事	高圧配電盤 一式 机型監視盤 一式 配線工事 一式	44,100,000	37. 7. 14 38. 3. 20	
	三河島処理場量水計改良工事	流入下水流量測定装置 2 組 急速ろ過浄化水送水量 測定装置 1 組	1,479,000	37. 8. 20 38. 2. 19	
	三河島処理場第一沈澱池掻集機及び排泥装置改良工事	掻集機胴及腕 8 台 排泥装置 一式	10,450,000	37. 9. 12 38. 2. 25	
	三河島処理場採泥機改良工事	採泥機 8 台 電気工事その他 一式	9,100,000	37. 9. 26 38. 3. 28	
	砂町処理場量水計改良工事	流入下水流量測定装置 2 組 附帯設備 一式	1,545,000	37. 10. 5 38. 3. 30	
	三河島処理場構内電話自動交換設備改良工事	構内電話 31 台 自動交換機 1 台 電話ケーブル 一式	4,150,000	37. 11. 5 38. 3. 30	
	砂町処理場篩渣処理設備改良工事	機械掻上式ろ格機 2 面 附帯設備 一式	11,870,000	37. 11. 26 38. 3. 30	
	砂町処理場汚泥処理工場換気設備その他工事	換気設備 一式 消石灰投入装置 一式 ガス設備 一式	7,390,000	38. 1. 24 38. 3. 30	
事 務 費			12,675,225		
合 計			193,074,225		

第 3 節 設備補修工事

総 括 表

種 別	工 費		雑 補 修	計
	件 数	金 額		
管 渠 設 備 補 修	79 件	68,515,605 円	23,245,898 円	91,761,503 円
ポンプ設備補修	11	16,804,300	3,968,239	20,772,539
処理場設備補修	13	28,769,500	13,514,121	42,283,621
計	103	114,089,405	40,728,258	154,817,663

(1) 管渠設備補修

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
管 渠 工 事	中央区銀座東7丁目付近外2ヶ所 管渠補修工事	310.80 ^m	7,815,178 円	37. 6. 27 37. 8. 4	
	文京区湯島三組町25番地管渠補修 工事	31.90	392,766	37. 6. 11 37. 6. 14	
	新宿区歌舞伎町20番地先管渠補修 工事	36.95	1,238,329	37. 9. 3 37. 9. 25	
	墨田区横川橋5丁目付近	69.90	3,639,015	37. 10. 15 37. 11. 19	
	渋谷区千駄ヶ谷3,4丁目付近	194.60	835,000	37. 8. 27 37. 9. 10	
	台東区清川町3丁目9.11番地先	92.15	1,022,000	38. 1. 8 38. 1. 25	
	台東区金杉上町付近	166.05	2,252,135	37. 11. 26 37. 12. 15	
	千代田区東神田3番地先	39.85	1,456,664	38. 3. 7 38. 3. 30	
	外 13	285.55	4,466,586		
損傷負担工事	新宿区花園町54番地先管渠敷設替 工事	343.31	3,141,577	37. 9. 3 37. 11. 12	
	墨田区吾妻橋2,3丁目付近管渠補修 工事	104.10	14,976,691	37. 11. 6 38. 3. 15	
	中央区日本橋茅場町1,2丁目付近管 渠復旧工事	85.00	6,665,717	37. 11. 20 38. 2. 6	
	墨田区江東橋4丁目10番地先管渠 復旧工事	133.20	1,450,763	38. 2. 5 38. 3. 12	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 手 竣 功	備 考
入 孔 補 修	中部管理事務所柳町出張所管内入孔補修工事	46カ所	927,951	円 年 月 日 37. 6. 21 37. 7. 23	
	東部管理事務所管内入孔鉄蓋補修工事	48枚	1,362,018	37. 9. 13 37. 10. 11	
	中部管理事務所大手町出張所管内入孔補修工事	23ヶ所	789,041	37. 11. 16 37. 12. 10	
	北部管理事務所日本堤出張所管内入孔蓋掛替工事	18 ♫	1,130,800	38. 3. 5 38. 3. 26	
	外 28	710 ♫	8,117,210		
汚水樹補修	中部管理事務所城山町出張所管内汚水樹補修工事	144 ♫	1,160,334	37. 9. 1 37. 9. 29	
	中部管理事務所柳町出張所管内汚水樹補修工事	85 ♫	358,549	37. 10. 25 37. 11. 16	
	中央区入船町3丁目～湊町1丁目付近汚水樹嵩土工事	28 ♫	263,590	38. 2. 7 38. 2. 23	
	東部管理事務所管内汚水樹補修工事	78 ♫	363,937	38. 2. 11 38. 3. 11	
	外 16	335 ♫	3,269,754		
防 潮 扉 補 修 工 事	中部管理事務所管内防潮扉補修工事	6ヶ所	1,251,000	37. 12. 24 38. 2. 2	
	八幡堀吐口止水扉補修工事	3組	169,000	37. 12. 15 38. 1. 31	
雑 補 修	管 渠 補 修	330.2 ^m	1,243,247		
	人 孔 補 修	937ヶ所	4,923,801		
	人 孔 蓋 補 修	717 ♫	6,843,839		
	雨 水 吐 口 補 修	3 ♫	750		
	汚水樹並び取付管補修	2,581 ♫	7,628,475		
	そ の 他		2,605,786		
合 計			91,761,503		

(2) ポンプ所設備補修

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
機械及び 装置 機械及電 気設備補 修工事	木場・三之橋・業平橋ポンプ所高圧 連絡線補修工事	高圧電力線 103m	円 602,300	年 月 日 37. 4. 24 37. 4. 30	
	月島ポンプ所汚水ポンプ補修工事	過巻ポンプ 1台	1,465,000	37. 7. 9 38. 2. 26	
	吾嬬ポンプ所ろ格機補修工事	チエンレーキ取替 4面 チエンレーキ鎖車取替 4面	3,876,000	37. 8. 3 37. 12. 12	
	三之橋ポンプ所ろ格機補修工事	鎖・レーキ取替 2面	668,000	37. 7. 24 37. 11. 10	
	和泉町ポンプ所ろ格機補修工事	ろ格取替 1面	448,000	37. 8. 4 37. 10. 18	
	月島ポンプ所揚泥機その他補修工事	揚泥機・掻泥機 ろ格機 各1台	3,350,000	37. 8. 16 38. 1. 16	
	和泉町ポンプ所汚水ポンプ補修工事	羽根車取替 1台	200,000	37. 10. 2 38. 1. 31	
	木場ポンプ所ろ格機補修工事	鎖・レーキ取替 4台 チエンホイール軸取替 2台	1,587,000	37. 10. 30 38. 3. 28	
	銭瓶町ポンプ所汚水ポンプ補修工事	過巻ポンプ補修 2台 塗装 6台	2,510,000	37. 11. 19 38. 3. 28	
	銭瓶町ポンプ所動力線電灯線補修工 事	動力線 電灯線 1回線 附帯設備 1式	518,000	37. 12. 1 38. 3. 11	
建物及構 築物建物 補修	和泉町ポンプ所ポンプ室サツシュそ の他補修工事	スチールサツシュ 55.1㎡ スチールドア 36.9㎡ 門 扉 2扉	1,580,000	37. 10. 6 37. 12. 13	
主工事計		11件	16,804,300		
雑 補 修	作業用营造物補修	169件	1,079,883		
	諸機械補修	545件	2,342,657		
	構築物補修	61件	172,525		
	そ の 他		373,174		
雑補修計		775件	3,968,239		
合 計		786件	20,772,539		

(3) 処理場設備補修

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
建物及び 構築物そ の他	芝浦処理場主ポンプ室建物補修工事	防水層 2,201㎡ 採光窓 121㎡	円 3,060,000	年 月 日 37. 6. 15 37. 9. 13	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 手 功	備 考
建物及び 構築物 その他	砂町下水特約1番線補修工事	特高受電線 22m	191,500	円 年 月 日 37. 6. 4 37. 6. 6	
	砂町処理場汚泥乾燥床補修工事	乾燥床隔壁修理 12カ所 粗砂補充 16面	1,370,000	37. 9. 24 37. 11. 14	
	芝浦処理場汚泥処理工場循環ポンプ その他補修工事	循環ポンプ吸込カバー取替 8台 電線管支持金具補強一式	950,000	37. 11. 1 38. 3. 15	
	三河島処理場着船場施設撤去工事	鉄筋コンクリート杭 44本 抗連絡材一式	1,630,000	37. 11. 29 38. 3. 9	
	三河島処理場構内動力電灯地下ケー ブル補修工事	照明工事 7灯 中間止水開閉操作箱 2面	480,000	37. 12. 5 38. 2. 23	
	砂町処理場曝気槽散気板並第1・第 2沈澱池流出樋その他補修工事	第1・第2沈澱池 6池 曝気槽散気板 500枚	3,720,000	38. 1. 5 38. 3. 30	
	砂町処理場汚泥管補修工事	汚泥管移設一式 電磁流量計移設一式	198,000	38. 3. 18 38. 3. 30	
機械補修	三河島処理場汚水ポンプ補修工事	800mmφポンプ 1台 2,760mmφポンプ 2台	4,580,000	37. 6. 22 38. 2. 19	
	芝浦処理場汚水ポンプ電動機補修工 事	電動機固定子巻 線組替一式	580,000	37. 7. 5 37. 9. 12	
	三河島処理場攪拌機補修工事	攪拌車 48組 減速機軸受メタル 6台	7,850,000	37. 8. 23 38. 1. 19	
	砂町処理場天井走行起重機補修工事	軌条道床部修正 起重機クラブ一式	1,410,000	37. 10. 2 38. 2. 2	
	芝浦処理場ボイラー補修工事	温水ボイラー 3基 その他附属設備一式	2,750,000	37. 12. 19 38. 3. 30	
主工事計		13件	28,769,500		
雑 補 修	作業用営造物補修	2,070件	2,365,315		
	諸機械補修	4,046件	7,340,935		
	構築物補修	355件	3,080,377		
	そ の 他		727,494		
雑工事計		6,471件	13,514,121		
合 計		6,484件	42,283,621		

第 4 節 そ の 他 工 事

総 括 表

種 別 及 び 工 事 費	施 設 内 容
管渠移設工事 65,928,982円	建設局の委託による区画整理に伴う移設 21件 延長 4,781.45m
管渠改造工事 113,808,770円	新 設 1,339.00m 移 設 40.40m 人 孔 移 設 3カ所 雨水樹移設 1カ所
消化槽工事 70,833,456円	清掃局より委託による砂町処理場消化槽補修工事 工 事 件 数 10件

管 渠 移 設 工 事

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
枝 線	第31地区豊島区巣鴨2丁目付近管渠移設その2工事	42.00 ^m	2,731,187 ^円	37. 7. 11 37. 9. 6	
	第31地区豊島区巣鴨2丁目付近管渠移設工事	129.20	3,303,975	37. 7. 11 37. 8. 21	
	第25地区墨田区向島押上町付近	42.40	3,166,070	37. 7. 16 37. 8. 13	
	西大崎地区品川区西大崎1丁目付近	581.30	5,536,160	37. 9. 1 38. 3. 22	
	第21地区新宿区早稲田鶴巻町付近	224.20	2,541,804	37. 9. 1 37. 10. 29	
	第10地区豊島区池袋2丁目付近	207.45	2,134,426	37. 9. 5 37. 10. 12	
	第13地区豊島区西巣鴨2,3町付近	497.83	4,723,773	37. 9. 28 37. 11. 27	
	第24地区文京区駒込神明町付近	70.00	1,011,237	37. 10. 10 37. 10. 31	
	西大崎地区品川区西大崎1,2丁目付近	505.45	7,139,532	37. 10. 26 38. 2. 15	
	第34地区荒川区日暮里3丁目付近	810.00	8,432,245	37. 10. 29 37. 12. 20	
	第5地区品川区五反田1丁目付近	73.20	816,825	37. 11. 5 37. 12. 10	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 竣 功	備 考
枝 線	第 8 地区渋谷区大和田町付近管渠移設工事	155.52 ^m	2,930,794 ^円	年 月 日 37. 11. 6 37. 12. 15	
	組合地区北区中里町, 田端町付近	200.00	1,231,760	38. 1. 4 38. 2. 11	
	第13地区豊島区西巣鴨 3 丁目付近	284.90	3,138,453	38. 1. 14 38. 3. 9	
	西大崎地区品川区平塚 1 丁目, 西戸越 1 丁目付近	461.40	8,517,016	38. 2. 4 38. 3. 30	
	西大崎地区品川区西大崎 1 丁目付近管渠移設その 2 工事	76.00	925,691	38. 1. 31 38. 3. 18	
	第13地区豊島区西巣鴨 2 丁目付近管渠移設工事	81.30	2,439,102	38. 2. 11 38. 3. 4	
	第24地区文京区駒込動坂町付近	76.65	624,581	38. 2. 15 38. 3. 7	
	第 2 地区新宿区新宿 2 丁目49番地先	11.50	1,530,778	38. 2. 20 38. 3. 27	
	第31地区豊島区巣鴨 2, 5 丁目付近	202.55	1,945,259	38. 2. 20 38. 3. 30	
	組合地区北区田端町付近	48.60	968,516	38. 3. 1 38. 3. 25	
工事費計		4,781.45	65,789,184		
試 堀 費			139,798		
合 計			65,928,982		

管 渠 改 造 工 事 費

区 分	種 別	数量又は件数	金 額	着 竣 竣 功	備 考
管 渠 改 造 工 事 費	新 設	1,339.00 ^m	43,611,605 ^円		
	移 設	40.40	1,070,598		
	そ の 他		3,881,961		雨水樹移設 1 カ所 人孔移設 3 ヶ
そ の 他 受 託 工 事	樹 工 事	2,473件	65,244,606		
合 計			113,808,770		

昭和 37 年 度 主 要 事 業 日 誌

月 日	記 事
4. 1	下水道局発足（3部 10課）
1	水道局職員および下水道局職員共済組合発足
1	下水道管渠見学所開設
1	砂町処理場高級処理施設竣工
5. 15	小松川ポンプ所一部運転開始
6. 7	汐留ポンプ所運転開始
18	桜 橋 ♪
7. 1	小台処理場一部運転開始
11	森ヶ崎処理場着工
16	総務部に労務課設置
31	「東京都長期計画」の一環として下水道 3,100 億計画庁議決定
8. 19	第一回排水設備管工試験実施
29	第二回全国下水道促進婦人代表者会議開催さる（30日まで）
9. 10	第 2 回下水道促進デーの実施
10. 8	主婦の下水道施設見学会の実施（10月12日まで）
13	小台処理場竣工式
17	37年度当初起債許可額決る（58億円）
11. 6	渋谷川幹線開通
22	砂町ポンプ所落成式
30	第 6 回下水道促進全国大会開催
12. 1	機構改正，経理部の設置により 4 部12課となる
5	第 4 回上下水道全国大会開催
12	尾久ポンプ所着工
38	
3. 1	宇田川幹線開通
15	大島町 6 丁目浸水事故に関する調査委員会設置
27	局幹部職員会議開催

消化槽設備補修

工 事 名	事 業 内 容	執 行 額	着 手 功
砂町し尿消化槽変配電室並びに変配電設備改良工事	変電設備工事 一式 消化槽配電盤工事 一式	14,700,000 円	年 月 日 37. 7. 7 38. 3. 20
〃 ボイラー室増築工事設計委託	ボイラー室増築部分上家 145㎡	250,000	37. 7. 7 37. 8. 22
〃 ボイラー増設および付帯その1工事	三胴水官型温水ボイラー 6基 膨張タンク新設 一式	20,600,000	37. 7. 30 38. 3. 30
〃 動力線その他補修工事	汲揚ポンプ用動力線 2回線 同上 操作盤 2回 分電盤 1面	4,300,000	37. 8. 16 37. 12. 11
〃 ポンプ及びガスブロワー補修工事	電動機直結ガスプロア取替 1台 〃 し尿吸揚ポンプ 4台 附属電気 1式	5,340,000	37. 8. 27 38. 3. 20
〃 スクレーパー	スクレーパー 一式 電気工事 一式	1,920,000	37. 8. 25 38. 1. 21
〃 脱離液排水管取替その他工事	φ25~80cm 586.50 人孔 18カ所 汚水樹 6 〃	13,633,456	37. 9. 28 38. 3. 19
〃 汚泥脱水真空ポンプ補修工事	電動機ベルト掛横軸型真空ポンプ 3台 同上基礎 4基	1,290,000	37. 10. 8 38. 3. 5
〃 ボイラー増設及付帯その2工事	ボイラー室増築建築面積 145㎡	7,800,000	37. 10. 25 38. 3. 20
〃 躯体補修工事	躯体補修 1槽	1,000,000	38. 2. 4 38. 3. 30
計		70,833,456	